

令和2年度
日田市市民意識調査報告書

令和 3 年 3 月
日田市

目 次

第1章 調査の概要	1
第2章 調査結果	5
調査対象者	6
施策評価	22
市民協働	46
福祉	67
産業振興	84
生活基盤	88
教育・文化	92
環境	106
地方創生	108

第 1 章 調査の概要

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

令和2年3月に、第6次日田市総合計画「第1期基本計画」の3年間の計画期間が終了したことから、その取組に対する評価に市民の皆様の意見を反映させるため、市民意識調査を実施しました。

2. 調査方法及び回収状況

調査期間	令和2年10月2日～10月31日
調査対象者	日田市内に居住する16歳以上の男女
標本抽出法	住民基本台帳から無作為抽出※
調査方法	郵便による調査票の配布と郵送・Web併用による回収
配布数	2,500人
回収数	1,185人
回答率	47.4%

※抽出手順

- ①小学校区を基本に市内20地区に分け、それぞれの地区の人口に応じて抽出数を割り当て。
- ②割り当てられた抽出数を各地区でさらに、男女別に10歳代（16歳以上）、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の区分で均等に割り振り。
- ③住民基本台帳から、上記②の区分ごとに対象者を無作為に抽出。

3. 調査結果利用上の注意

- 図表・グラフ中の「n =」とは、回答者数を示しています。
- 回答結果の割合「%」は小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問は、選択肢の回答ごとに割合を算出しているため、割合の合計は100.0%ではありません。
- 図表中で「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の数値などについては、一部省略している場合があります。

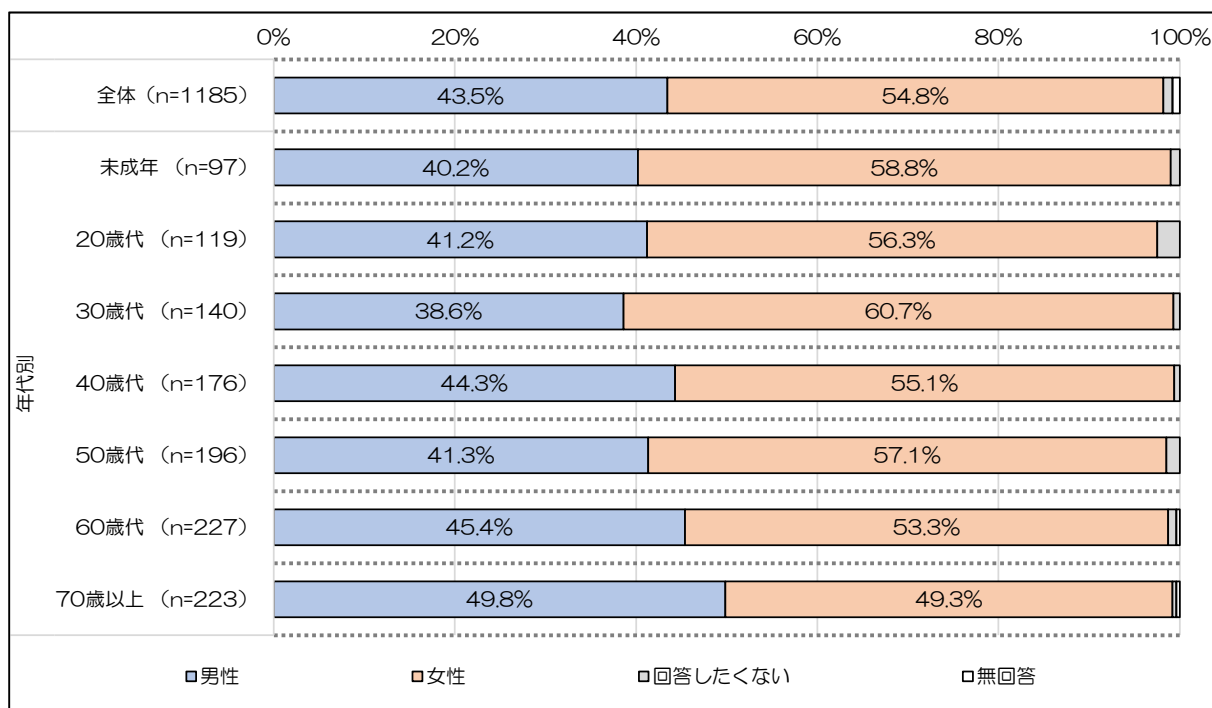
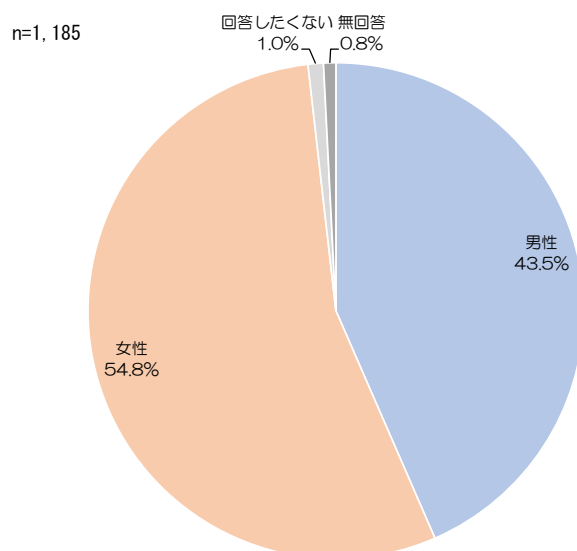
第 2 章 調査結果

第2章 調査結果

あなたの性別を教えてください。（○は1つだけ）

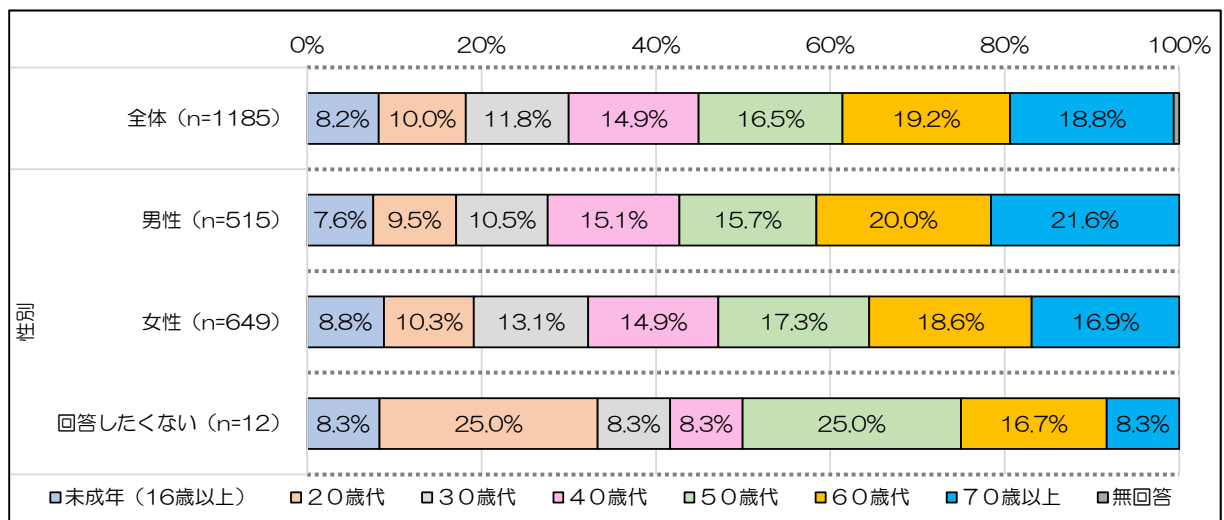
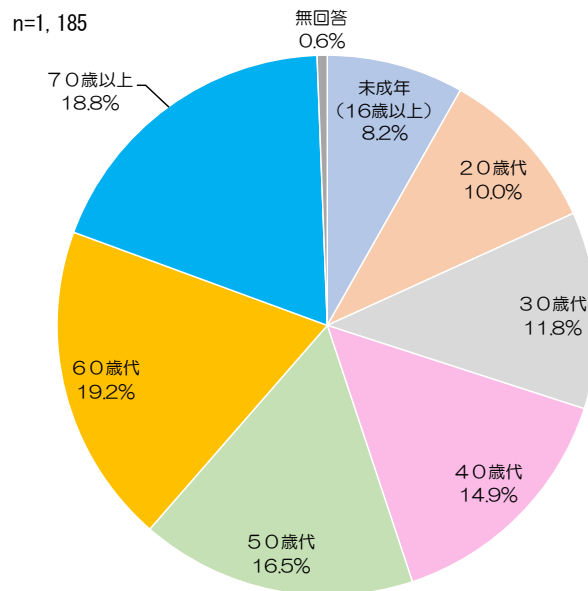
性別については、「男性」が43.5%、「女性」が54.8%となっています。

年代別にみると、「70歳以上」以外で「女性」の回答の割合がやや高くなっています。



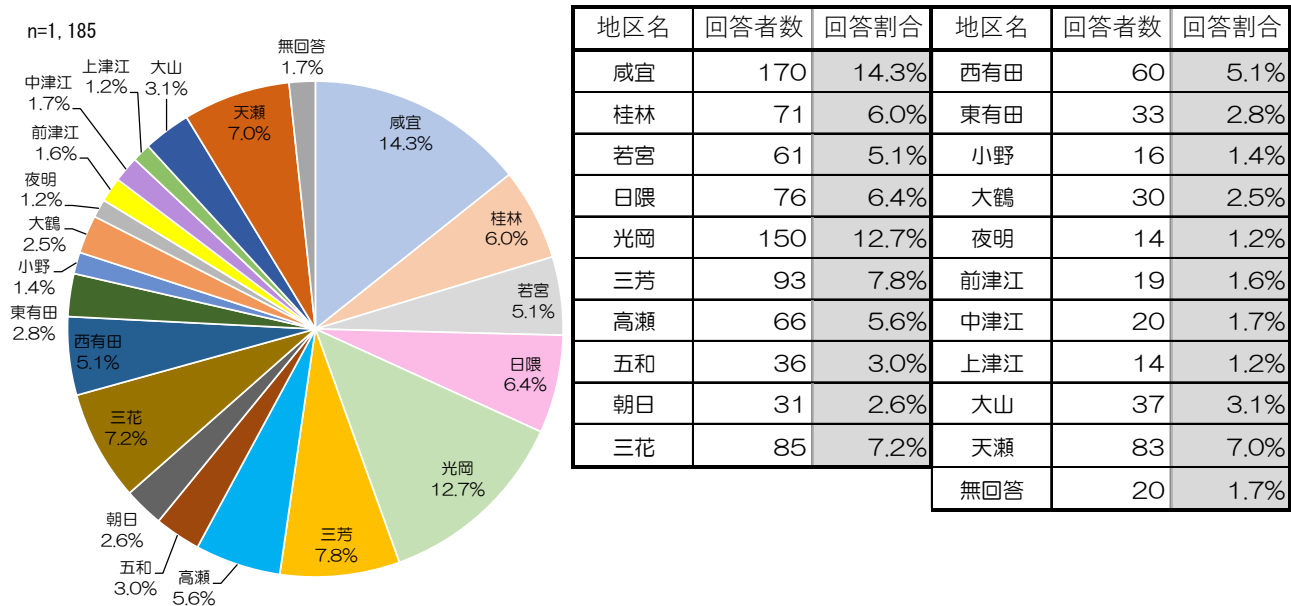
あなたの年齢はどの区分ですか。（○は1つだけ）

年齢区分については、「60歳代」が19.2%と最も高く、次いで「70歳以上」が18.8%、「50歳代」が16.5%の順となっています。



第2章 調査結果「調査対象者」

あなたのお住まいの地区はどちらですか。（○は1つだけ）

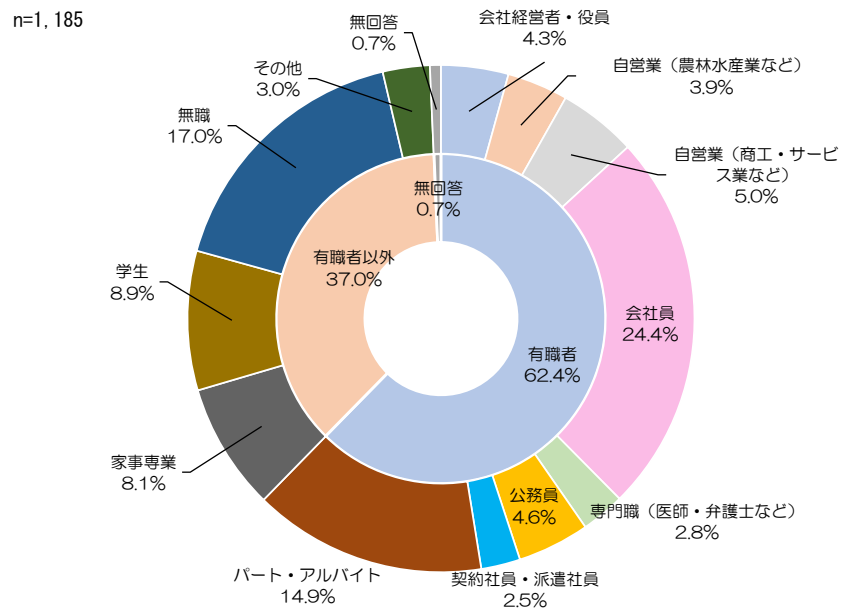


上段：人 下段：％）																							
		標 本 数 （ 人 ）	咸 宜	桂 林	若 宮	日 隈	光 岡	三 芳	高 瀬	五 和	朝 日	三 花	西 有 田	東 有 田	小 野	大 鶴	夜 明	前 津 江	中 津 江	上 津 江	大 山	天 瀬	無 回 答
全体 （単総集計）		1,185	170	71	61	76	150	93	66	36	31	85	60	33	16	30	14	19	20	14	37	83	20
性 別	男性	515	81	27	27	34	61	34	34	17	12	35	28	16	7	12	7	9	8	7	16	39	4
	女性	649	87	43	34	41	86	57	30	18	19	50	32	17	9	18	7	9	12	7	20	44	9
	回答したくない	12	2	0	0	1	3	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
			16.7%	0.0%	0.0%	8.3%	25.0%	16.7%	16.7%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年 代 別	未成年	97	15	7	3	6	13	8	5	2	3	7	5	3	1	3	1	2	2	1	1	8	1
	20歳代	119	13	6	8	11	12	9	6	2	4	7	2	6	2	3	1	4	4	2	3	6	6
	30歳代	140	27	7	7	11	19	8	8	3	2	9	7	4	2	4	2	3	1	3	6	6	1
	40歳代	176	19.3%	5.0%	5.0%	7.9%	13.6%	5.7%	5.7%	2.1%	1.4%	6.4%	5.0%	2.9%	1.4%	2.9%	1.4%	2.1%	0.7%	2.1%	4.3%	4.3%	0.7%
	50歳代	196	28	9	8	14	26	12	12	5	6	15	9	4	2	2	2	2	2	1	2	14	1
	60歳代	227	15.9%	5.1%	4.5%	8.0%	14.8%	6.8%	6.8%	2.8%	3.4%	8.5%	5.1%	2.3%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	0.6%	1.1%	8.0%	0.6%
	70歳以上	223	27	14	16	10	22	17	12	7	3	12	8	5	2	4	2	3	2	2	9	17	2
			13.8%	7.1%	8.2%	5.1%	11.2%	8.7%	6.1%	3.6%	1.5%	6.1%	4.1%	2.6%	1.0%	2.0%	1.0%	1.5%	1.0%	1.0%	4.6%	8.7%	1.0%

あなたの職業（雇用形態）は何ですか。（○は1つだけ）

職業（雇用形態）については、「会社員」が24.4%と最も高く、次いで「無職」が17.0%、「パート・アルバイト」が14.9%の順となっています。

性別でみると、「男性」では「会社員」の割合が最も高く、「女性」では「パート・アルバイト」の割合が高くなっています。

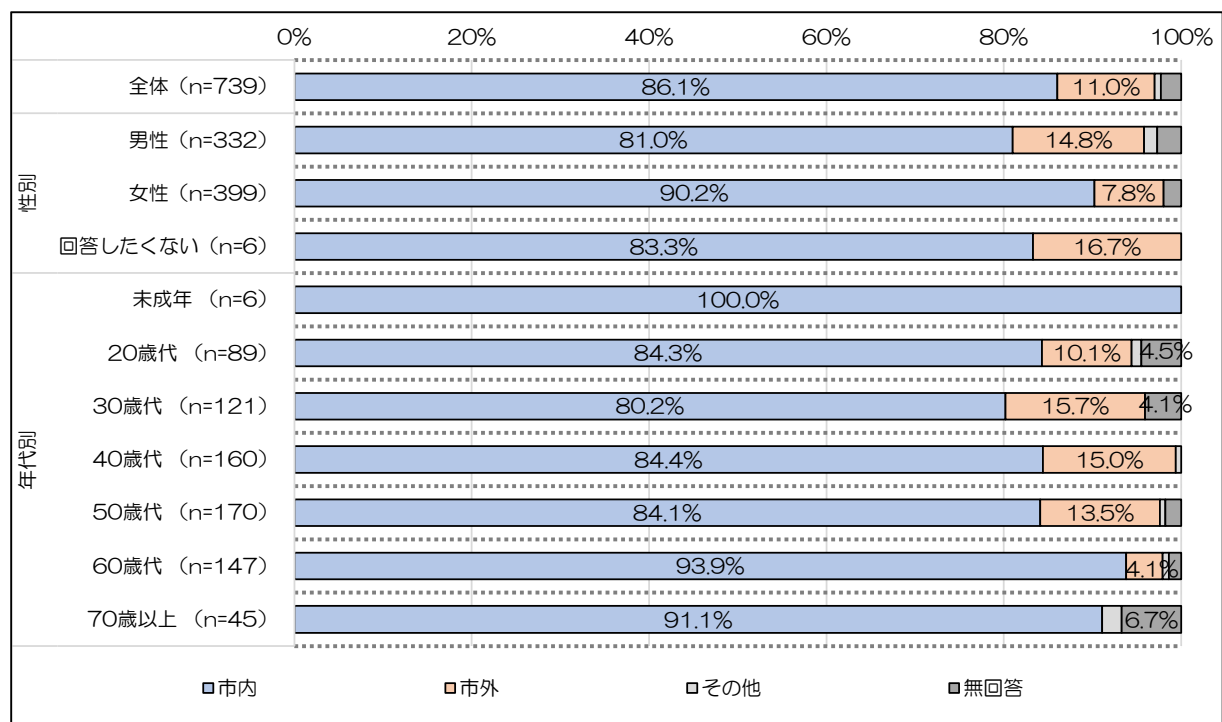
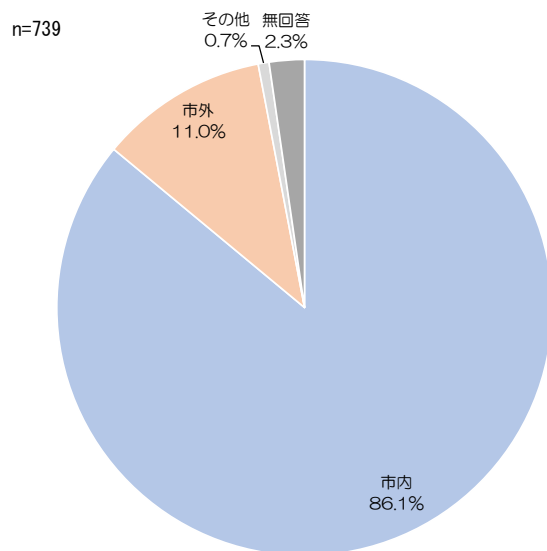


(上段：人 下段：%)			有職者							有職者以外					
		標本数 (人)	会社経営者・役員	自営業 (農林水産業など)	自営業 (商工・サービス業など)	会社員	専門職 (医師・弁護士など)	公務員	契約社員・派遣社員	パート・アルバイト	家事専業	学生	無職	その他	無回答
全体 (単純集計)		1,185	51 4.3%	46 3.9%	59 5.0%	289 24.4%	33 2.8%	54 4.6%	30 2.5%	177 14.9%	96 8.1%	106 8.9%	201 17.0%	35 3.0%	8 0.7%
性別	男性	515	33 6.4%	34 6.6%	32 6.2%	173 33.6%	3 0.6%	29 5.6%	7 1.4%	21 4.1%	1 0.2%	45 8.7%	112 21.7%	22 4.3%	3 0.6%
	女性	649	16 2.5%	11 1.7%	27 4.2%	114 17.6%	30 4.6%	25 3.9%	22 3.4%	154 23.7%	95 14.6%	59 9.1%	83 12.8%	12 1.8%	1 0.2%
	回答したくない	12	2 16.7%	1 8.3%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	1 8.3%	0 0.0%	2 16.7%	3 25.0%	1 8.3%	0 0.0%
年代別	未成年	97	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 5.2%	0 0.0%	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	89 91.8%	2 2.1%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳代	119	2 1.7%	4 3.4%	0 0.0%	49 41.2%	8 6.7%	5 4.2%	3 2.5%	18 15.1%	3 2.5%	17 14.3%	7 5.9%	3 2.5%	0 0.0%
	30歳代	140	8 5.7%	2 1.4%	7 5.0%	54 38.6%	7 5.0%	13 9.3%	7 5.0%	23 16.4%	10 7.1%	0 0.0%	6 4.3%	3 2.1%	0 0.0%
	40歳代	176	6 3.4%	6 3.4%	14 8.0%	76 43.2%	6 3.4%	15 8.5%	7 4.0%	30 17.0%	10 5.7%	0 0.0%	5 2.8%	1 0.6%	0 0.0%
	50歳代	196	10 5.1%	12 6.1%	10 5.1%	68 34.7%	9 4.6%	17 8.7%	4 2.0%	40 20.4%	10 5.1%	0 0.0%	9 4.6%	6 3.1%	1 0.5%
	60歳代	227	19 8.4%	8 3.5%	15 6.6%	35 15.4%	2 0.9%	3 1.3%	9 4.0%	56 24.7%	29 12.8%	0 0.0%	41 18.1%	8 3.5%	2 0.9%
	70歳以上	223	6 2.7%	14 6.3%	13 5.8%	1 0.4%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	10 4.5%	34 15.2%	0 0.0%	129 57.8%	14 6.3%	1 0.4%

第2章 調査結果「調査対象者」

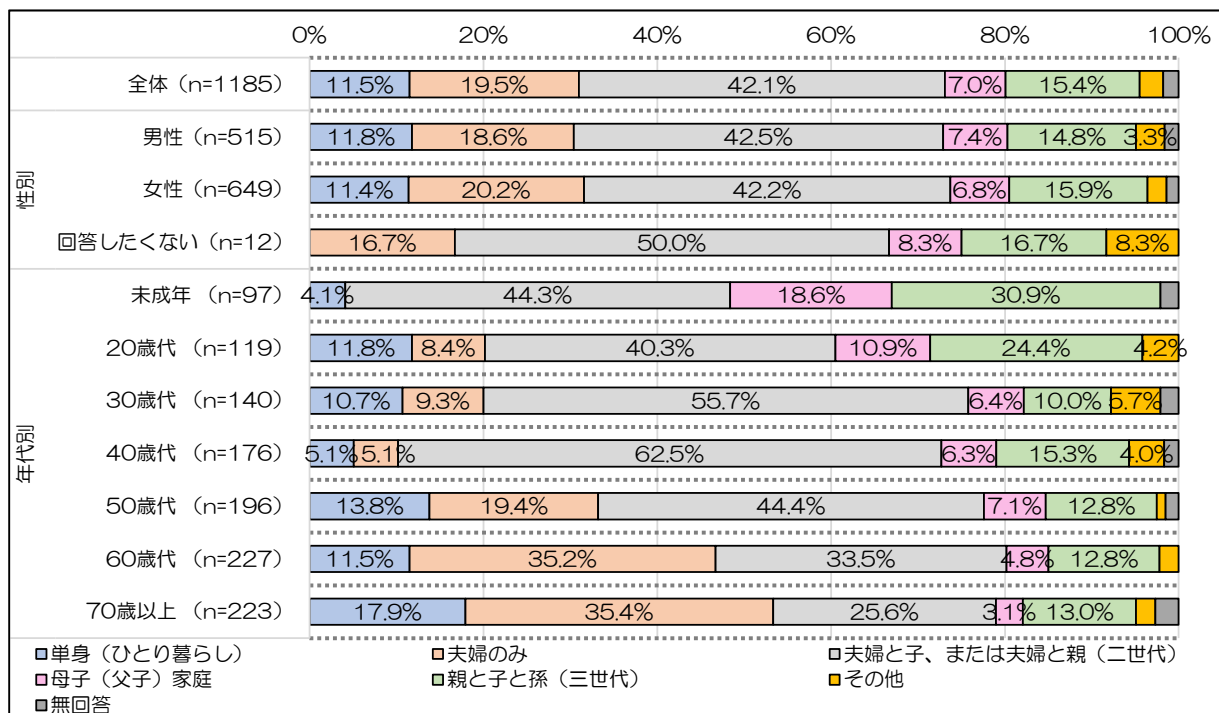
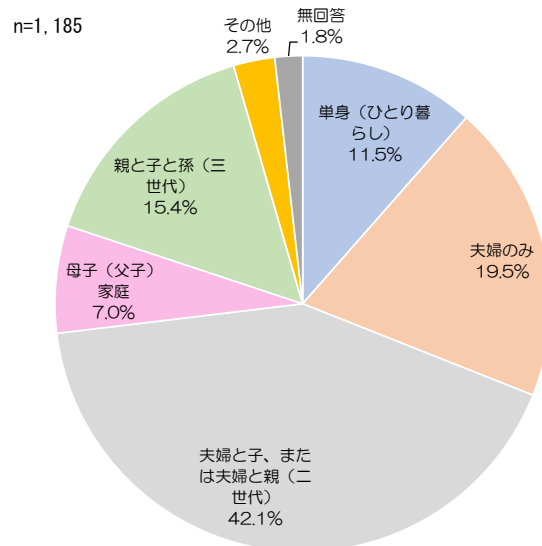
あなたはどちらで働いていますか。（○は1つだけ）

就労場所については、「市内」が86.1%、「市外」が11.0%となっています。



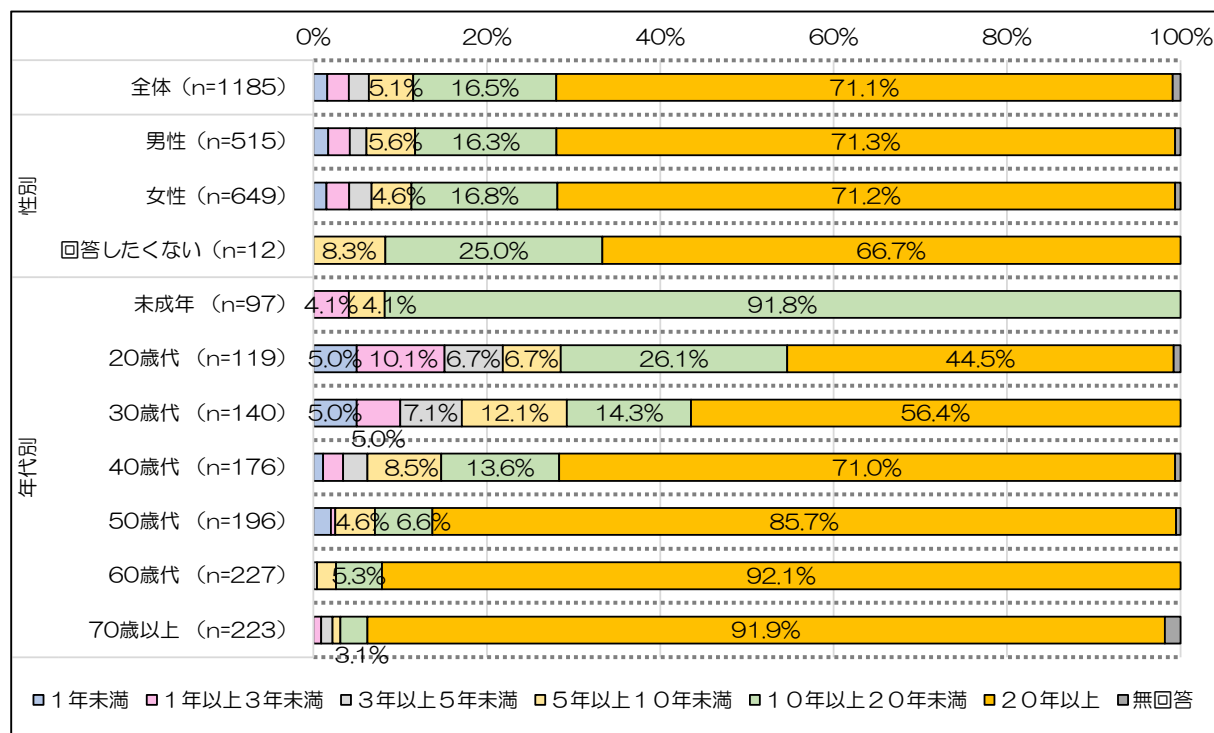
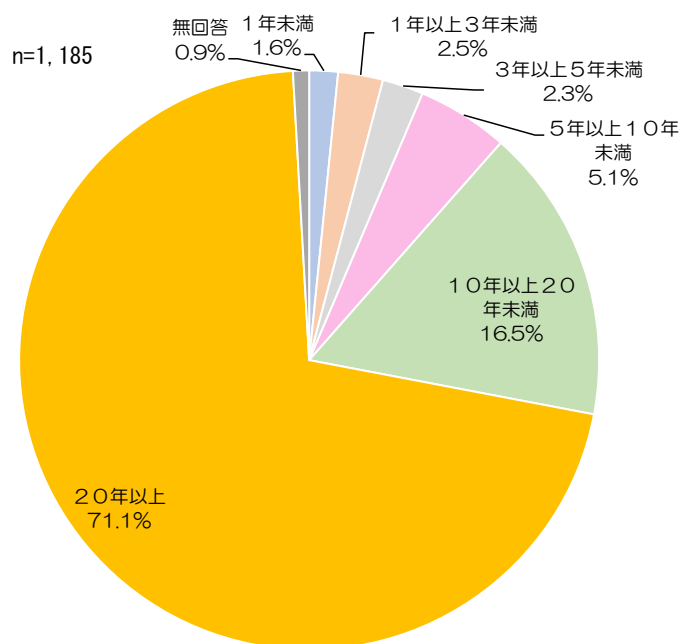
あなたの家族構成はどれに当てはまりますか。（○は1つだけ）

家族構成については、「夫婦と子、または夫婦と親（二世代）」が42.1%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が19.5%、「親と子と孫（三世代）」が15.4%の順となっています。



日田市での居住年数はどのくらいですか。（○は1つだけ）

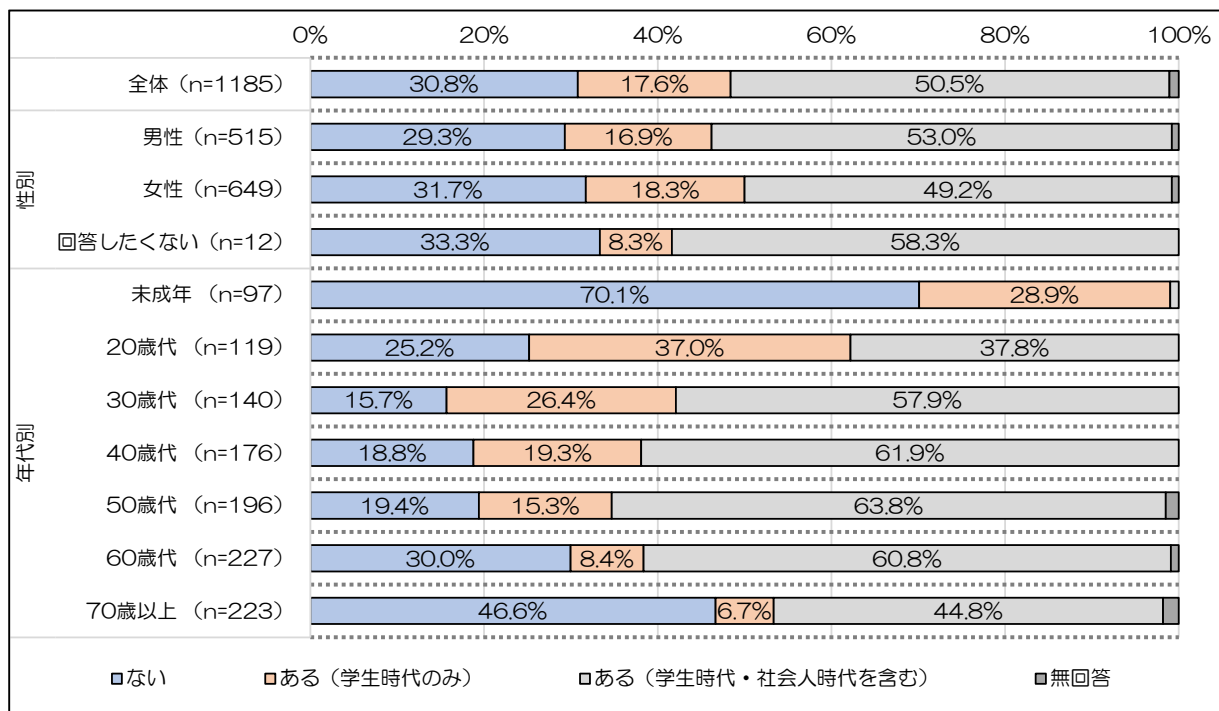
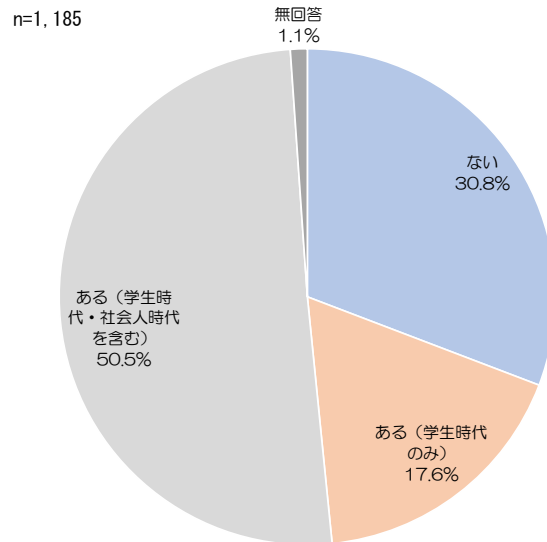
日田市での居住年数については、「20年以上」が71.1%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」が16.5%、「5年以上10年未満」が5.1%の順となっています。



日田市以外にお住まいになった経験はありますか。（○は1つだけ）

市外への居住経験については、「ある（学生時代・社会人時代を含む）」が50.5%と最も高く、次いで「ない」が30.8%、「ある（学生時代のみ）」が17.6%の順となっています。

年代別でみると、「40歳代」から「60歳代」で、「ある（学生時代・社会人時代を含む）」の割合が6割を超えています。

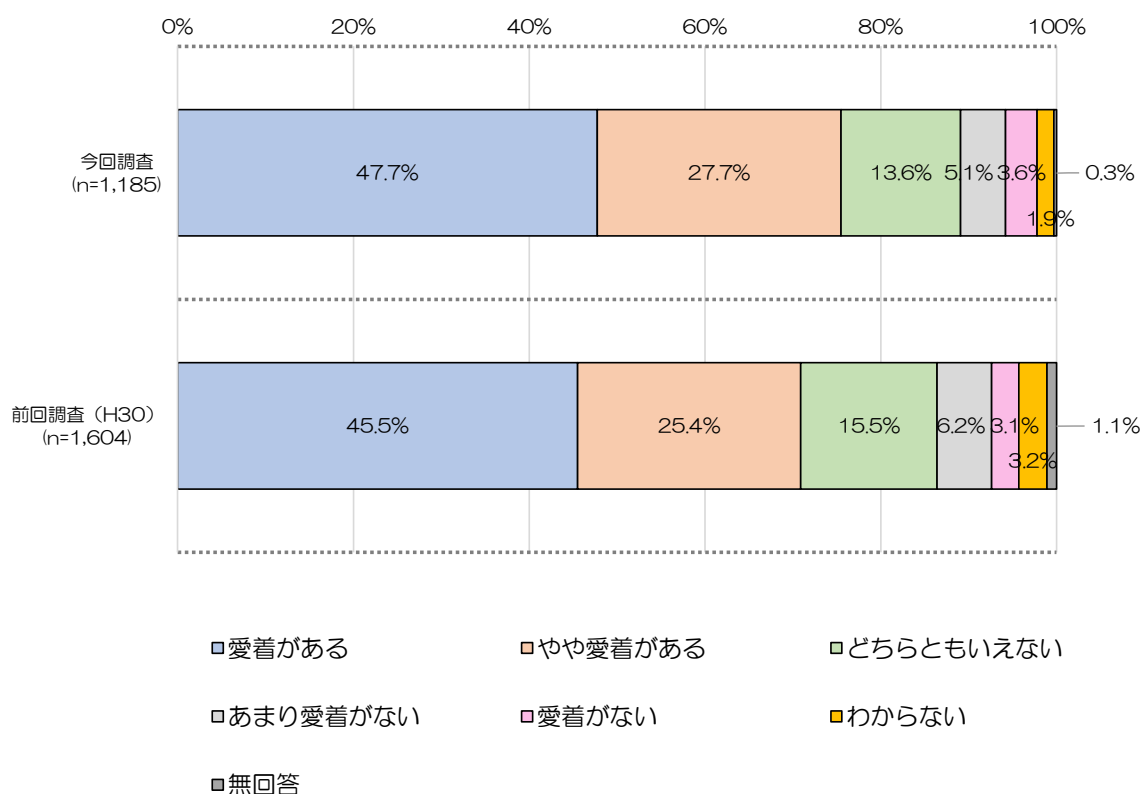


【問1】あなたは、日田市に愛着を持っていますか。（○は1つだけ）

日田市に愛着を持っているかについては、「愛着がある」が47.7%と最も高く、次いで「やや愛着がある」が27.7%、「どちらともいえない」が13.6%の順となっています。

年代別にみると、「20歳代」と「30歳代」で「やや愛着がある」が最も高く、それ以外の年代は「愛着がある」の割合が最も高くなっています。特に、「60歳代」「70歳以上」で、「愛着がある」と回答した割合が5割を上回っています。

前回調査と比較すると、「愛着がある」と「やや愛着がある」の割合が2ポイント以上高くなっています。



(上段：人 下段：%)

		標 本 数 (人)	愛 着 が あ る	や や 愛 着 が あ る	ど ち ら と も い え な い	あ ま り 愛 着 が な い	愛 着 が な い	わ か ら な い	無 回 答
全体 (単純集計)		1,185	565 47.7%	328 27.7%	161 13.6%	61 5.1%	43 3.6%	23 1.9%	4 0.3%
性 別	男性	515	262 50.9%	128 24.9%	68 13.2%	29 5.6%	21 4.1%	7 1.4%	0 0.0%
	女性	649	297 45.8%	194 29.9%	90 13.9%	31 4.8%	21 3.2%	16 2.5%	0 0.0%
	回答したくない	12	3 25.0%	5 41.7%	2 16.7%	1 8.3%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%
			42 43.3%	32 33.0%	10 10.3%	4 4.1%	7 7.2%	2 2.1%	0 0.0%
年 代 別	未成年	97	42 43.3%	32 33.0%	10 10.3%	4 4.1%	7 7.2%	2 2.1%	0 0.0%
	20歳代	119	29 24.4%	40 33.6%	20 16.8%	13 10.9%	13 10.9%	4 3.4%	0 0.0%
	30歳代	140	50 35.7%	52 37.1%	24 17.1%	11 7.9%	3 2.1%	0 0.0%	0 0.0%
	40歳代	176	78 44.3%	49 27.8%	26 14.8%	13 7.4%	6 3.4%	4 2.3%	0 0.0%
	50歳代	196	95 48.5%	58 29.6%	29 14.8%	7 3.6%	4 2.0%	3 1.5%	0 0.0%
	60歳代	227	123 54.2%	54 23.8%	28 12.3%	11 4.8%	7 3.1%	4 1.8%	0 0.0%
	70歳以上	223	146 65.5%	43 19.3%	23 10.3%	2 0.9%	3 1.3%	6 2.7%	0 0.0%
			5 26.3%	6 31.6%	4 21.1%	3 15.8%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%
居 住 年 数 別	1年未満	19	5 26.3%	6 31.6%	4 21.1%	3 15.8%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%
	1年以上3年未満	30	7 23.3%	10 33.3%	4 13.3%	2 6.7%	4 13.3%	3 10.0%	0 0.0%
	3年以上5年未満	27	3 11.1%	11 40.7%	4 14.8%	3 11.1%	5 18.5%	1 3.7%	0 0.0%
	5年以上10年未満	60	20 33.3%	14 23.3%	11 18.3%	8 13.3%	6 10.0%	1 1.7%	0 0.0%
	10年以上20年未満	196	69 35.2%	72 36.7%	25 12.8%	15 7.7%	14 7.1%	1 0.5%	0 0.0%
	20年以上	842	460 54.6%	214 25.4%	110 13.1%	30 3.6%	13 1.5%	15 1.8%	0 0.0%

【問2】あなたは、日田市を住みよいまちだと思いますか。（○は1つだけ）

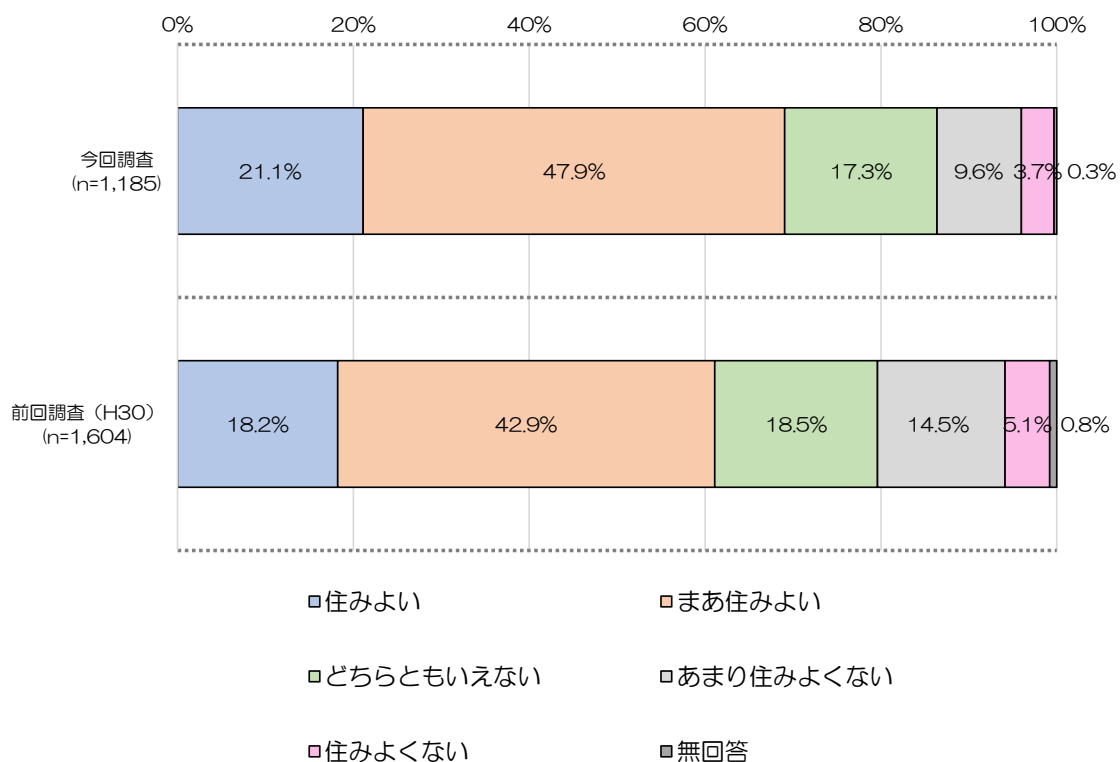
日田市の住みよさについては、住みよいと感じる人※1が69.0%、住みよくないと感じる人※2が13.3%となっています。

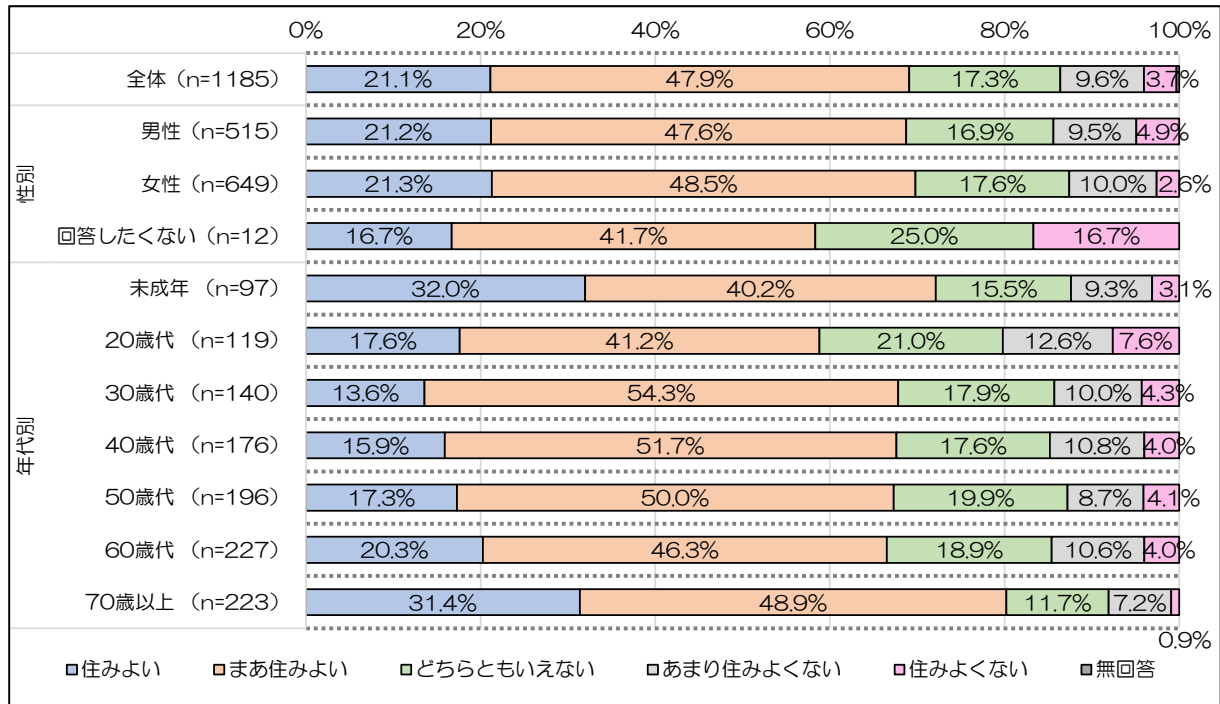
年代別にみると、住みよいと感じる人の割合は、「未成年」「70歳以上」で、特に高く7割を上回っています。

前回調査と比較すると、住みよいと感じる人の割合が7.9ポイント高くなっています。

※1「住みよい」若しくは「まあ住みよい」と回答した人

※2「住みよくない」若しくは「あまり住みよくない」と回答した人



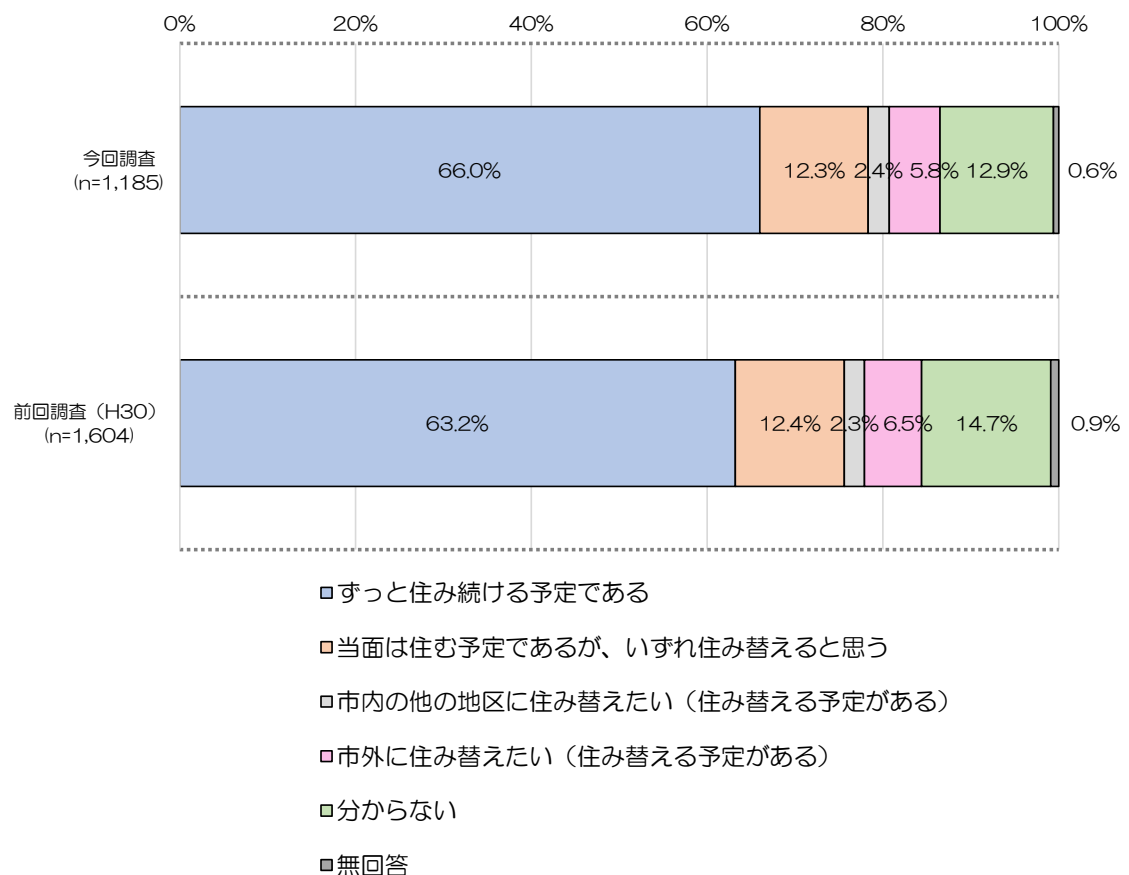


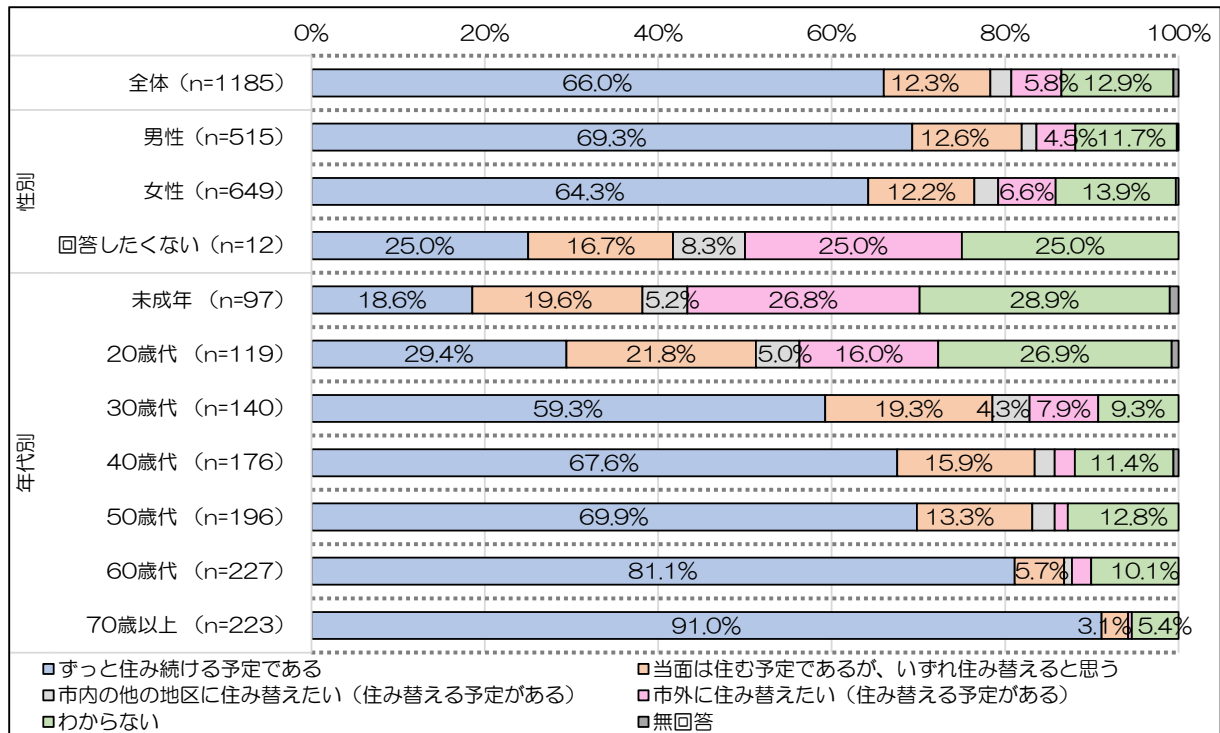
【問3】あなたは、今後も日田市に住み続ける予定ですか。（○は1つだけ）

今後も日田市に住み続ける意向については、「ずっと住み続ける予定である」が66.0%と最も高く、次いで「わからない」が12.9%、「当面は住む予定であるが、いずれ住み替えると思う」が12.3%の順となっています。

年代別にみると、年代が高くなるにつれて、「ずっと住み続ける予定である」と回答した割合が高くなっています。

前回調査と比較すると、「ずっと住み続ける予定である」の割合が2.8ポイント高くなっています。





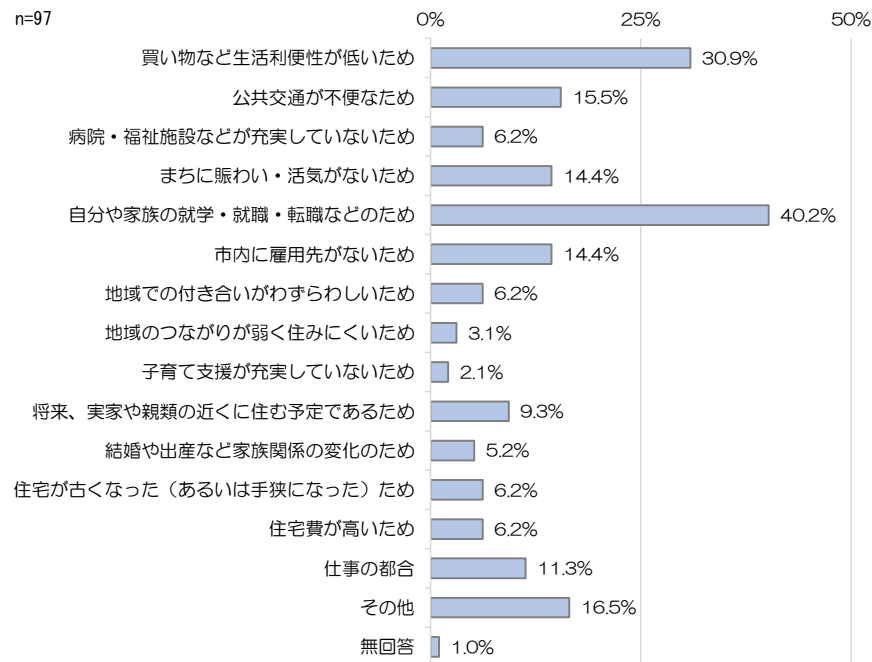
第2章 調査結果「調査対象者」

【問3-1】住み替えを希望されている方にお伺いします。

住み替えを希望する理由をお答えください。(〇は3つまで)

住み替えを希望する理由については、「自分や家族の就学・就職・転職などのため」が40.2%と最も高く、次いで「買い物など生活利便性が低いため」が30.9%、「公共交通が不便なため」が15.5%の順となっています。

性別にみると、「男性」「女性」とともに「自分や家族の就学・就職・転職などのため」と回答した割合が最も高くなっています。



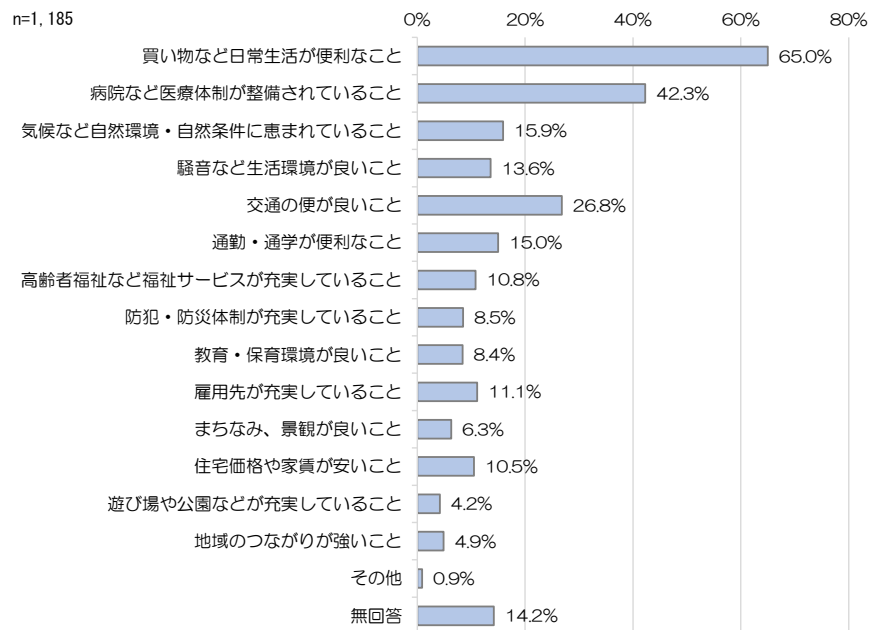
(上段：人 下段：%)

	標本数 (人)	買い物など生活利便性が低いため	公共交通が不便なため	病院・福祉施設などが充実していないため	まちに賑わい・活気がないため	自分や家族の就学・就職・転職などのため	市内に雇用先がないため	地域での付き合いがわずらわしいため	地域のつながりが弱く住みにくい	子育て支援が充実していないため	将来、実家や親類の近くに住む予定であるため	結婚や出産など家族関係の変化のため	住宅が古くなった(あるいは手狭になった)ため	住宅費が高いため	仕事の都合	その他	無回答
全体(単純集計)	97	30	15	6	14	39	14	6	3	2	9	5	6	6	11	16	1
		30.9%	15.5%	6.2%	14.4%	40.2%	14.4%	6.2%	3.1%	2.1%	9.3%	5.2%	6.2%	6.2%	11.3%	16.5%	1.0%
性別	男性	32	7	3	1	8	11	3	2	0	3	1	0	2	5	9	0
			21.9%	9.4%	3.1%	25.0%	34.4%	9.4%	6.3%	0.0%	9.4%	3.1%	0.0%	6.3%	15.6%	28.1%	0.0%
	女性	61	22	10	5	5	28	11	4	3	6	3	5	3	4	7	1
			36.1%	16.4%	8.2%	8.2%	45.9%	18.0%	6.6%	4.9%	9.8%	4.9%	8.2%	4.9%	6.6%	11.5%	1.6%
	回答したくない	4	1	2	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	2	0	0
			25.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%
年代別	未成年	31	12	7	1	5	21	4	0	0	2	0	0	1	1	0	0
			38.7%	22.6%	3.2%	16.1%	67.7%	12.9%	0.0%	0.0%	6.5%	0.0%	0.0%	3.2%	3.2%	0.0%	0.0%
	20歳代	25	10	3	1	2	9	7	1	1	0	3	0	4	3	2	0
			40.0%	12.0%	4.0%	8.0%	36.0%	28.0%	4.0%	4.0%	0.0%	12.0%	0.0%	16.0%	12.0%	8.0%	0.0%
	30歳代	17	3	0	2	1	3	1	2	0	2	2	2	1	7	0	1
			17.6%	0.0%	11.8%	5.9%	17.6%	5.9%	11.8%	0.0%	11.8%	11.8%	11.8%	5.9%	41.2%	0.0%	5.9%
	40歳代	8	2	1	1	2	2	2	1	0	2	0	0	0	0	2	0
			25.0%	12.5%	12.5%	25.0%	25.0%	25.0%	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	50歳代	8	3	2	1	3	0	1	0	0	0	0	1	0	1	2	0
			37.5%	25.0%	12.5%	37.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%	25.0%	0.0%
	60歳代	7	0	2	0	1	1	0	0	1	0	2	0	0	0	4	0
			0.0%	28.6%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%
	70歳以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

【問4】住む場所を選ぶ際、重視することをお答えください。(〇は3つまで)

住む場所を選ぶ際、重視することについては、「買い物など日常生活が便利なこと」が65.0%と最も高く、次いで「病院など医療体制が整備されていること」が42.3%、「交通の便が良いこと」が26.8%の順となっています。

年代別に上位3項目を除いてみると、「未成年」「40歳代」では「通勤・通学が便利なこと」、「20歳代」では「住宅価格や家賃が安いこと」、「30歳代」では「通勤・通学が便利なこと」と「教育・保育環境が良いこと」、「50歳代」「60歳代」では「気候など自然環境・自然条件に恵まれていること」、「70歳以上」では「高齢者福祉など福祉サービスが充実していること」の割合が高くなっています。



(上段：人 下段：%)

		標本数 (人)	と買い物など日常生活が便利なこと	いる病院など医療体制が整備されていること	気候など自然環境・自然条件に恵まれていること	騒音など生活環境が良いこと	交通の便が良いこと	通勤・通学が便利なこと	高齢者福祉など福祉サービスが充実していること	防犯・防災体制が充実していること	教育・保育環境が良いこと	雇用先が充実していること	まちなみ、景観が良いこと	住宅価格や家賃が安いこと	遊び場や公園などが充実していること	地域のつながりが強いこと	その他	無回答
全体(単純集計)			770	501	189	161	317	178	128	101	100	132	75	124	50	58	11	168
			65.0%	42.3%	15.9%	13.6%	26.8%	15.0%	10.8%	8.5%	8.4%	11.1%	6.3%	10.5%	4.2%	4.9%	0.9%	14.2%
性別	男性	515	331	224	93	76	133	82	62	44	39	60	41	48	28	24	9	55
			64.3%	43.5%	18.1%	14.8%	25.8%	15.9%	12.0%	8.5%	7.6%	11.7%	8.0%	9.3%	5.4%	4.7%	1.7%	10.7%
	女性	649	429	272	93	84	182	95	65	56	59	70	32	71	21	32	2	105
			66.1%	41.9%	14.3%	12.9%	28.0%	14.6%	10.0%	8.6%	9.1%	10.8%	4.9%	10.9%	3.2%	4.9%	0.3%	16.2%
年代別	回答したくない	12	7	3	1	0	2	1	1	1	2	2	2	4	1	0	0	3
			58.3%	25.0%	8.3%	0.0%	16.7%	8.3%	8.3%	8.3%	16.7%	16.7%	16.7%	33.3%	8.3%	0.0%	0.0%	25.0%
	未成年	97	69	24	10	13	26	33	1	10	4	14	14	15	13	6	0	9
			71.1%	24.7%	10.3%	13.4%	26.8%	34.0%	1.0%	10.3%	4.1%	14.4%	14.4%	15.5%	13.4%	6.2%	0.0%	9.3%
	20歳代	119	80	34	14	13	36	27	0	9	18	23	10	28	13	1	0	9
			67.2%	28.6%	11.8%	10.9%	30.3%	22.7%	0.0%	7.6%	15.1%	19.3%	8.4%	23.5%	10.9%	0.8%	0.0%	7.6%
	30歳代	140	84	41	27	29	27	30	8	10	30	26	10	26	10	5	1	13
			60.0%	29.3%	19.3%	20.7%	19.3%	21.4%	5.7%	7.1%	21.4%	18.6%	7.1%	18.6%	7.1%	3.6%	0.7%	9.3%
	40歳代	176	123	81	22	31	43	42	9	22	25	22	12	18	6	6	3	13
			69.9%	46.0%	12.5%	17.6%	24.4%	23.9%	5.1%	12.5%	14.2%	12.5%	6.8%	10.2%	3.4%	3.4%	1.7%	7.4%
	50歳代	196	140	93	39	32	55	30	18	16	12	24	13	20	4	5	2	23
			71.4%	47.4%	19.9%	16.3%	28.1%	15.3%	9.2%	8.2%	6.1%	12.2%	6.6%	10.2%	2.0%	2.6%	1.0%	11.7%
	60歳代	227	137	108	45	22	71	12	33	20	4	20	10	13	2	15	3	48
			60.4%	47.6%	19.8%	9.7%	31.3%	5.3%	14.5%	8.8%	1.8%	8.8%	4.4%	5.7%	0.9%	6.6%	1.3%	21.1%
	70歳以上	223	135	119	31	20	59	4	59	14	7	3	6	3	2	20	2	48
			60.5%	53.4%	13.9%	9.0%	26.5%	1.8%	26.5%	6.3%	3.1%	1.3%	2.7%	1.3%	0.9%	9.0%	0.9%	21.5%

第2章 調査結果「施策評価」

【問5】日田市では各分野で様々な施策に取り組んでいます。施策に対するあなたの現在の満足度と今後の重要度についてお聞かせ下さい。

■個別項目の満足度評価と重要度評価を評点化（全体）

■評価方法（加重平均）

※満足度評点：満足（100）、やや満足（50）、どちらともいえない（0）、やや不満（-50）、不満（-100）として、回答者の平均得点を算出

※重要度評点：重要（100）、やや重要（50）、どちらともいえない（0）、あまり重要でない（-50）、重要でない（-100）として、回答者の平均得点を算出

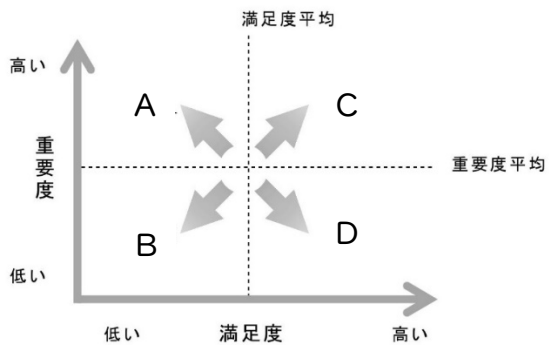
算出結果の数値が高いほど、「満足度」では満足している、「重要度」では重要と考えている指標となります。

■施策別評価結果一覧

番号	施策	重要度			満足度			評価エリア	ニーズ値	
		加重平均値	全体平均との差	相対順位	加重平均値	全体平均との差	相対順位		ニーズ値	相対順位
1	市民協働のまちづくり	54.68	-1.52	17/29	5.61	-1.13	19/29	B	49.07	20/29
2	市民サービスの充実・向上	59.70	3.49	13/29	7.93	1.18	16/29	C	51.77	16/29
3	政策を実行・実現する行財政運営	61.22	5.02	11/29	-4.95	-11.69	29/29	A	66.17	3/29
4	健康づくり、保健・医療の充実	72.19	15.98	3/29	14.89	8.15	3/29	C	57.30	6/29
5	地域福祉の推進	62.49	6.29	8/29	9.74	3.00	9/29	C	52.75	13/29
6	子ども・子育て支援の推進	71.10	14.89	5/29	14.53	7.79	4/29	C	56.56	7/29
7	障がい者（児）福祉の充実	62.47	6.26	9/29	8.27	1.53	15/29	C	54.19	9/29
8	高齢者福祉の充実	67.00	10.80	6/29	8.82	2.08	11/29	C	58.18	4/29
9	防災・消防・救急体制の強化	72.10	15.90	4/29	18.11	11.37	2/29	C	53.99	11/29
10	防犯体制、交通安全対策及び消費生活の充実	61.98	5.77	10/29	12.49	5.75	5/29	C	49.49	18/29
11	農業・水産業の振興	52.94	-3.26	21/29	1.57	-5.17	23/29	B	51.37	17/29
12	林業の振興	51.54	-4.66	22/29	-0.54	-7.28	24/29	B	52.08	15/29
13	商工業の振興	54.49	-1.71	19/29	-3.48	-10.23	27/29	B	57.97	5/29
14	観光の振興	55.93	-0.28	15/29	1.88	-4.87	21/29	B	54.05	10/29
15	道路・河川・公共交通の整備	72.58	16.38	2/29	-4.70	-11.45	28/29	A	77.28	1/29
16	住環境の整備と維持管理	54.64	-1.57	18/29	-1.53	-8.27	26/29	B	56.16	8/29
17	公園・緑地の整備と維持管理	45.83	-10.38	24/29	8.57	1.83	13/29	D	37.25	24/29
18	地域特性を活かした空間づくり	37.64	-18.56	26/29	3.52	-3.22	20/29	B	34.12	25/29
19	情報通信基盤の整備と維持管理	54.85	-1.35	16/29	1.71	-5.03	22/29	B	53.14	12/29
20	減災対策と災害復旧	76.22	20.02	1/29	-0.85	-7.59	25/29	A	77.07	2/29
21	学校教育の充実	64.12	7.91	7/29	12.02	5.27	6/29	C	52.10	14/29
22	文化芸術の振興	34.79	-21.41	28/29	8.60	1.86	12/29	D	26.19	29/29
23	生涯学習の充実	36.36	-19.84	27/29	9.00	2.25	10/29	D	27.37	28/29
24	スポーツ・レクリエーションの振興	34.27	-21.93	29/29	6.64	-0.10	18/29	B	27.63	27/29
25	互いに尊重しあえる社会の実現	39.19	-17.01	25/29	8.39	1.64	14/29	D	30.80	26/29
26	地域環境の保全	54.36	-1.84	20/29	11.17	4.42	7/29	D	43.20	21/29
27	良好な水資源の確保	57.85	1.65	14/29	19.31	12.57	1/29	C	38.54	23/29
28	資源循環と地球温暖化対策の推進	60.06	3.85	12/29	10.99	4.24	8/29	C	49.07	19/29
29	環境意識の向上	47.30	-8.91	23/29	7.85	1.11	17/29	D	39.44	22/29
		56.20	-	-	6.74	-	-	-	49.46	-

※ニーズ値 = 重要度加重平均値 - 満足度加重平均値 で算出

各個別項目における満足度評点と重要度評点の相関関係を表すと、以下のような図になります。



■領域の説明

A領域：重要度が高く、満足度が低い（重点改善）

B領域：重要度、満足度ともに低い（改善）

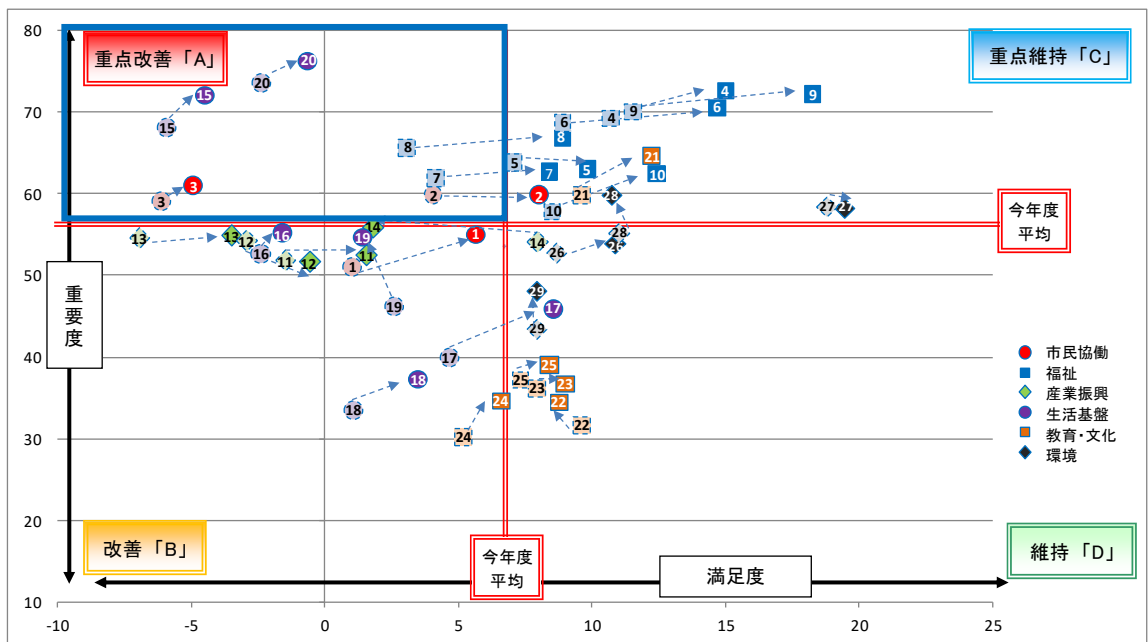
C領域：重要度、満足度ともに高い（重点維持）

D領域：重要度が低く、満足度が高い（維持）

図中の左上の青枠部分にある、重要度が高く、満足度が低い項目については、特に優先して改善が必要な施策であると考えられます。

評価の結果、重点改善の区分に該当する施策は、「政策を実行・実現する行財政運営」「道路・河川・公共交通の整備」「減災対策と災害復旧」となっています。

※図表下、項目一覧における左側のマークが前回結果、右側のマークが今回結果を示しています。



- (H30)(R2)
- I：市民協働分野
- 1 市民協働のまちづくり
 - 2 市民サービスの充実・向上
 - 3 政策を実行・実現する行財政運営

- (H30)(R2)
- Ⅲ：産業振興分野
- 11 農業・水産業の振興
 - 12 林業の振興
 - 13 商工業の振興
 - 14 観光の振興

- (H30)(R2)
- V：教育・文化分野
- 21 学校教育の充実
 - 22 文化芸術の振興
 - 23 生涯学習の充実
 - 24 スポーツ・レクリエーションの振興
 - 25 互いに尊重しあえる社会の実現

- (H30)(R2)
- Ⅱ：福祉分野
- 4 健康づくり、保健・医療の充実
 - 5 地域福祉の推進
 - 6 子ども・子育て支援の推進
 - 7 障がい者(児)福祉の充実
 - 8 高齢者福祉の充実
 - 9 防災・消防・救急体制の強化
 - 10 防犯体制、交通安全対策及び消費生活の充実

- (H30)(R2)
- Ⅳ：生活基盤分野
- 15 道路・河川・公共交通の整備
 - 16 住環境の整備と維持管理
 - 17 公園・緑地の整備と維持管理
 - 18 地域特性を活かした空間づくり
 - 19 情報通信基盤の整備と維持管理
 - 20 減災対策と災害復旧

- (H30)(R2)
- Ⅵ：環境分野
- 26 地域環境の保全
 - 27 良好な水資源の確保
 - 28 資源循環と地球温暖化対策の推進
 - 29 環境意識の向上

●「現在の満足度」（全体）

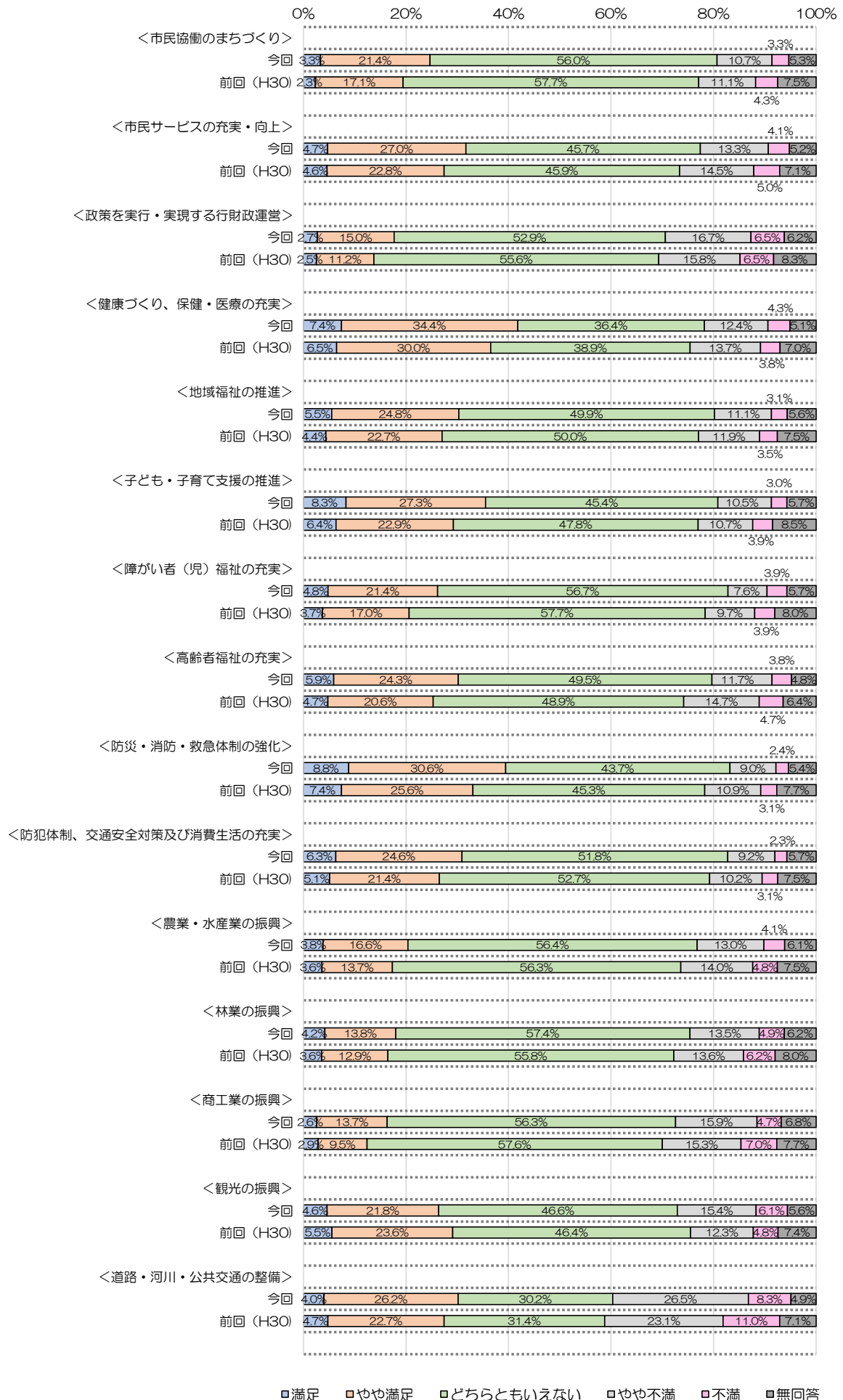
現在の満足度については、満足している人※¹の割合は、「健康づくり、保健・医療の充実」が41.8%で最も高く、次いで「防災・消防・救急体制の強化」が39.4%、「良好な水資源の確保」が39.0%の順となっています。一方、不満がある人※²の割合は、「道路・河川・公共交通の整備」が34.8%と最も高く、次いで「減災対策と災害復旧」が26.7%の順となっています。

前回調査と比較すると、満足している人の割合は、「観光の振興」と「文化芸術の振興」を除くすべての項目で増加しています。

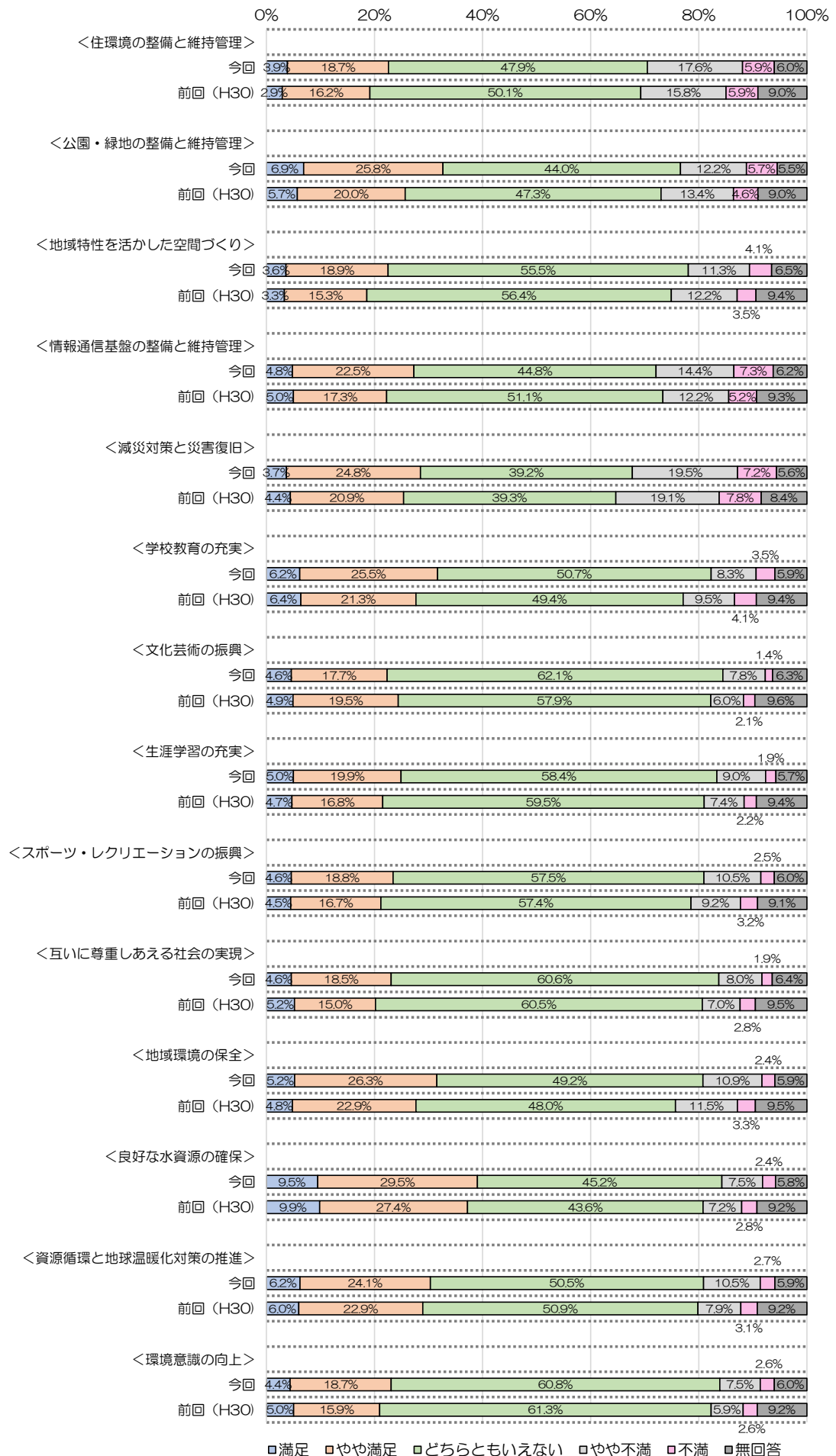
※¹「満足」若しくは「やや満足」と回答した人

※²「不満」もしくは「やや不満」と回答した人

第2章 調査結果「施策評価」



第2章 調査結果「施策評価」



● 「現在の満足度」（性別順位）

「現在の満足度（「満足」＋「やや満足」）」の前回調査（H30）・今回調査結果の性別順位は、以下のとおりとなっています。

（上位3項目、及び下位3項目のみ抜粋）

	男性		女性	
	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査
1位	良好な水資源の確保	防災・消防・救急体制の強化	良好な水資源の確保	健康づくり、保健・医療の充実
2位	防災・消防・救急体制の強化	健康づくり、保健・医療の充実	文化芸術の振興	良好な水資源の確保
3位	健康づくり、保健・医療の充実	良好な水資源の確保	防災・消防・救急体制の強化	子ども・子育て支援の推進 防災・消防・救急体制の強化 （同一順位）
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
27位	政策を実行・実現する行財政運営	林業の振興	政策を実行・実現する行財政運営	政策を実行・実現する行財政運営
28位	道路・河川・公共交通の整備	商工業の振興	道路・河川・公共交通の整備	林業の振興
29位 （最下位）	商工業の振興	政策を実行・実現する行財政運営	商工業の振興	商工業の振興

● 「現在の満足度」 （年代別順位）

「現在の満足度（「満足」＋「やや満足」）」の前回調査（H30）・今回調査結果の年代別順位は、以下のとおりとなっています。

（上位3項目、及び下位3項目のみ抜粋）

	未成年 (16歳以上)		20歳代		30歳代		40歳代	
	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査
1位	良好な水資源の確保	学校教育の充実	良好な水資源の確保	防災・消防・救急体制の強化	良好な水資源の確保	子ども・子育て支援の推進	良好な水資源の確保	健康づくり、保健・医療の充実
2位	文化芸術の振興	良好な水資源の確保	環境意識の向上	良好な水資源の確保	防災・消防・救急体制の強化	健康づくり、保健・医療の充実	子ども・子育て支援の推進	子ども・子育て支援の推進、防災・消防・救急体制の強化（同一順位）
3位	健康づくり、保健・医療の充実	健康づくり、保健・医療の充実	資源循環と地球温暖化対策の推進	健康づくり、保健・医療の充実	資源循環と地球温暖化対策の推進	良好な水資源の確保	健康づくり、保健・医療の充実	良好な水資源の確保
}	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
27位	減災対策と災害復旧	道路・河川・公共交通の整備	減災対策と災害復旧	減災対策と災害復旧、スポーツ・レクリエーションの振興（同一順位）	商工業の振興	文化芸術の振興	政策を実行・実現する行財政運営	政策を実行・実現する行財政運営
28位	政策を実行・実現する行財政運営	政策を実行・実現する行財政運営	道路・河川・公共交通の整備	商工業の振興、地域特性を活かした空間づくり（同一順位）	道路・河川・公共交通の整備	商工業の振興	道路・河川・公共交通の整備	林業の振興
29位 (最下位)	道路・河川・公共交通の整備	商工業の振興	情報通信基盤の整備と維持管理	政策を実行・実現する行財政運営	住環境の整備と維持管理	政策を実行・実現する行財政運営	商工業の振興	商工業の振興

	50 歳代		60 歳代		70 歳以上	
	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査
1 位	良好な水資源の確保	防災・消防・救急体制の強化	良好な水資源の確保	健康づくり、保健・医療の充実	良好な水資源の確保	健康づくり、保健・医療の充実
2 位	資源循環と地球温暖化対策の推進	良好な水資源の確保	防災・消防・救急体制の強化	良好な水資源の確保	健康づくり、保健・医療の充実	防災・消防・救急体制の強化
3 位	文化芸術の振興	健康づくり、保健・医療の充実	資源循環と地球温暖化対策の推進	子ども・子育て支援の推進	防災・消防・救急体制の強化	良好な水資源の確保
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
27 位	政策を実行・実現する行財政運営	政策を実行・実現する行財政運営	林業の振興	地域特性を活かした空間づくり	農業・水産業の振興	農業・水産業の振興
28 位	道路・河川・公共交通の整備	林業の振興	道路・河川・公共交通の整備	商工業の振興	商工業の振興	商工業の振興
29 位 (最下位)	商工業の振興	商工業の振興	政策を実行・実現する行財政運営	林業の振興	林業の振興	林業の振興

● 「現在の満足度」（地区別順位※上位）

「現在の満足度（「満足」＋「やや満足」）」の前回調査（H30）・今回調査結果の地区別順位は、以下のとおりとなっています。

※上位3項目

地区名	1 位		2 位		3 位	
	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査
咸宜	良好な水資源の確保	健康づくり、保健・医療の充実	資源循環と地球温暖化対策の推進	良好な水資源の確保	健康づくり、保健・医療の充実	子ども・子育て支援の推進、防災・消防・救急体制の強化、公園・緑地の整備と維持管理（同一順位）
桂林	良好な水資源の確保	良好な水資源の確保	学校教育の充実	防犯体制、交通安全対策及び消費生活の充実	防災・消防・救急体制の強化	防災・消防・救急体制の強化
若宮	良好な水資源の確保	防災・消防・救急体制の強化	健康づくり、保健・医療の充実	公園・緑地の整備と維持管理	観光の振興	市民サービスの充実・向上
日隈	良好な水資源の確保	健康づくり、保健・医療の充実	防災・消防・救急体制の強化	良好な水資源の確保	健康づくり、保健・医療の充実	学校教育の充実
光岡	良好な水資源の確保	健康づくり、保健・医療の充実	防災・消防・救急体制の強化	防災・消防・救急体制の強化	健康づくり、保健・医療の充実	子ども・子育て支援の推進
三芳	良好な水資源の確保	健康づくり、保健・医療の充実	防災・消防・救急体制の強化	子ども・子育て支援の推進	学校教育の充実	防災・消防・救急体制の強化
高瀬	良好な水資源の確保	良好な水資源の確保	健康づくり、保健・医療の充実	健康づくり、保健・医療の充実	地域環境の保全	防災・消防・救急体制の強化
五和	健康づくり、保健・医療の充実	道路・河川・公共交通の整備、地域環境の保全（同一順位）	子ども・子育て支援の推進	良好な水資源の確保 健康づくり、保健・医療の充実（同一順位）	文化芸術の振興	減災対策と災害復旧、資源循環と地球温暖化対策の推進（同一順位）
朝日	良好な水資源の確保	地域福祉の推進、子ども・子育て支援の推進（同一順位）	資源循環と地球温暖化対策の推進	健康づくり、保健・医療の充実	環境意識の向上	防災・消防・救急体制の強化
三花	防犯体制、交通安全対策及び消費生活の充実	健康づくり、保健・医療の充実	良好な水資源の確保	防災・消防・救急体制の強化	健康づくり、保健・医療の充実	地域福祉の推進
西有田	良好な水資源の確保	良好な水資源の確保	防災・消防・救急体制の強化	防災・消防・救急体制の強化	学校教育の充実、文化芸術の振興（同一順位）	健康づくり、保健・医療の充実
東有田	公園・緑地の整備と維持管理	健康づくり、保健・医療の充実	学校教育の充実	市民サービスの充実・向上	互いに尊重しあえる社会の実現	防災・消防・救急体制の強化

地区名	1 位		2 位		3 位	
	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査
小野	子ども・子育て支援の推進	防犯体制、交通安全対策及び消費生活の充実	高齢者福祉の充実	健康づくり、保健・医療の充実	健康づくり、保健・医療の充実、資源循環と地球温暖化対策の推進 (同一順位)	障がい者（児）福祉の充実
大鶴	スポーツ・レクリエーションの振興	子ども・子育て支援の推進	互いに尊重しあえる社会の実現	健康づくり、保健・医療の充実	環境意識の向上	学校教育の充実
夜明	良好な水資源の確保	防災・消防・救急体制の強化	資源循環と地球温暖化対策の推進	健康づくり、保健・医療の充実、農業・水産業の振興、道路・河川・公共交通の整備、公園・緑地の整備と維持管理、スポーツ・レクリエーションの振興 (同一順位)	観光の振興	市民サービスの充実・向上、減災対策と災害復旧 (同一順位)
前津江	良好な水資源の確保	子ども・子育て支援の推進	学校教育の充実	防災・消防・救急体制の強化、情報通信基盤の整備と維持管理 (同一順位)	文化芸術の振興	公園・緑地の整備と維持管理、減災対策と災害復旧 (同一順位)
中津江	互いに尊重しあえる社会の実現	防災・消防・救急体制の強化	観光の振興	学校教育の充実	情報通信基盤の整備と維持管理	高齢者福祉の充実、防犯体制、交通安全対策及び消費生活の充実 (同一順位)
上津江	健康づくり、保健・医療の充実	健康づくり、保健・医療の充実	学校教育の充実	良好な水資源の確保、資源循環と地球温暖化対策の推進 (同一順位)	子ども・子育て支援の推進	地域福祉の推進、高齢者福祉の充実 (同一順位)
大山	学校教育の充実	健康づくり、保健・医療の充実	良好な水資源の確保	地域福祉の推進、高齢者福祉の充実 (同一順位)	子ども・子育て支援の推進	公園・緑地の整備と維持管理、良好な水資源の確保 (同一順位)
天瀬	良好な水資源の確保	健康づくり、保健・医療の充実	防災・消防・救急体制の強化	防災・消防・救急体制の強化	互いに尊重しあえる社会の実現	良好な水資源の確保

● 「現在の満足度」 （地区別順位※下位）

「現在の満足度（「満足」＋「やや満足」）」の前回調査（H30）・今回調査結果の地区別順位は、以下のとおりとなっています。

※下位3項目

地区名	～	27 位		28 位		29 位（最下位）	
		前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査
咸宜	・・・	住環境の整備と維持管理	商工業の振興	政策を実行・実現する行財政運営	地域特性を活かした空間づくり、スポーツ、レクリエーションの振興（同一順位）	商工業の振興	政策を実行・実現する行財政運営
桂林	・・・	政策を実行・実現する行財政運営	市民協働のまちづくり、林業の振興（同一順位）	道路・河川・公共交通の整備	商工業の振興	商工業の振興	政策を実行・実現する行財政運営
若宮	・・・	道路・河川・公共交通の整備	互いに尊重しあえる社会の実現	高齢者福祉の充実	環境意識の向上	減災対策と災害復旧	林業の振興
日隈	・・・	農業・水産業の振興、林業の振興、住環境の整備と維持管理（同一順位）	互いに尊重しあえる社会の実現	道路・河川・公共交通の整備	商工業の振興	商工業の振興	政策を実行・実現する行財政運営
光岡	・・・	道路・河川・公共交通の整備、減災対策と災害復旧（同一順位）	林業の振興	商工業の振興	農業・水産業の振興	政策を実行・実現する行財政運営	商工業の振興
三芳	・・・	林業の振興	林業の振興	政策を実行・実現する行財政運営	文化芸術の振興	商工業の振興	商工業の振興
高瀬	・・・	住環境の整備と維持管理	商工業の振興	政策を実行・実現する行財政運営	林業の振興	商工業の振興	政策を実行・実現する行財政運営
五和	・・・	林業の振興	林業の振興	道路・河川・公共交通の整備	地域特性を活かした空間づくり	商工業の振興	商工業の振興
朝日	・・・	道路・河川・公共交通の整備	政策を実行・実現する行財政運営、スポーツ、レクリエーションの振興（同一順位）	減災対策と災害復旧	地域特性を活かした空間づくり	政策を実行・実現する行財政運営	林業の振興、商工業の振興（同一順位）
三花	・・・	住環境の整備と維持管理	林業の振興	道路・河川・公共交通の整備	政策を実行・実現する行財政運営	減災対策と災害復旧	商工業の振興
西有田	・・・	政策を実行・実現する行財政運営	林業の振興、文化芸術の振興、環境意識の向上（同一順位）	林業の振興	商工業の振興、情報通信基盤の整備と維持管理（同一順位）	農業・水産業の振興	住環境の整備と維持管理

地区名	～	27 位		28 位		29 位（最下位）	
		前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査
東有田	・・・	商工業の振興	市民協働のまちづくり、商工業の振興、環境意識の向上（同一順位）	林業の振興	障がい者（児）福祉の充実、住環境の整備と維持管理、情報通信基盤の整備と維持管理（同一順位）	農業・水産業の振興	政策を実行・実現する行財政運営、道路・河川・公共交通の整備（同一順位）
小野	・・・	商工業の振興、道路・河川・公共交通の整備、減災対策と災害復旧（同一順位）	市民協働のまちづくり、市民サービスの充実・向上、政策を実行・実現する行財政運営等9項目（同一順位）	住環境の整備と維持管理	林業の振興、商工業の振興、道路・河川・公共交通の整備、住環境の整備と維持管理、減災対策と災害復旧（同一順位）	林業の振興	地域特性を活かした空間づくり
大鶴	・・・	住環境の整備と維持管理	林業の振興	減災対策と災害復旧	道路・河川・公共交通の整備	道路・河川・公共交通の整備	住環境の整備と維持管理
夜明	・・・	商工業の振興	地域福祉の推進、子ども・子育て支援の推進、障がい者（児）福祉の充実等10項目（同一順位）	情報通信基盤の整備と維持管理	市民協働のまちづくり、高齢者福祉の充実、商工業の振興等10項目（同一順位）	道路・河川・公共交通の整備	政策を実行・実現する行財政運営、
前津江	・・・	農業・水産業の振興、林業の振興（同一順位）	商工業の振興、道路・河川・公共交通の整備（同一順位）	住環境の整備と維持管理	市民協働のまちづくり、農業・水産業の振興、生涯学習の充実、スポーツ・レクリエーションの振興（同一順位）	道路・河川・公共交通の整備	観光の振興
中津江	・・・	住環境の整備と維持管理	市民協働のまちづくり、地域福祉の推進、子ども・子育て支援の推進等7項目（同一順位）	林業の振興	市民サービスの充実・向上、政策を実行・実現する行財政運営、地域特性を活かした空間づくり（同一順位）	道路・河川・公共交通の整備	道路・河川・公共交通の整備

第2章 調査結果「施策評価」

地区名	～	27 位		28 位		29 位（最下位）	
		前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査
上津江	・・・	林業の振興	市民協働のまちづくり、生涯学習の充実、スポーツ・レクリエーションの振興（同一順位）	政策を実行・実現する行財政運営	防犯体制、交通安全対策及び消費生活の充実	道路・河川・公共交通の整備	農業・水産業の振興、文化芸術の振興（同一順位）
大山	・・・	住環境の整備と維持管理	商工業の振興	商工業の振興	林業の振興	道路・河川・公共交通の整備	政策を実行・実現する行財政運営
天瀬	・・・	商工業の振興	住環境の整備と維持管理	農業・水産業の振興	林業の振興、商工業の振興（同一順位）	政策を実行・実現する行財政運営	農業・水産業の振興

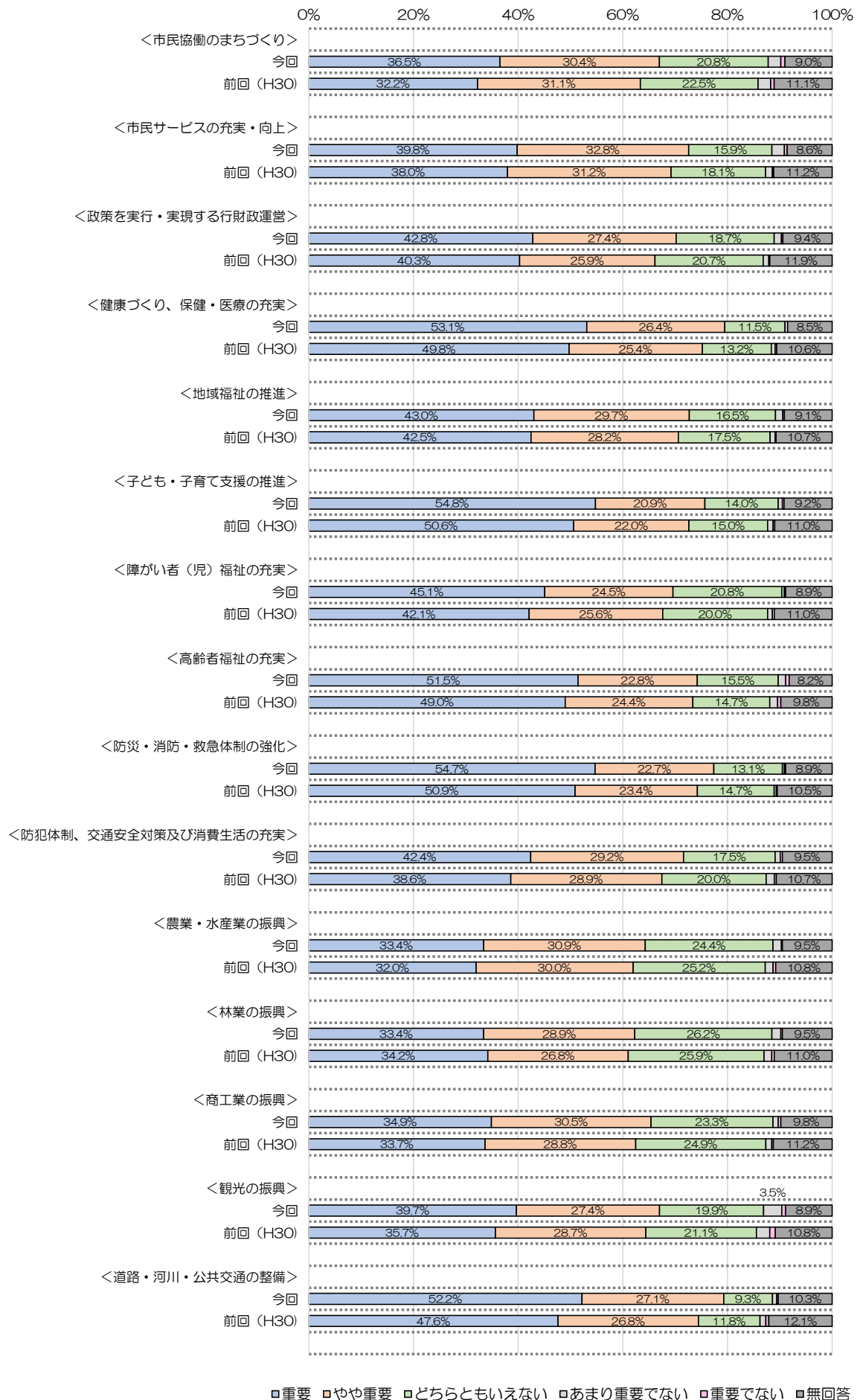
■「今後の重要度」（全体）

今後の重要度については、重要性を感じている人※¹の割合は、「健康づくり、保健・医療の充実」が79.5%と最も高く、次いで「道路・河川・公共交通の整備」が79.3%、「減災対策と災害復旧」が78.9%の順となっています。

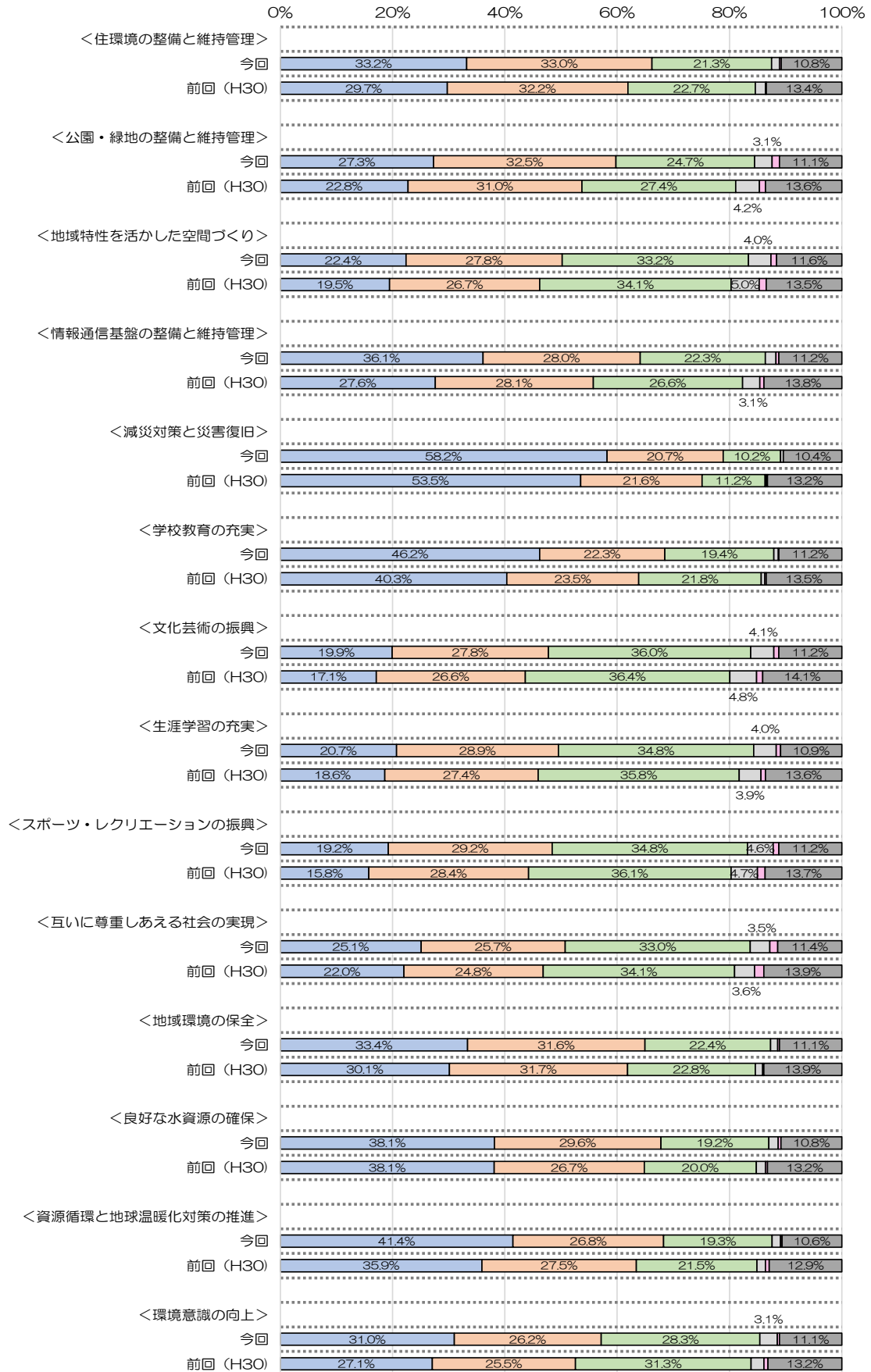
前回調査と比較すると、重要性を感じている人の割合は、すべての項目で増加しており、増加幅は「情報通信基盤の整備と維持管理」が8.4ポイントで最も大きくなっています。

※¹「重要」若しくは「やや重要」と回答した人

第2章 調査結果「施策評価」



第2章 調査結果「施策評価」



■重要 ■やや重要 □どちらともいえない □あまり重要でない □重要でない □無回答

■ 「今後の重要度」（性別順位）

「今後の重要度（「重要」＋「やや重要」）」の前回調査（H30）・今回調査結果の性別順位は、以下のとおりとなっています。

※上位3項目

	男性		女性	
	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査
1位	減災対策と災害復旧	道路・河川・公共交通の整備	減災対策と災害復旧	健康づくり、保健・医療の充実
2位	健康づくり、保健・医療の充実	減災対策と災害復旧	防災・消防・救急体制の強化	減災対策と災害復旧
3位	防災・消防・救急体制の強化	防災・消防・救急体制の強化	健康づくり、保健・医療の充実	道路・河川・公共交通の整備

■ 「今後の重要度」（年代別順位）

「今後の重要度（「重要」＋「やや重要」）」の前回調査（H30）・今回調査結果の年代別順位は、以下のとおりとなっています。

※上位3項目

	未成年 (16歳以上)		20歳代		30歳代		40歳代	
	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査
1位	減災対策と災害復旧	子ども・子育て支援の推進	子ども・子育て支援の推進	道路・河川・公共交通の整備	子ども・子育て支援の推進	道路・河川・公共交通の整備	減災対策と災害復旧	道路・河川・公共交通の整備
2位	子ども・子育て支援の推進	学校教育の充実	健康づくり、保健・医療の充実	健康づくり、保健・医療の充実	減災対策と災害復旧	減災対策と災害復旧	子ども・子育て支援の推進	健康づくり、保健・医療の充実
3位	高齢者福祉の充実	健康づくり、保健・医療の充実、道路・河川・公共交通の整備（同一順位）	減災対策と災害復旧	子ども・子育て支援の推進	防災・消防・救急体制の強化	健康づくり、保健・医療の充実、子ども・子育て支援の推進（同一順位）	防災・消防・救急体制の強化	防災・消防・救急体制の強化

	50 歳代		60 歳代		70 歳以上	
	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査
1 位	減災対策と 災害復旧	道路・河川・ 公共交通の 整備	減災対策と 災害復旧	減災対策と 災害復旧	減災対策と 災害復旧	健康づくり、 保健・医療の 充実
2 位	道路・河川・ 公共交通の 整備	減災対策と 災害復旧	防災・消防・ 救急体制の 強化	健康づくり、 保健・医療の 充実	健康づくり、 保健・医療の 充実	防災・消防・ 救急体制の 強化
3 位	防災・消防・ 救急体制の 強化	防災・消防・ 救急体制の 強化	高齢者福祉 の充実	道路・河川・ 公共交通の 整備	道路・河川・ 公共交通の 整備	高齢者福祉 の充実

■「今後の重要度」（地区別順位）

「今後の重要度（「重要」＋「やや重要」）」の前回調査（H30）・今回調査結果の地区別順位は、以下のとおりとなっています

※上位3項目

地区名	1 位		2 位		3 位	
	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査
咸宜	減災対策と災害復旧	防災・消防・救急体制の強化、道路・河川・公共交通の整備（同一順位）	健康づくり、保健・医療の充実	子ども・子育て支援の推進	防災・消防・救急体制の強化	健康づくり、保健・医療の充実
桂林	子ども・子育て支援の推進	減災対策と災害復旧	減災対策と災害復旧	道路・河川・公共交通の整備	防災・消防・救急体制の強化	市民サービスの充実・向上
若宮	子ども・子育て支援の推進	防災・消防・救急体制の強化	防災・消防・救急体制の強化	子ども・子育て支援の推進	健康づくり、保健・医療の充実	道路・河川・公共交通の整備 減災対策と災害復旧（同一順位）
日隈	防災・消防・救急体制の強化	健康づくり、保健・医療の充実	減災対策と災害復旧	高齢者福祉の充実	高齢者福祉の充実	減災対策と災害復旧
光岡	道路・河川・公共交通の整備	減災対策と災害復旧	減災対策と災害復旧	道路・河川・公共交通の整備	防災・消防・救急体制の強化	健康づくり、保健・医療の充実
三芳	防災・消防・救急体制の強化	健康づくり、保健・医療の充実	子ども・子育て支援の推進	道路・河川・公共交通の整備	減災対策と災害復旧	減災対策と災害復旧
高瀬	減災対策と災害復旧	道路・河川・公共交通の整備	健康づくり、保健・医療の充実	学校教育の充実	子ども・子育て支援の推進、高齢者福祉の充実（同一順位）	子ども・子育て支援の推進
五和	子ども・子育て支援の推進	健康づくり、保健・医療の充実 資源循環と地球温暖化対策の推進（同一順位）	減災対策と災害復旧	減災対策と災害復旧	防災・消防・救急体制の強化	高齢者福祉の充実、 防災・消防・救急体制の強化、 道路・河川・公共交通の整備（同一順位）
朝日	減災対策と災害復旧	健康づくり、保健・医療の充実	健康づくり、保健・医療の充実	政策を実行・実現する行財政運営、 地域福祉の推進、 子ども・子育て支援の推進（同一順位）	防災・消防・救急体制の強化	減災対策と災害復旧
三花	減災対策と災害復旧	道路・河川・公共交通の整備	健康づくり、保健・医療の充実	健康づくり、保健・医療の充実	子ども・子育て支援の推進	減災対策と災害復旧
西有田	減災対策と災害復旧	道路・河川・公共交通の整備	防災・消防・救急体制の強化	健康づくり、保健・医療の充実	健康づくり、保健・医療の充実	子ども・子育て支援の推進

地区名	1 位		2 位		3 位	
	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査
東有田	子ども・子育て支援の推進	健康づくり、保健・医療の充実、道路・河川・公共交通の整備（同一順位）	減災対策と災害復旧	市民サービスの充実・向上、政策を実行・実現する行財政運営（同一順位）	健康づくり、保健・医療の充実	減災対策と災害復旧
小野	減災対策と災害復旧	健康づくり、保健・医療の充実	道路・河川・公共交通の整備	防災・消防・救急体制の強化	健康づくり、保健・医療の充実	防犯体制、交通安全対策及び消費生活の充実、農業・水産業の振興、道路・河川・公共交通の整備、減災対策と災害復旧、学校教育の充実、良好な水資源の確保（同一順位）
大鶴	減災対策と災害復旧	健康づくり、保健・医療の充実	道路・河川・公共交通の整備	子ども・子育て支援の推進	防災・消防・救急体制の強化	減災対策と災害復旧
夜明	道路・河川・公共交通の整備	減災対策と災害復旧	減災対策と災害復旧	防災・消防・救急体制の強化	高齢者福祉の充実	市民サービスの充実・向上、健康づくり、保健・医療の充実、高齢者福祉の充実（同一順位）
前津江	道路・河川・公共交通の整備	道路・河川・公共交通の整備	減災対策と災害復旧	減災対策と災害復旧	健康づくり、保健・医療の充実	情報通信基盤の整備と維持管理
中津江	道路・河川・公共交通の整備	道路・河川・公共交通の整備	減災対策と災害復旧	防災・消防・救急体制の強化	地域福祉の推進	減災対策と災害復旧
上津江	健康づくり、保健・医療の充実	健康づくり、保健・医療の充実	道路・河川・公共交通の整備	道路・河川・公共交通の整備	減災対策と災害復旧	政策を実行・実現する行財政運営、地域福祉の推進、防犯体制、交通安全対策及び消費生活の充実、農業・水産業の振興、商工業の振興、観光の振興（同一順位）

第2章 調査結果「施策評価」

地区名	1 位		2 位		3 位	
	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査
大山	地域福祉の推進	健康づくり、保健・医療の充実	防災・消防・救急体制の強化	防災・消防・救急体制の強化、減災対策と災害復旧（同一順位）	健康づくり、保健・医療の充実	地域福祉の推進、障がい者（児）福祉の充実（同一順位）
天瀬	減災対策と災害復旧	防災・消防・救急体制の強化	子ども・子育て支援の推進	防犯体制、交通安全対策及び消費生活の充実、減災対策と災害復旧（同一順位）	障がい者（児）福祉の充実	市民サービスの充実・向上、地域福祉の推進（同一順位）

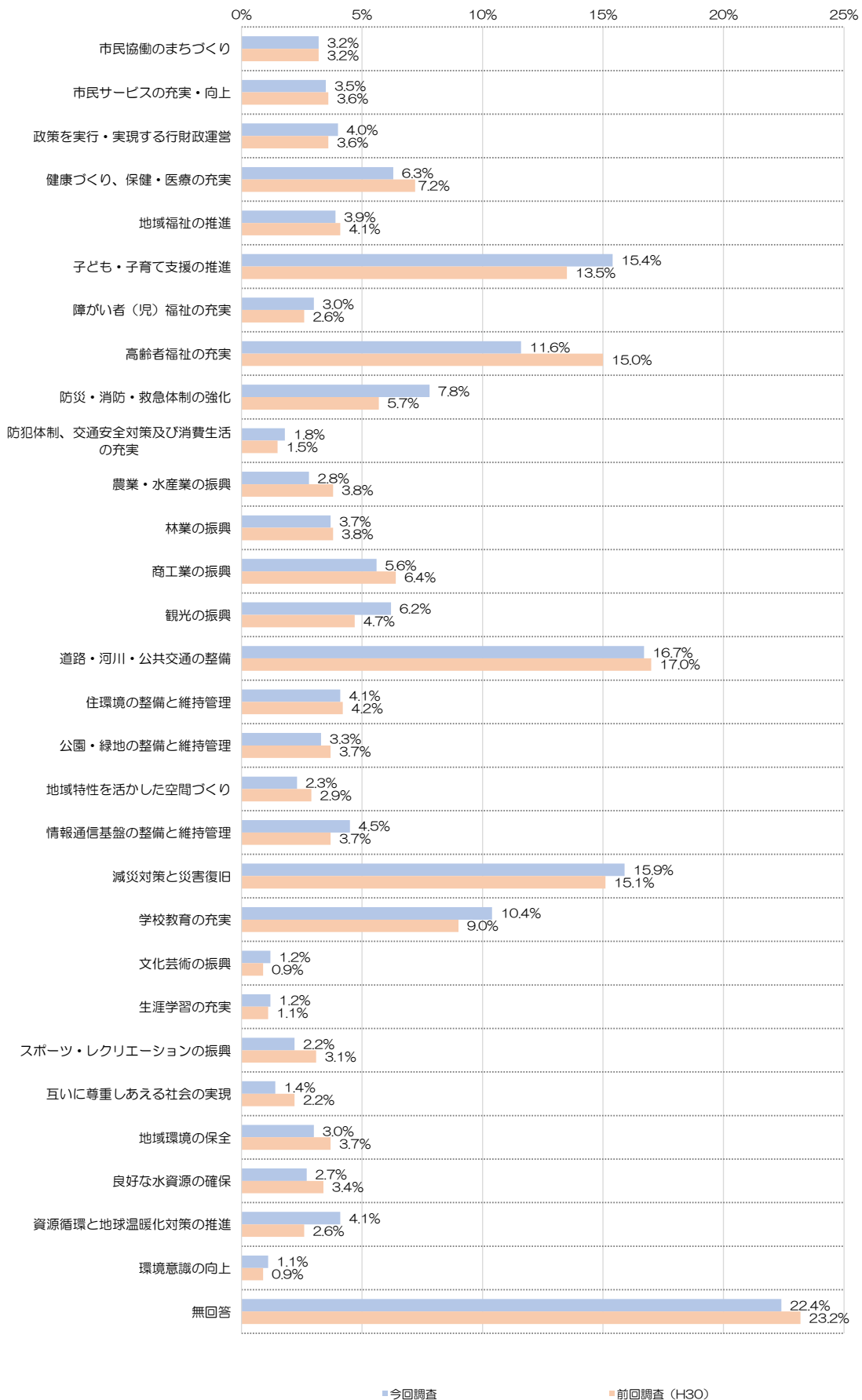
【問6】問5で、まちづくりの施策ごとに「現在の満足度」と「今後の重要度」をお伺いしました。それらを総合的に判断して、今後の日田市において、特に重点的に進めてほしいと思う施策について番号を記入してください。（問5の①～⑳の中から2つまで）

今後の日田市において、特に重点的に進めてほしいと思う施策については、「道路・河川・公共交通の整備」が16.7%と最も高く、次いで「減災対策と災害復旧」が15.9%、「子ども・子育て支援の推進」が15.4%、「高齢者福祉の充実」が11.6%の順となっています。

年代別にみると、「未成年」では「道路・河川・公共交通の整備」と「減災対策と災害復旧」、「20歳代」「30歳代」では「子ども・子育て支援の推進」、「40歳代」では「学校教育の充実」、「50歳代」では「減災対策と災害復旧」、「60歳代」では「道路・河川・公共交通の整備」、「70歳以上」では「高齢者福祉の充実」の割合が最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「子ども・子育て支援の推進」が1.9ポイント増加している一方、「高齢者福祉の充実」は3.4ポイント減少しています。

第2章 調査結果「施策評価」



第2章 調査結果「施策評価」

(上段：人 下段：%)

		標 本 数 (人)	市民協働のまちづくり	市民サービスの充実・向上	政策を実行・実現する行財政運営	健康づくり、保健・医療の充実	地域福祉の推進	子ども・子育て支援の推進	障がい者(児)福祉の充実	高齢者福祉の充実	防災・消防・救急体制の強化	防犯体制、交通安全対策及び消費生活の充実	農業・水産業の振興	林業の振興	商工業の振興	観光の振興	道路・河川・公共交通の整備
全体(単純集計)			38 3.2%	41 3.5%	47 4.0%	75 6.3%	46 3.9%	183 15.4%	36 3.0%	137 11.6%	93 7.8%	21 1.8%	33 2.8%	44 3.7%	66 5.6%	73 6.2%	198 16.7%
性別	男性	515	16 3.1%	20 3.9%	28 5.4%	33 6.4%	20 3.9%	75 14.6%	14 2.7%	53 10.3%	35 6.8%	9 1.7%	24 4.7%	24 4.7%	37 7.2%	35 6.8%	96 18.6%
	女性	649	22 3.4%	20 3.1%	19 2.9%	42 6.5%	25 3.9%	106 16.3%	22 3.4%	82 12.6%	57 8.8%	11 1.7%	9 1.4%	20 3.1%	29 4.5%	38 5.9%	100 15.4%
	回答したくない	12	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	2 16.7%	0 0.0%	1 8.3%	1 8.3%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 16.7%
年代別	未成年	97	7 7.2%	9 9.3%	1 1.0%	7 7.2%	2 2.1%	10 10.3%	4 4.1%	4 4.1%	6 6.2%	4 4.1%	2 2.1%	0 0.0%	4 4.1%	7 7.2%	17 17.5%
	20歳代	119	5 4.2%	2 1.7%	5 4.2%	7 5.9%	4 3.4%	36 30.3%	4 3.4%	7 5.9%	5 4.2%	2 1.7%	5 4.2%	3 2.5%	5 4.2%	7 5.9%	25 21.0%
	30歳代	140	3 2.1%	4 2.9%	5 3.6%	10 7.1%	2 1.4%	55 39.3%	6 4.3%	12 8.6%	12 8.6%	2 1.4%	3 2.1%	2 1.4%	9 6.4%	9 6.4%	19 13.6%
	40歳代	176	10 5.7%	6 3.4%	7 4.0%	10 5.7%	6 3.4%	31 17.6%	14 8.0%	18 10.2%	14 8.0%	2 1.1%	6 3.4%	6 3.4%	17 9.7%	19 10.8%	24 13.6%
	50歳代	196	5 2.6%	7 3.6%	11 5.6%	10 5.1%	12 6.1%	20 10.2%	2 1.0%	30 15.3%	21 10.7%	2 1.0%	4 2.0%	9 4.6%	17 8.7%	10 5.1%	39 19.9%
	60歳代	227	6 2.6%	9 4.0%	8 3.5%	14 6.2%	16 7.0%	23 10.1%	4 1.8%	36 15.9%	25 11.0%	2 0.9%	5 2.2%	15 6.6%	9 4.0%	14 6.2%	48 21.1%
	70歳以上	223	2 0.9%	4 1.8%	10 4.5%	17 7.6%	4 1.8%	8 3.6%	2 0.9%	30 13.5%	10 4.5%	7 3.1%	8 3.6%	9 4.0%	5 2.2%	7 3.1%	26 11.7%

(上表の続き)

		標 本 数 (人)	住環境の整備と維持管理	公園・緑地の整備と維持管理	地域特性を活かした空間づくり	情報通信基盤の整備と維持管理	減災対策と災害復旧	学校教育の充実	文化芸術の振興	生涯学習の充実	スポーツ・レクリエーションの振興	互いに尊重しあえる社会の実現	地域環境の保全	良好な水資源の確保	資源循環と地球温暖化対策の推進	環境意識の向上	無回答
全体(単純集計)			49 4.1%	39 3.3%	27 2.3%	53 4.5%	189 15.9%	123 10.4%	14 1.2%	14 1.2%	26 2.2%	17 1.4%	35 3.0%	32 2.7%	48 4.1%	13 1.1%	266 22.4%
性別	男性	515	20 3.9%	15 2.9%	10 1.9%	25 4.9%	74 14.4%	45 8.7%	8 1.6%	6 1.2%	16 3.1%	5 1.0%	13 2.5%	17 3.3%	17 3.3%	6 1.2%	113 21.9%
	女性	649	28 4.3%	24 3.7%	16 2.5%	28 4.3%	113 17.4%	78 12.0%	6 0.9%	7 1.1%	9 1.4%	11 1.7%	22 3.4%	15 2.3%	29 4.5%	6 0.9%	142 21.9%
	回答したくない	12	1 8.3%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	1 8.3%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	1 8.3%	3 25.0%
年代別	未成年	97	4 4.1%	4 4.1%	7 7.2%	12 12.4%	17 17.5%	10 10.3%	1 1.0%	1 1.0%	5 5.2%	3 3.1%	5 5.2%	1 1.0%	6 6.2%	2 2.1%	15 15.5%
	20歳代	119	7 5.9%	3 2.5%	0 0.0%	8 6.7%	20 16.8%	13 10.9%	2 1.7%	1 0.8%	7 5.9%	2 1.7%	5 4.2%	2 1.7%	3 2.5%	1 0.8%	18 15.1%
	30歳代	140	7 5.0%	7 5.0%	4 2.9%	9 6.4%	23 16.4%	23 16.4%	1 0.7%	1 0.7%	2 1.4%	2 1.4%	4 2.9%	4 2.9%	2 1.4%	1 0.7%	17 12.1%
	40歳代	176	7 4.0%	7 4.0%	3 1.7%	10 5.7%	22 12.5%	33 18.8%	2 1.1%	5 2.8%	5 2.8%	3 1.7%	3 1.7%	4 2.3%	3 1.7%	1 0.6%	25 14.2%
	50歳代	196	9 4.6%	8 4.1%	7 3.6%	5 2.6%	40 20.4%	20 10.2%	3 1.5%	2 1.0%	3 1.5%	4 2.0%	3 1.5%	5 2.6%	8 4.1%	5 2.6%	33 16.8%
	60歳代	227	12 5.3%	7 3.1%	2 0.9%	5 2.2%	43 18.9%	12 5.3%	0 0.0%	1 0.4%	1 0.4%	2 0.9%	5 2.2%	12 5.3%	10 4.4%	1 0.4%	51 22.5%
	70歳以上	223	3 1.3%	3 1.3%	4 1.8%	4 1.8%	24 10.8%	12 5.4%	5 2.2%	3 1.3%	3 1.3%	1 0.4%	10 4.5%	4 1.8%	16 7.2%	2 0.9%	100 44.8%

【問7】日田市は、自治会やまちづくり団体などによる地域での活動が盛んなまちだと思いますか。（○は1つだけ）

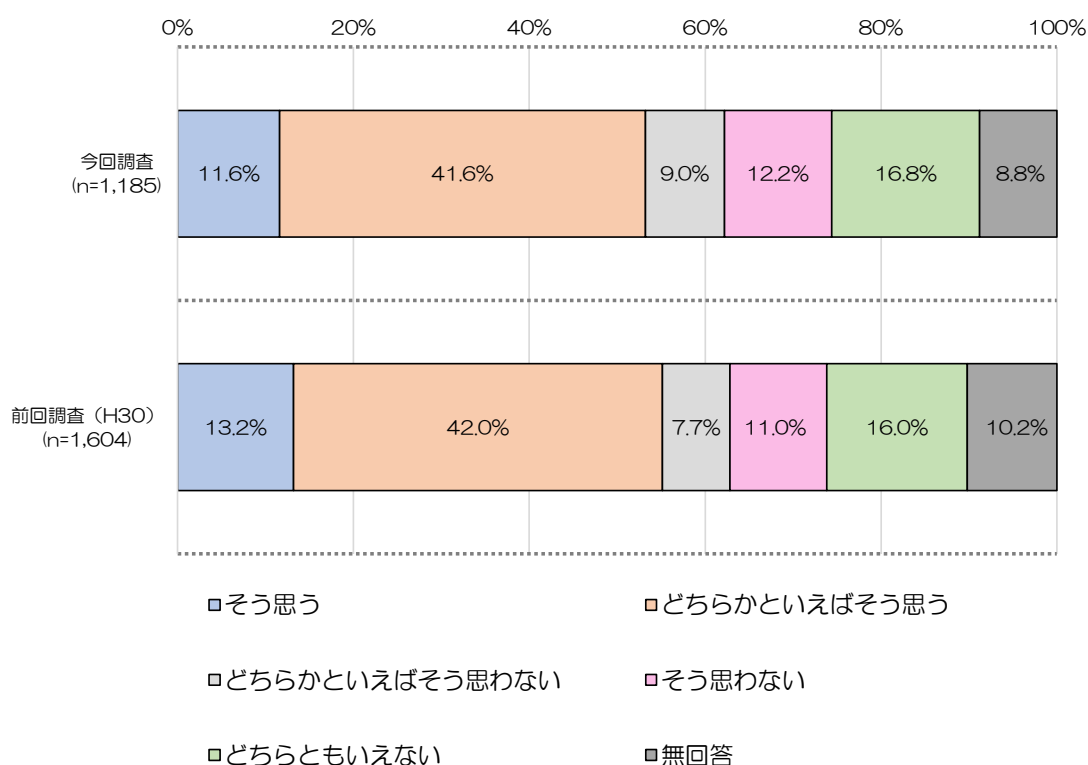
日田市は、自治会やまちづくり団体などによる地域での活動が盛んなまちだと思うかについては、活動が盛んなまちだと思う人※1が53.2%、活動が盛んなまちだと思わない人※2が21.2%となっています。

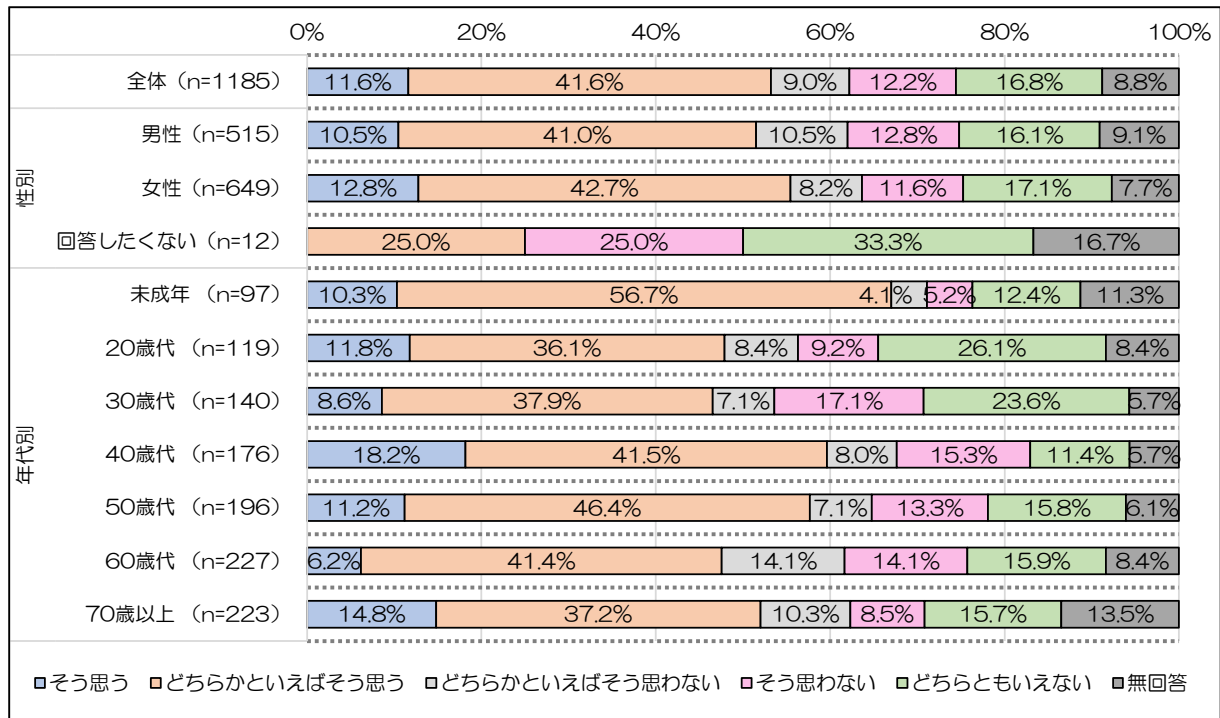
年代別にみると、「そう思う」と回答した割合が「40歳代」で最も高くなっています。また、活動が盛んなまちだと思う人の割合は、「20歳代」「30歳代」「60歳代」が他の年代より低く5割を下回っています。

前回調査と比較すると、活動が盛んなまちだと思う人の割合が2ポイント減少し、活動が盛んなまちだと思わない人の割合が2.5ポイント増加しました。

※1「そう思う」若しくは「どちらかといえばそう思う」と回答した人

※2「そう思わない」若しくは「どちらかといえばそう思わない」と回答した人





第2章 調査結果「市民協働」

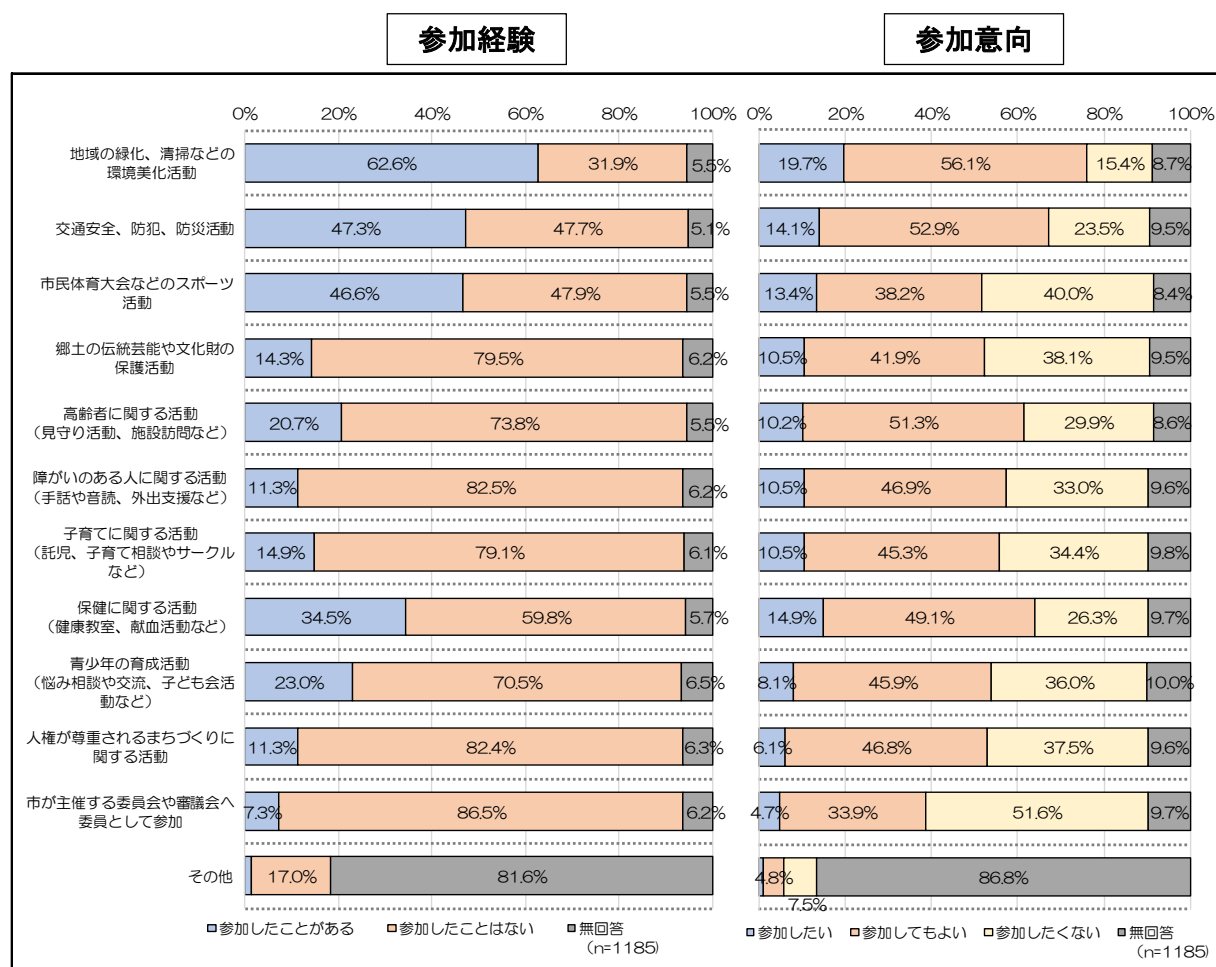
【問8】あなたはコミュニティ活動やボランティア活動などに参加したことがありますか。

また、今後、参加してみたい活動がありますか。（「参加した経験」と「今後の参加意向」の項目ごとに〇は1つつつ）

参加したことがあるコミュニティ活動やボランティア活動としては、「地域の緑化、清掃などの環境美化活動」が62.6%と最も高く、次いで「交通安全、防犯、防災活動」が47.3%、「市民体育大会などのスポーツ活動」が46.6%となっています。

今後、参加してみたい活動※1としては、「地域の緑化、清掃などの環境美化活動」が75.8%と最も高く、次いで「交通安全、防犯、防災活動」が67.0%、「保健に関する活動（健康教室、献血活動など）」が64.0%となっています。

※1「参加したい」若しくは「参加してもよい」と回答した人



コミュニティ活動やボランティア活動への参加経験や今後の参加意向について、性別の調査結果は以下のとおりです。男女ともに「地域の緑化、清掃などの環境美化活動」「交通安全、防犯、防災活動」「市民体育大会などのスポーツ活動」が上位3項目に入っています。

参加意向についても、男女ともに「地域の緑化、清掃などの環境美化活動」「交通安全、防犯、防災活動」「保健に関する活動（健康教室、献血活動など）」が上位3項目に入っています。

■性別 参加経験（「参加したことがある」）

男性		女性	
前回調査	今回調査	前回調査	今回調査
地域の緑化、清掃などの環境美化活動 67.1%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 68.2%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 60.4%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 58.7%
市民体育大会などのスポーツ活動 48.9%	交通安全、防犯、防災活動 52.2%	市民体育大会などのスポーツ活動 43.2%	市民体育大会などのスポーツ活動 46.1%
交通安全、防犯、防災活動 47.0%	市民体育大会などのスポーツ活動 48.0%	交通安全、防犯、防災活動 42.5%	交通安全、防犯、防災活動 43.8%

■性別 参加意向（「参加したい」＋「参加してもよい」）

男性		女性	
前回調査	今回調査	前回調査	今回調査
地域の緑化、清掃などの環境美化活動 78.3%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 77.3%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 75.1%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 75.5%
交通安全、防犯、防災活動 71.3%	交通安全、防犯、防災活動 70.9%	保健に関する活動（健康教室、献血活動など） 69.8%	保健に関する活動（健康教室、献血活動など） 65.8%
保健に関する活動（健康教室、献血活動など） 65.3%	保健に関する活動（健康教室、献血活動など） 62.1%	交通安全、防犯、防災活動 67.9%	交通安全、防犯、防災活動 64.7%

第2章 調査結果「市民協働」

コミュニティ活動やボランティア活動への参加経験や今後の参加意向について、年代別の調査結果は以下のとおりです。参加経験では、今回調査において、すべての年代で「地域の緑化、清掃などの環境美化活動」「交通安全、防犯、防災活動」「市民体育大会などのスポーツ活動」が上位3項目に入っており、「30歳代」を除く年代で「地域の緑化、清掃などの環境美化活動」が1位となっています。

■年代別 参加経験（「参加したことがある」）

未成年 (16歳以上)		20歳代		30歳代		40歳代	
前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査
地域の緑化、清掃などの環境美化活動 62.6%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 63.9%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 40.1%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 41.2%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 50.6%	市民体育大会などのスポーツ活動 39.3%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 61.0%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 61.4%
市民体育大会などのスポーツ活動 49.5%	市民体育大会などのスポーツ活動 46.4%	市民体育大会などのスポーツ活動 36.1%	市民体育大会などのスポーツ活動 33.6%	市民体育大会などのスポーツ活動 45.6%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 37.1%	交通安全、防犯、防災活動 50.7%	交通安全、防犯、防災活動 54.5%
高齢者に関する活動（見守り活動、施設訪問など） 30.2%	交通安全、防犯、防災活動 46.4%	保健に関する活動（健康教室、献血活動など） 27.2%	交通安全、防犯、防災活動 22.7%	交通安全、防犯、防災活動 33.9%	交通安全、防犯、防災活動 26.4%	市民体育大会などのスポーツ活動 43.7%	市民体育大会などのスポーツ活動 47.2%

50歳代		60歳代		70歳以上	
前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査
地域の緑化、清掃などの環境美化活動 73.6%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 74.0%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 74.3%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 76.7%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 64.5%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 67.3%
交通安全、防犯、防災活動 56.7%	市民体育大会などのスポーツ活動 57.7%	交通安全、防犯、防災活動 56.8%	交通安全、防犯、防災活動 62.1%	交通安全、防犯、防災活動 45.4%	交通安全、防犯、防災活動 50.2%
市民体育大会などのスポーツ活動 55.2%	交通安全、防犯、防災活動 57.1%	市民体育大会などのスポーツ活動 48.6%	市民体育大会などのスポーツ活動 55.1%	市民体育大会などのスポーツ活動 37.4%	市民体育大会などのスポーツ活動 40.8%

また、参加意向については、今回調査において、「30 歳代」で、「子育てに関する活動（託児、子育て相談やサークルなど）」、「40 歳代」で「障がいのある人に関する活動（手話や音読、外出支援など）」が新たに上位 3 項目に入っています。

■年代別 参加意向（「参加したい」＋「参加してもよい」）

未成年 (16 歳以上)		20 歳代		30 歳代		40 歳代	
前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査
地域の緑化、清掃などの環境美化活動 84.1%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 85.5%	保健に関する活動（健康教室、献血活動など） 78.2%	保健に関する活動（健康教室、献血活動など） 68.1%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 76.7%	保健に関する活動（健康教室、献血活動など） 73.6%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 78.9%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 79.6%
保健に関する活動（健康教室、献血活動など） 78.6%	交通安全、防犯、防災活動 81.5%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 77.6%	子育てに関する活動（託児、子育て相談やサークルなど） 67.2%	交通安全、防犯、防災活動 72.2%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 67.8%	保健に関する活動（健康教室、献血活動など） 76.1%	交通安全、防犯、防災活動 72.2%
高齢者に関する活動（見守り活動、施設訪問など） 76.9%	高齢者に関する活動（見守り活動、施設訪問など） 80.4%	子育てに関する活動（託児、子育て相談やサークルなど） 77.6%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 66.4%	保健に関する活動（健康教室、献血活動など） 70.0%	子育てに関する活動（託児、子育て相談やサークルなど） 67.2%	交通安全、防犯、防災活動 74.6%	障がいのある人に関する活動（手話や音読、外出支援など） 67.1%

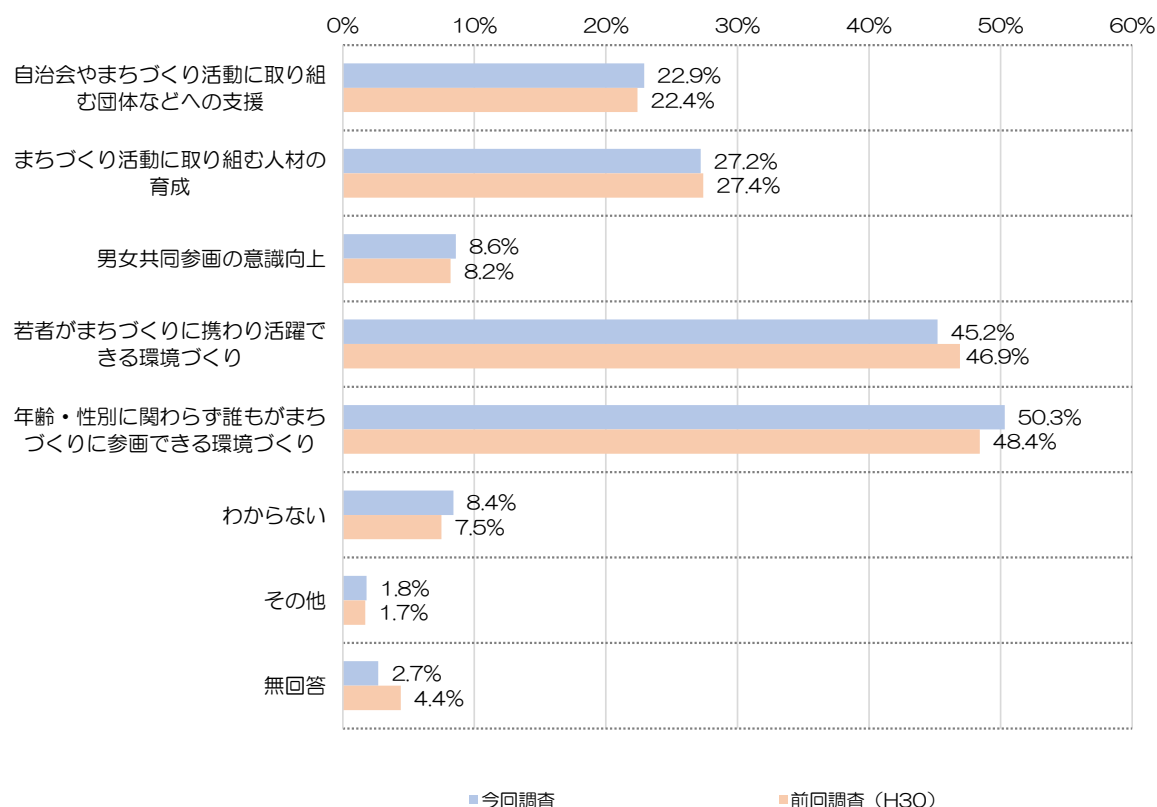
50 歳代		60 歳代		70 歳以上	
前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査
地域の緑化、清掃などの環境美化活動 83.9%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 83.1%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 81.3%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 87.7%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 55.7%	地域の緑化、清掃などの環境美化活動 62.4%
交通安全、防犯、防災活動 77.4%	保健に関する活動（健康教室、献血活動など） 76.5%	交通安全、防犯、防災活動 70.8%	交通安全、防犯、防災活動 76.2%	交通安全、防犯、防災活動 47.3%	交通安全、防犯、防災活動 51.1%
保健に関する活動（健康教室、献血活動など） 71.3%	交通安全、防犯、防災活動 75.0%	高齢者に関する活動（見守り活動、施設訪問など） 67.0%	高齢者に関する活動（見守り活動、施設訪問など） 69.6%	高齢者に関する活動（見守り活動、施設訪問など） 46.9%	高齢者に関する活動（見守り活動、施設訪問など） 46.2%

【問9】市民がまちづくりの「主役」となるためには、どのようなことが特に重要だと思いますか。（〇は2つまで）

市民がまちづくりの「主役」となるために特に重要だと思うこととして、「年齢・性別に関わらず誰もがまちづくりに参画できる環境づくり」が50.3%と最も高く、次いで「若者がまちづくりに携わり活躍できる環境づくり」が45.2%、「まちづくり活動に取り組む人材の育成」が27.2%の順となっています。

年代別にみると、すべての年代で「年齢・性別に関わらず誰もがまちづくりに参画できる環境づくり」と回答した割合が最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「年齢・性別に関わらず誰もがまちづくりに参画できる環境づくり」が1.9ポイント増加している一方、「若者がまちづくりに携わり活躍できる環境づくり」は1.7ポイント減少しています。



(上段：人 下段：%)

		標 本 数 (人)	組 自治 会 や ま ち づ く り の 支 援	ま ち づ く り 活 動 に 取 り 組 む 人 材	男 女 共 同 参 画 の 意 識 の 向 上	で 若 者 が ま ち づ く り に 携 わ り 活 躍	り ち 年 づ く り に 参 画 で き る 環 境 も づ く ま	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
全体 (単純集計)		1,185	271 22.9%	322 27.2%	102 8.6%	536 45.2%	596 50.3%	99 8.4%	21 1.8%	32 2.7%
性 別	男性	515	120 23.3%	157 30.5%	41 8.0%	232 45.0%	253 49.1%	43 8.3%	12 2.3%	13 2.5%
	女性	649	148 22.8%	163 25.1%	55 8.5%	299 46.1%	332 51.2%	55 8.5%	9 1.4%	15 2.3%
	回答したくない	12	1 8.3%	1 8.3%	4 33.3%	3 25.0%	9 75.0%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%
年 代 別	未成年	97	19 19.6%	21 21.6%	9 9.3%	50 51.5%	56 57.7%	9 9.3%	1 1.0%	0 0.0%
	20歳代	119	23 19.3%	18 15.1%	15 12.6%	52 43.7%	54 45.4%	17 14.3%	2 1.7%	2 1.7%
	30歳代	140	19 13.6%	36 25.7%	14 10.0%	72 51.4%	78 55.7%	8 5.7%	2 1.4%	2 1.4%
	40歳代	176	40 22.7%	42 23.9%	11 6.3%	81 46.0%	89 50.6%	19 10.8%	6 3.4%	1 0.6%
	50歳代	196	43 21.9%	61 31.1%	20 10.2%	100 51.0%	104 53.1%	6 3.1%	3 1.5%	2 1.0%
	60歳代	227	62 27.3%	77 33.9%	18 7.9%	99 43.6%	108 47.6%	21 9.3%	6 2.6%	3 1.3%
	70歳以上	223	63 28.3%	67 30.0%	14 6.3%	81 36.3%	106 47.5%	19 8.5%	1 0.4%	18 8.1%

【問 10】あなたは、日田市の市政について関心がありますか。（○は1つだけ）

日田市の市政への関心については、関心がある人※¹が58.9%、関心がない人※²が38.7%となっています。

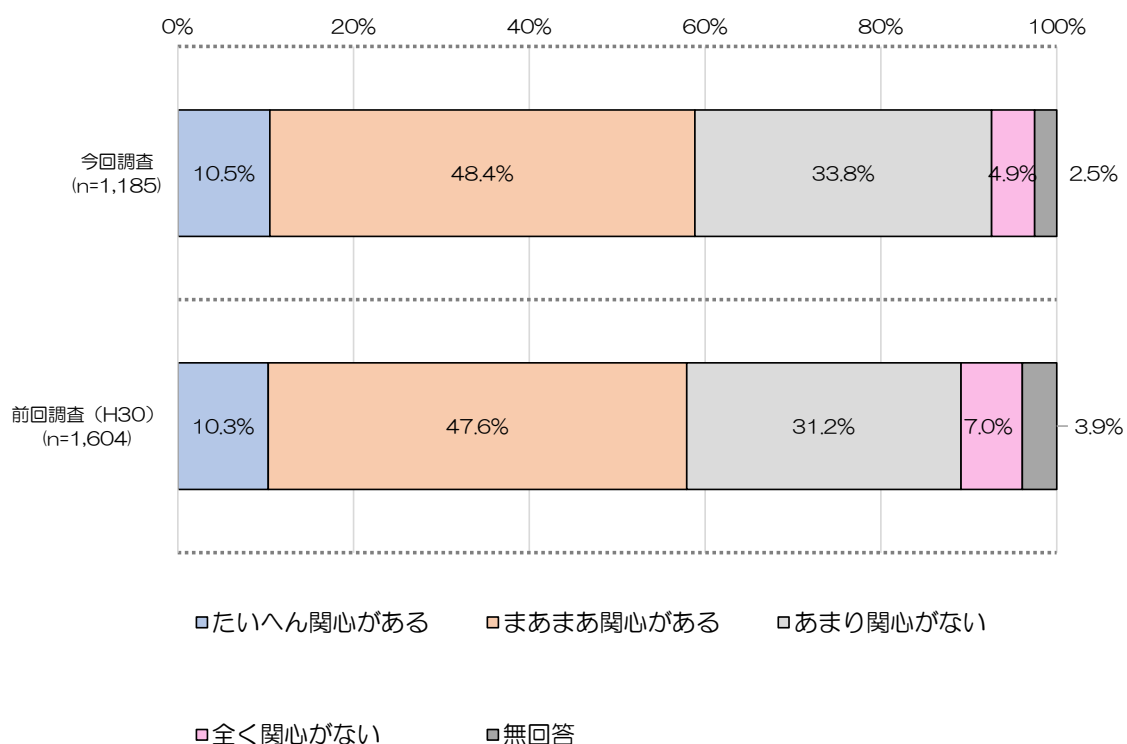
性別にみると、関心がある人は、「男性」が62.0%で「女性」の56.7%と比較して5.3ポイント高くなっています。

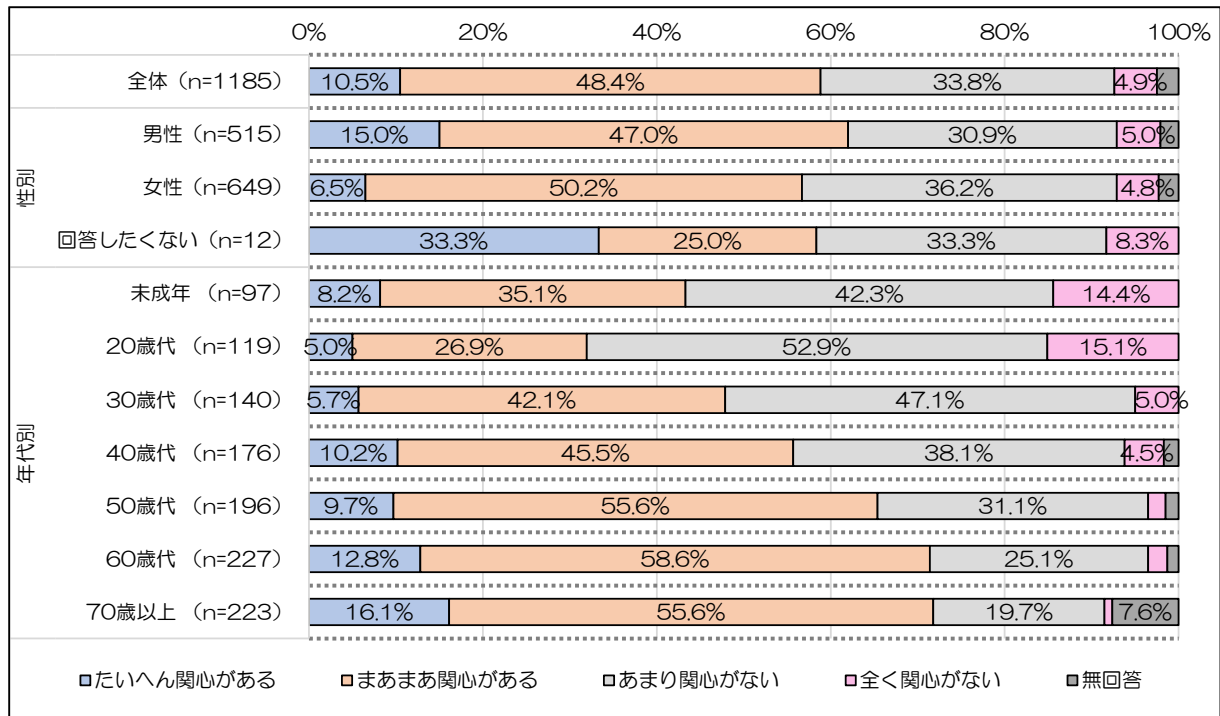
年代別にみると、「20歳代」以上は、年代が高くなるにつれて関心がある人の割合が高くなっています。

前回調査と比較すると、関心がある人の割合が1.0ポイント増加しています。

※¹「たいへん関心がある」若しくは「まあまあ関心がある」と回答した人

※²「全く関心がない」若しくは「あまり関心がない」と回答した人





【問 10-1】 市政に関心がない方にお伺いします。

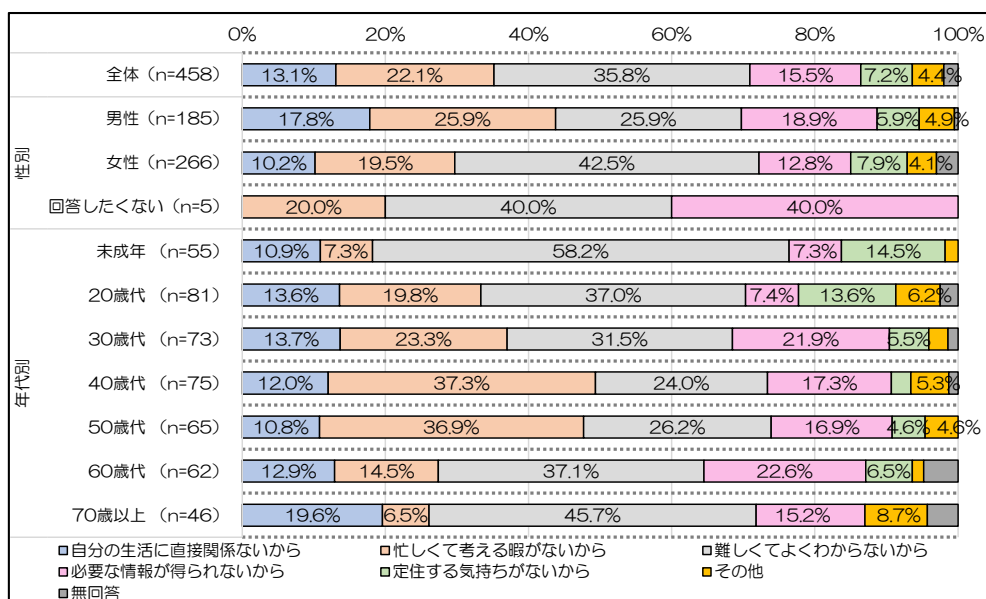
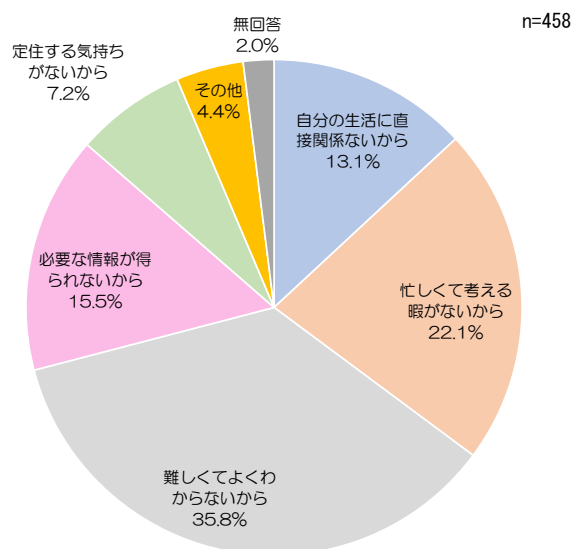
「3. あまり関心がない」「4. 全く関心がない」を選んだ理由は何ですか。

(○は1つだけ)

市政に関心がない理由として、「難しくてよくわからないから」が35.8%と最も高く、次いで「忙しくて考える暇がないから」が22.1%、「必要な情報が得られないから」が15.5%の順となっています。

性別にみると、「自分の生活に直接関係ないから」と回答した割合は、「男性」が17.8%で「女性」の10.2%と比較して7.6ポイント高くなっています。また、「難しくてよくわからないから」と回答した割合は、「女性」が42.5%で「男性」の25.9%と比較して16.6ポイント高くなっています。

年代別にみると、「未成年」「20歳代」「30歳代」「60歳代」「70歳以上」では、「難しくてよくわからないから」と回答した割合が最も高く、「40歳代」と「50歳代」では、「忙しくて考える暇がないから」と回答した割合が最も高くなっています。



【問 11】あなたが、市政に参画する機会があった場合、どれに参画したいと思いますか。

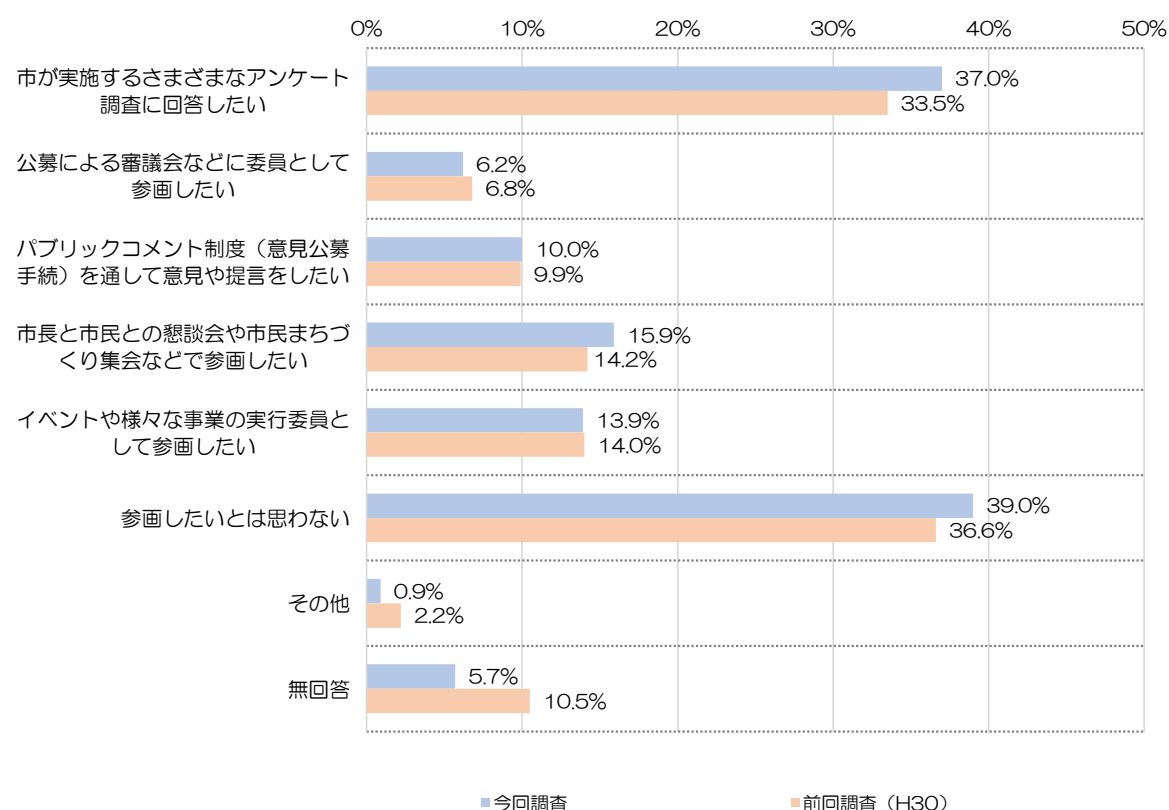
(○は3つまで)

市政に参画する機会があった場合、どれに参画したいと思うかについては、「参画したいとは思わない」が39.0%と最も高く、次いで「市が実施するさまざまなアンケート調査に回答したい」が37.0%の順となっています。

性別にみると、「市長と市民との懇談会や市民まちづくり集会などで参画したい」と回答した割合は「男性」が21.9%で「女性」の10.8%と比較して11.1ポイント高くなっています。

年代別にみると、「参画したいとは思わない」と回答した割合が「未成年」「20歳代」「30歳代」「40歳代」「70歳以上」で最も高く、「50歳代」「60歳代」でも2位となっています。

前回調査と比較すると、「市が実施するさまざまなアンケート調査に回答したい」3.5ポイント増加し、「市長と市民との懇談会や市民まちづくり集会などで参画したい」が1.7ポイント増加した一方、「参画したいとは思わない」も2.4ポイント増加しています。



第2章 調査結果「市民協働」

(上段：人 下段：%)

		標 本 数 （ 人 ）	市 が 実 施 す る さ ま ざ ま な ア ン ケ ー ト 調 査 に 回 答 し た い	公 募 し て 参 画 し た い	公 募 手 続 を し た い	パ ブ リ ク コ メ ン ト 制 度 を 通 し て 意 見 を 提 言 し た い	市 長 と 市 民 の 懇 談 会 や 市 民 の 参 画 を 促 す 機 会 を 創 出 し た い	イ ベ ン ト や さ ま ざ ま な 事 業 の 実 行 委 員 と し て 参 画 し た い	参 画 し た い と は 思 わ な い	そ の 他	無 回 答
全体 （単純集計）		1,185	439 37.0%	73 6.2%	118 10.0%	188 15.9%	165 13.9%	462 39.0%	11 0.9%	67 5.7%	
性 別	男性	515	204 39.6%	44 8.5%	71 13.8%	113 21.9%	91 17.7%	167 32.4%	2 0.4%	26 5.0%	
	女性	649	230 35.4%	26 4.0%	45 6.9%	70 10.8%	73 11.2%	287 44.2%	9 1.4%	38 5.9%	
	回答したくない	12	3 25.0%	3 25.0%	2 16.7%	3 25.0%	1 8.3%	5 41.7%	0 0.0%	0 0.0%	
年 代 別	未成年	97	37 38.1%	1 1.0%	11 11.3%	9 9.3%	21 21.6%	39 40.2%	0 0.0%	3 3.1%	
	20歳代	119	43 36.1%	3 2.5%	11 9.2%	9 7.6%	10 8.4%	59 49.6%	1 0.8%	5 4.2%	
	30歳代	140	56 40.0%	8 5.7%	13 9.3%	15 10.7%	22 15.7%	63 45.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	40歳代	176	62 35.2%	13 7.4%	26 14.8%	17 9.7%	31 17.6%	73 41.5%	2 1.1%	5 2.8%	
	50歳代	196	83 42.3%	18 9.2%	23 11.7%	31 15.8%	31 15.8%	60 30.6%	1 0.5%	9 4.6%	
	60歳代	227	83 36.6%	14 6.2%	23 10.1%	46 20.3%	27 11.9%	81 35.7%	3 1.3%	21 9.3%	
	70歳以上	223	74 33.2%	16 7.2%	11 4.9%	61 27.4%	23 10.3%	84 37.7%	4 1.8%	21 9.4%	

【問 12】あなたは、最新の市政情報（市が提供する情報）が手軽に入手できていると思いますか。（○は1つだけ）

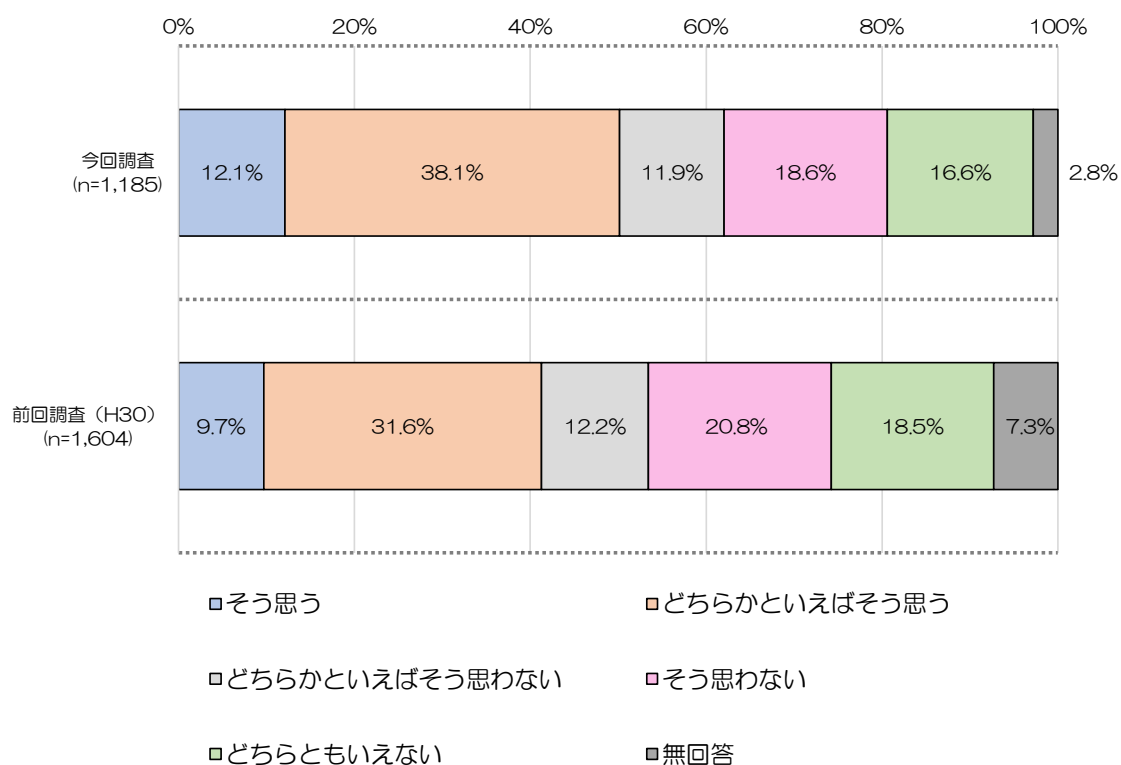
最新の市政情報（市が提供する情報）が手軽に入手できていると思うかについては、手軽に入手できていると思う人※1が50.2%、手軽に入手できていると思わない人※2が30.5%となっています。

年代別にみると、すべての年代で手軽に入手できていると思う人の割合が高くなっています。

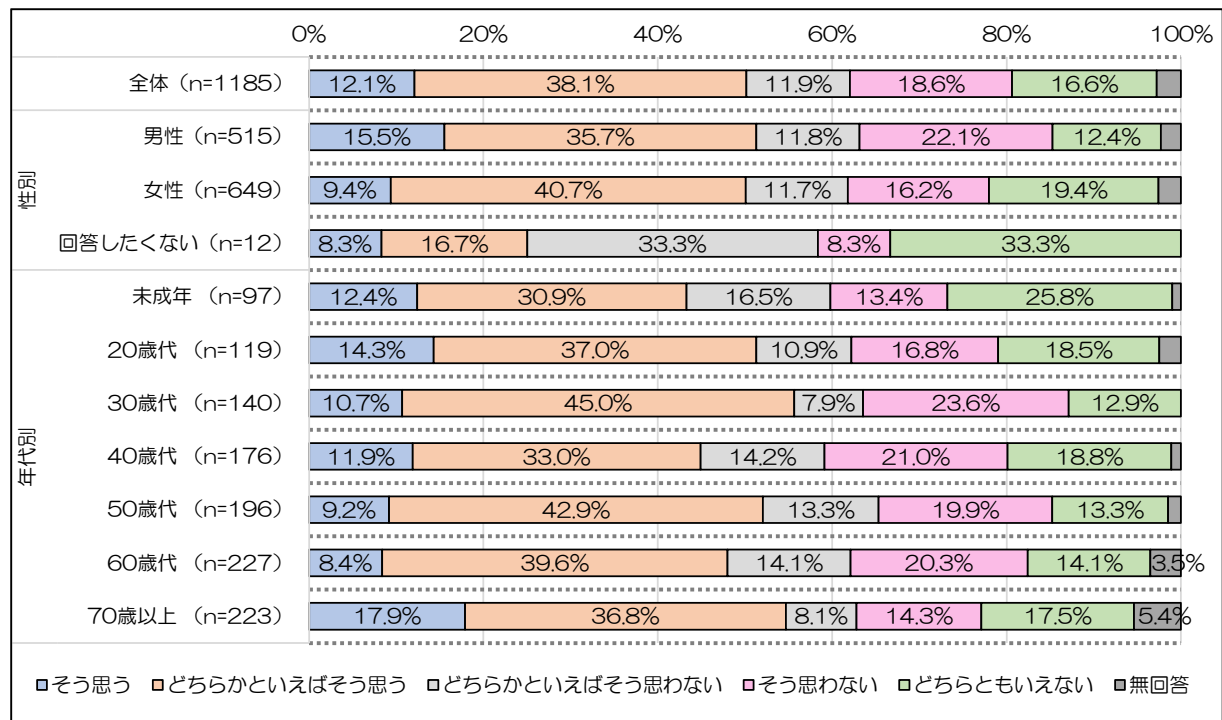
前回調査と比較すると、手軽に入手できていると思う人の割合が8.9ポイント増加しています。

※I「そう思う」若しくは「どちらかといえばそう思う」と回答した人

※2「そう思わない」若しくは「どちらかといえばそう思わない」と回答した人



第2章 調査結果「市民協働」

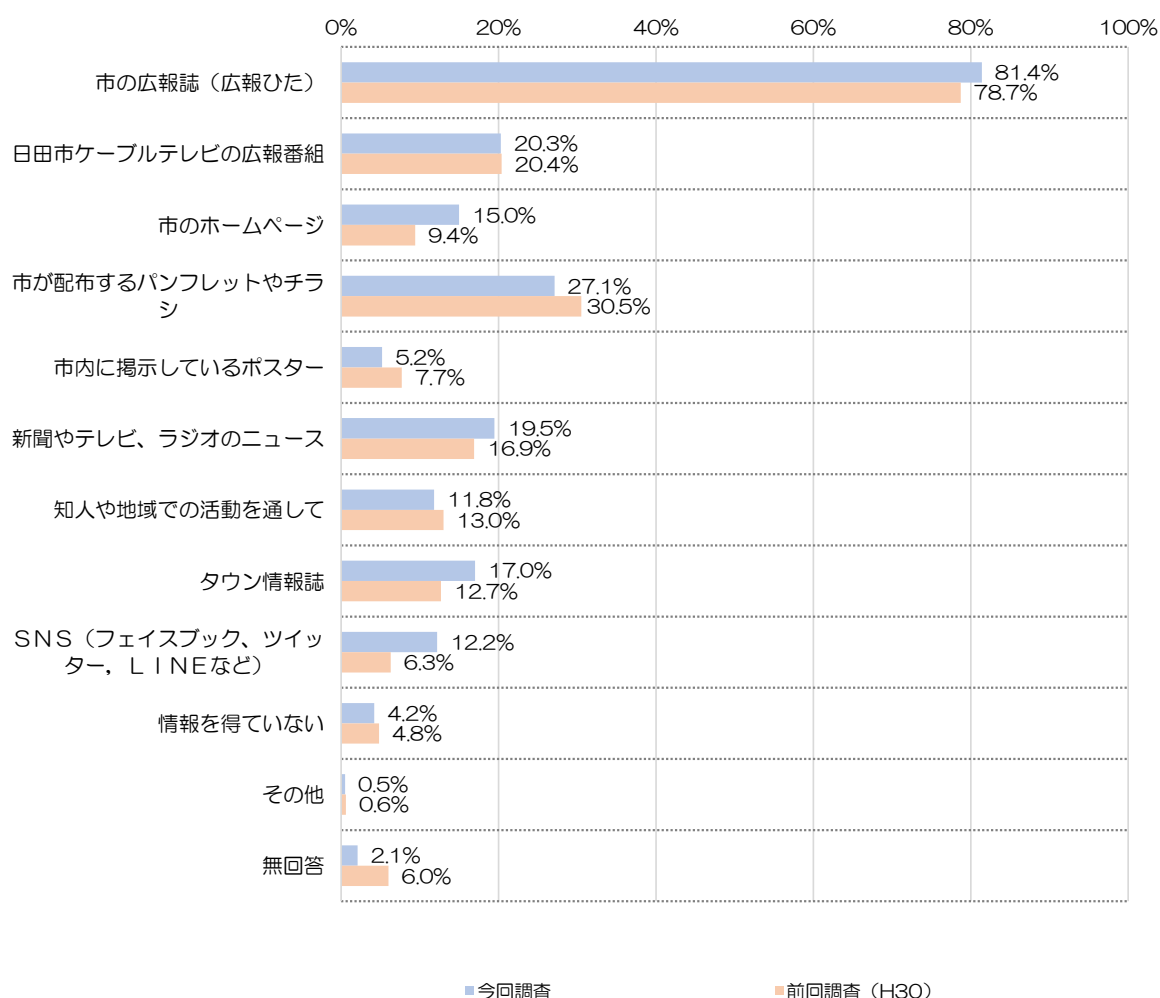


【問 13】あなたは、市政情報（市が提供する情報）を主に何から得ていますか。（○は3つまで）

市政情報（市が提供する情報）を主に何から得ているかについては、「市の広報紙（広報ひた）」が81.4%と最も高く、次いで「市が配布するパンフレットやチラシ」が27.1%、「日田市ケーブルテレビの広報番組」が20.3%の順となっています。

年代別にみると、すべての年代で「市の広報紙（広報ひた）」の割合が最も高くなっているものの、「未成年」では、他の年代が7～8割であるのに対してやや低く、5割程度にとどまっています。また、「市の広報紙（広報ひた）」に次いで高い項目は、「未成年」と「20歳代」では「SNS（フェイスブック、ツイッター、LINEなど）」、「30歳代」では「市のホームページ」、「40歳代」では「タウン情報誌」、「50歳代」では「日田市のケーブルテレビの広報番組」、「60歳代」と「70歳以上」では「市が配布するパンフレットやチラシ」となっています。

前回調査と比較すると、「市のホームページ」と「SNS（フェイスブック、ツイッター、LINEなど）」で5ポイント以上増加しています。



第2章 調査結果「市民協働」

(上段：人 下段：%)

		標 本 数 （ 人 ）	市 の 広 報 紙 （ 広 報 ひ た ）	組 日 田 市 ケ ー プ ル テ レ ビ の 広 報 番	市 の ホ ー ム ペ ー ジ	市 が 配 布 す る パ ン フ レ ッ ト や チ ラ シ	市 内 に 掲 示 し て い る ポ ス タ ー	ス 新 聞 や テ レ ビ 、 ラ ジ オ の ニ ュ ー	知 人 や 地 域 で の 活 動 を 通 し て	タ ウ ン 情 報 誌	S N S （ フ ェ イ ス ブ ッ ク 、 ツ イ ッ タ ー 、 L I N E な ど ）	情 報 を 得 て い な い	そ の 他	無 回 答
全体 （単純集計）		1,185	964 81.4%	240 20.3%	178 15.0%	321 27.1%	62 5.2%	231 19.5%	140 11.8%	201 17.0%	145 12.2%	50 4.2%	6 0.5%	25 2.1%
性別	男性	515	405 78.6%	110 21.4%	81 15.7%	138 26.8%	25 4.9%	106 20.6%	62 12.0%	87 16.9%	53 10.3%	30 5.8%	4 0.8%	11 2.1%
	女性	649	545 84.0%	125 19.3%	95 14.6%	176 27.1%	36 5.5%	119 18.3%	76 11.7%	113 17.4%	92 14.2%	19 2.9%	2 0.3%	11 1.7%
	回答したくない	12	9 75.0%	3 25.0%	1 8.3%	2 16.7%	0 0.0%	5 41.7%	1 8.3%	1 8.3%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%
年代別	未成年	97	44 45.4%	19 19.6%	12 12.4%	16 16.5%	11 11.3%	13 13.4%	13 13.4%	6 6.2%	33 34.0%	13 13.4%	0 0.0%	1 1.0%
	20歳代	119	63 52.9%	14 11.8%	16 13.4%	17 14.3%	9 7.6%	16 13.4%	13 10.9%	11 9.2%	28 23.5%	14 11.8%	0 0.0%	4 3.4%
	30歳代	140	118 84.3%	23 16.4%	30 21.4%	27 19.3%	7 5.0%	13 9.3%	20 14.3%	22 15.7%	28 20.0%	5 3.6%	2 1.4%	1 0.7%
	40歳代	176	150 85.2%	31 17.6%	39 22.2%	32 18.2%	9 5.1%	23 13.1%	25 14.2%	42 23.9%	34 19.3%	7 4.0%	3 1.7%	2 1.1%
	50歳代	196	179 91.3%	52 26.5%	47 24.0%	46 23.5%	6 3.1%	27 13.8%	16 8.2%	40 20.4%	14 7.1%	4 2.0%	0 0.0%	2 1.0%
	60歳代	227	207 91.2%	43 18.9%	22 9.7%	81 35.7%	12 5.3%	57 25.1%	24 10.6%	59 26.0%	7 3.1%	4 1.8%	1 0.4%	4 1.8%
	70歳以上	223	199 89.2%	58 26.0%	11 4.9%	99 44.4%	7 3.1%	81 36.3%	29 13.0%	21 9.4%	1 0.4%	3 1.3%	0 0.0%	8 3.6%

【問 14】日田市は、男性も女性も平等に生活や活動ができるまちだと思いますか。（○は1つだけ）

日田市は、男性も女性も平等に生活や活動ができるまちだと思うかについては、男女が平等なまちだと思う人※¹が51.1%、男女が平等なまちだと思わない人※²が28.9%となっています。

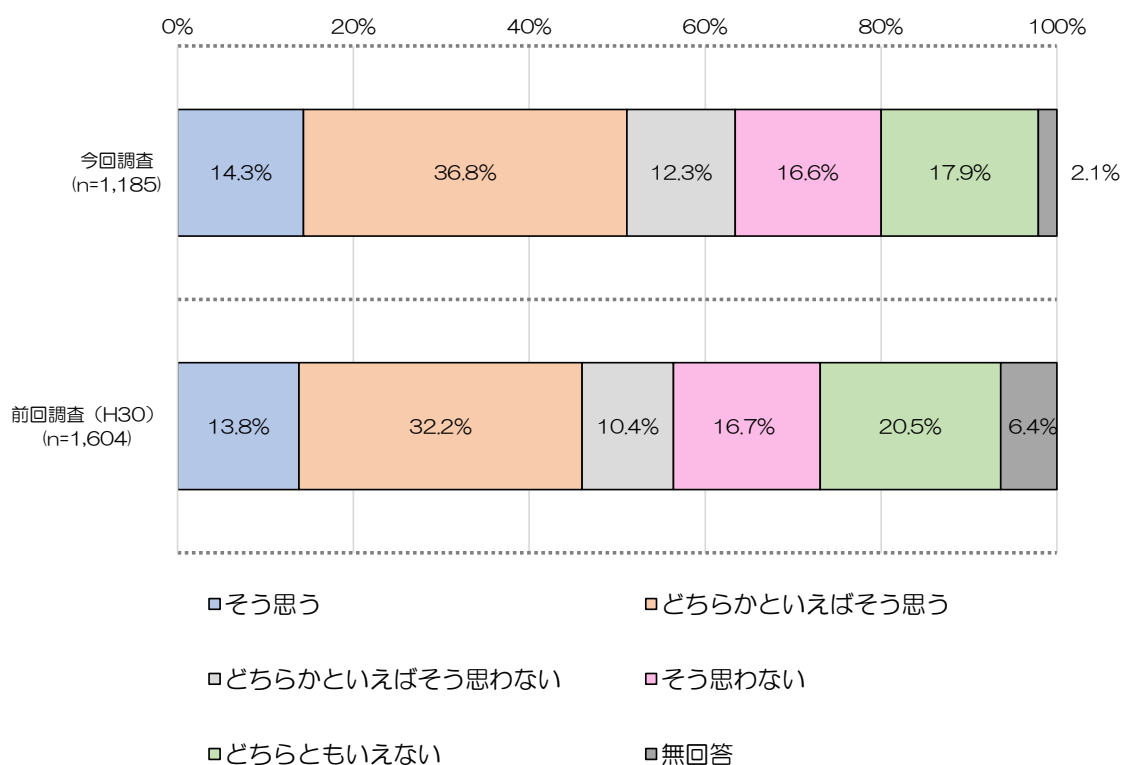
性別にみると、男女が平等なまちだと思う人は、「男性」が55.3%で「女性」の48.5%を6.8ポイント上回りました。

年代別にみると、「未成年」で、男女が平等なまちだと思ふ人の割合が7割を上回り、他の年代より高くなっています。「40歳代」「50歳代」「60歳代」では、男女が平等なまちだと思ふ人の割合が他の年代に比べ低くなっており、5割を下回っています。

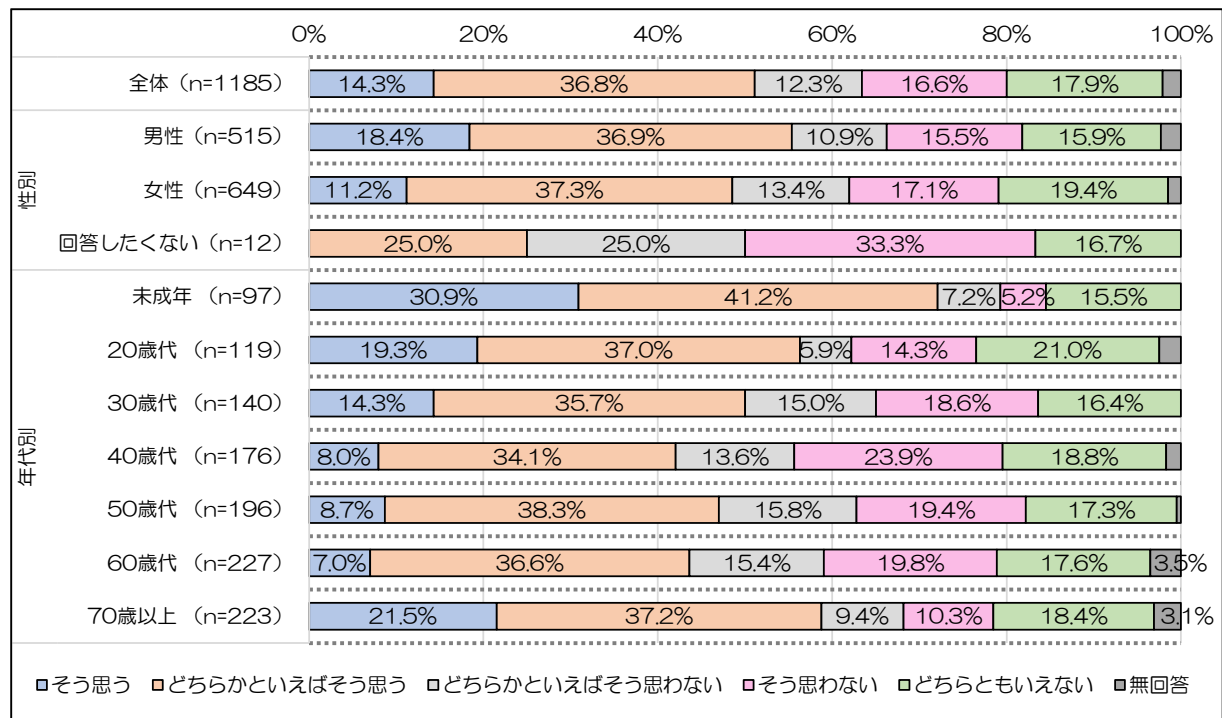
前回調査と比較すると、男女が平等なまちだと思う人の割合が5.1ポイント増加しています。

※1「そう思う」若しくは「どちらかといえばそう思う」と回答した人

※2「そう思わない」若しくは「どちらかといえはそう思わない」と回答した人



第2章 調査結果「市民協働」



【問 15】 あなたは、市役所（振興局、振興センター含む）の窓口サービス（手続きの手順など）が分かりやすく、利用しやすいと思いますか。（○は1つだけ）

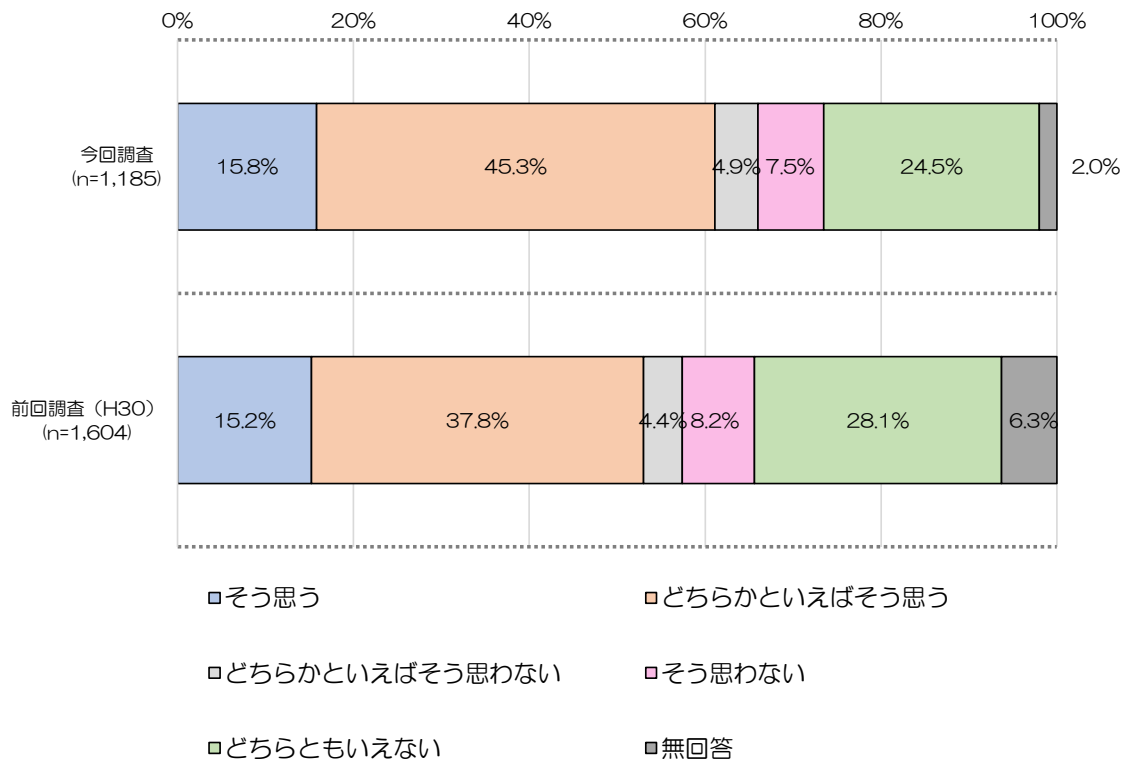
市役所（振興局、振興センター含む）の窓口サービス（手続きの手順など）が分かりやすく、利用しやすいと思うかについては、利用しやすいと思う人※1が61.1%、利用しやすいと思わない人※2が12.4%となっています。

年代別にみると、「20 歳代」「30 歳代」「50 歳代」「60 歳代」「70 歳以上」では、利用しやすいと思う人の割合が高く、5割を上回っています。「30 歳代」「40 歳代」では、利用しやすいと思わない人の割合が他の年代よりもやや高く約2割となっています。

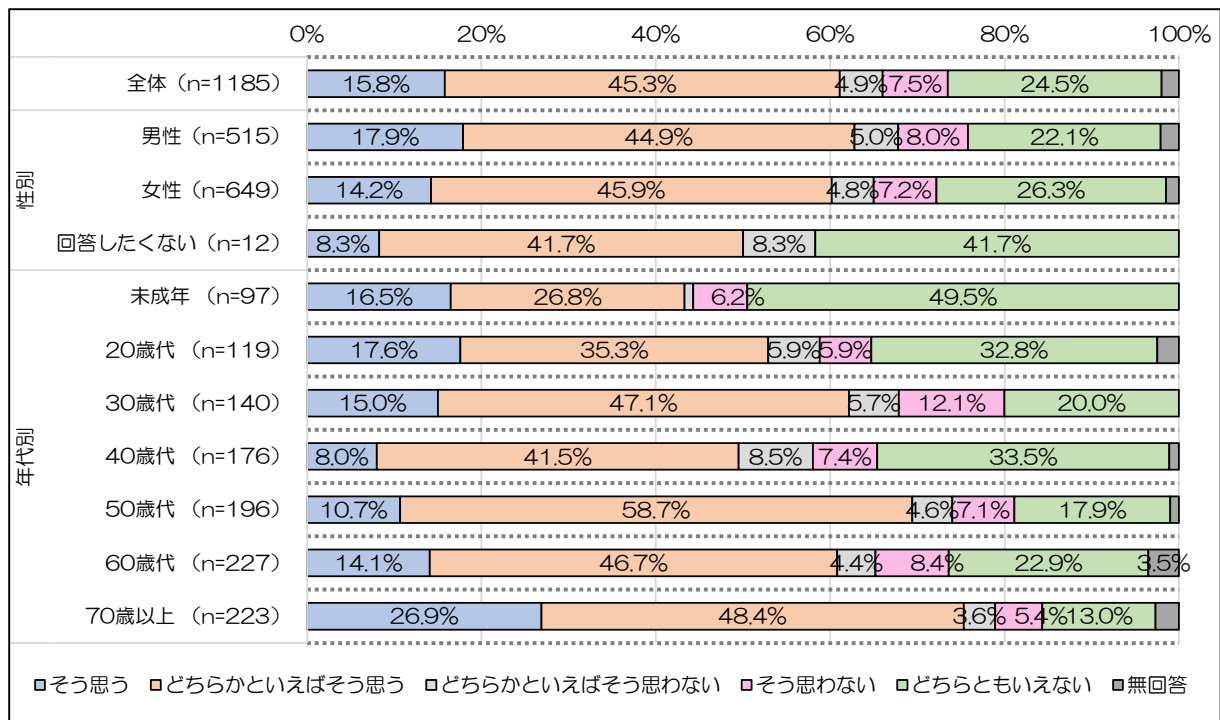
前回調査と比較すると、利用しやすいと思う人の割合が8.1ポイント増加しています。

※1「そう思う」若しくは「どちらかといえばそう思う」と回答した人

※2「そう思わない」若しくは「どちらかといえばそう思わない」と回答した人



第2章 調査結果「市民協働」



■利用しやすいと思わない主な理由

内容
・ 職員の対応に対する不満
・ 手続きの煩雑さに対する不満
・ 手続き方法が不明なため（何から行えばよいか分からない）

【問 16】日田市は、市民一人ひとりの健康づくりへの意識が高いまちだと思いますか。（○は1つだけ）

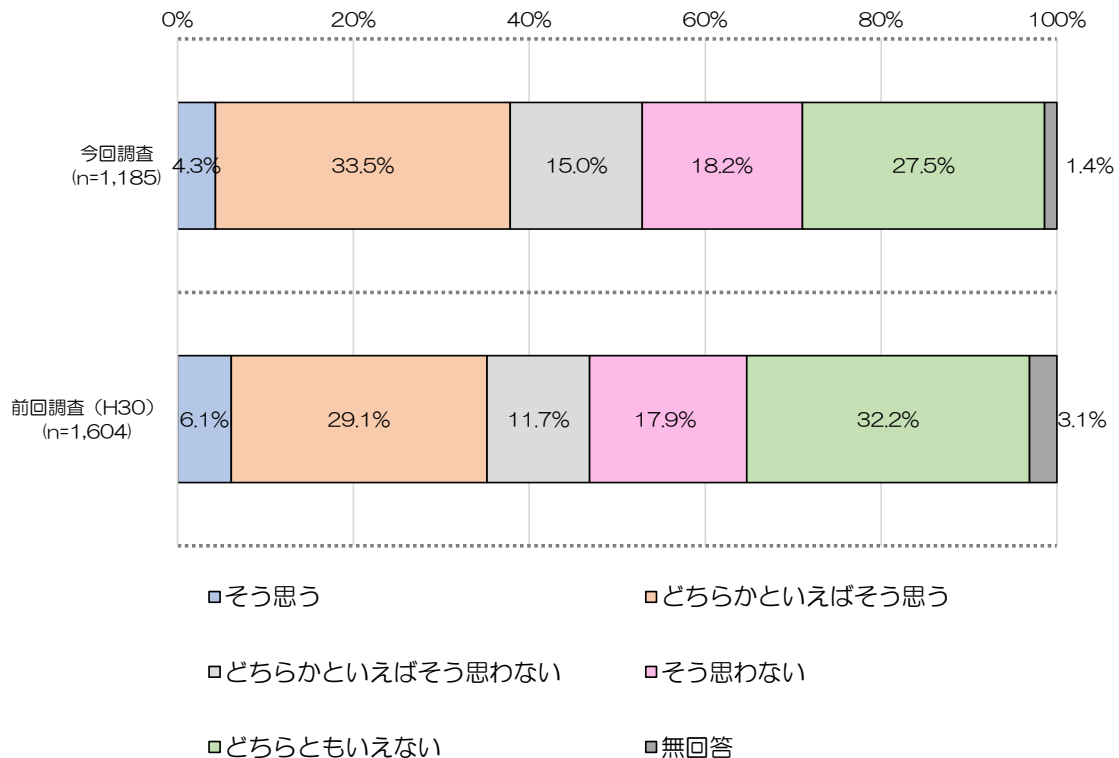
日田市は、市民一人ひとりの健康づくりへの意識が高いまちだと思うかについては、意識が高いまちだと思う人※¹が37.8%、意識が高いまちだと思わない人※²が33.2%となっています。

年代別にみると、「70歳以上」で、意識が高いまちだと思う人の割合が他の年代より高く、5割を超えています。「30歳代」から「50歳代」では、意識が高いまちだと思わない人の割合が、意識が高いまちだと思う人の割合よりも高くなっています。

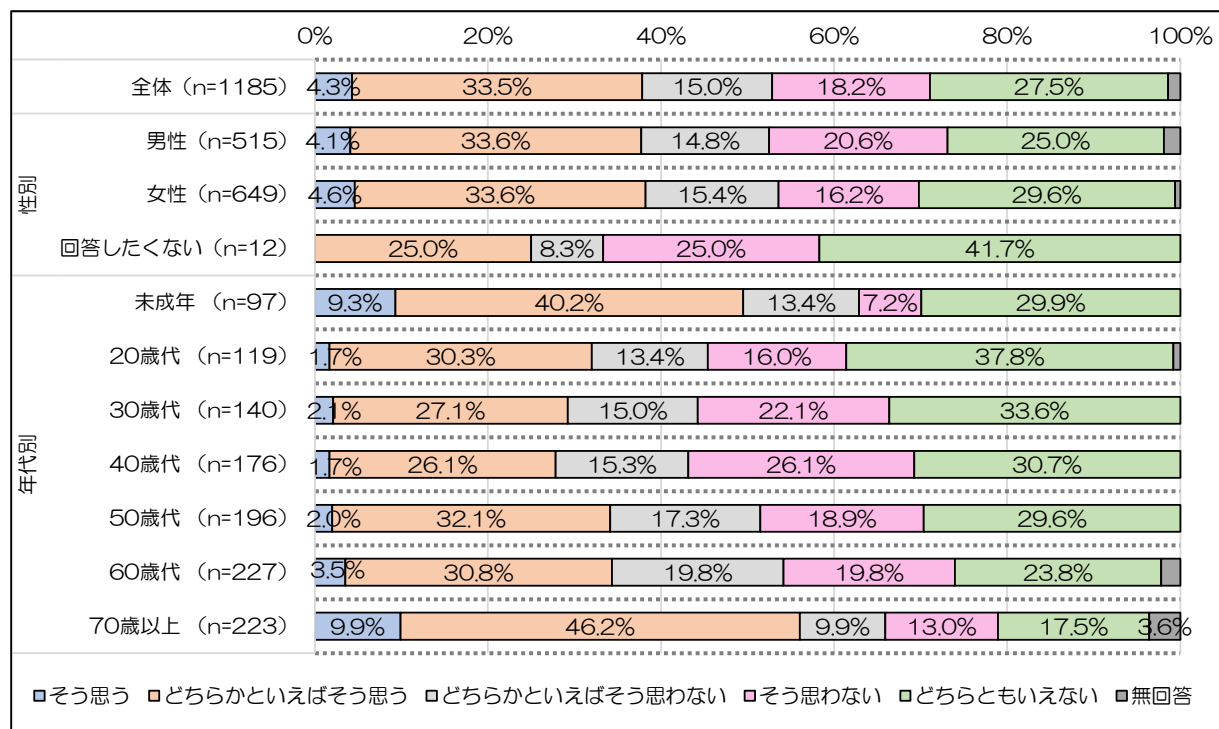
前回調査と比較すると、意識が高いまちだと思う人の割合が2.6ポイント増加しています。

※¹「そう思う」若しくは「どちらかといえばそう思う」と回答した人

※²「そう思わない」若しくは「どちらかといえばそう思わない」と回答した人



第2章 調査結果「福祉」



【問 17】日田市は、安心して医療が受けられる体制が整っているまちだと思いますか。（○は1つだけ）

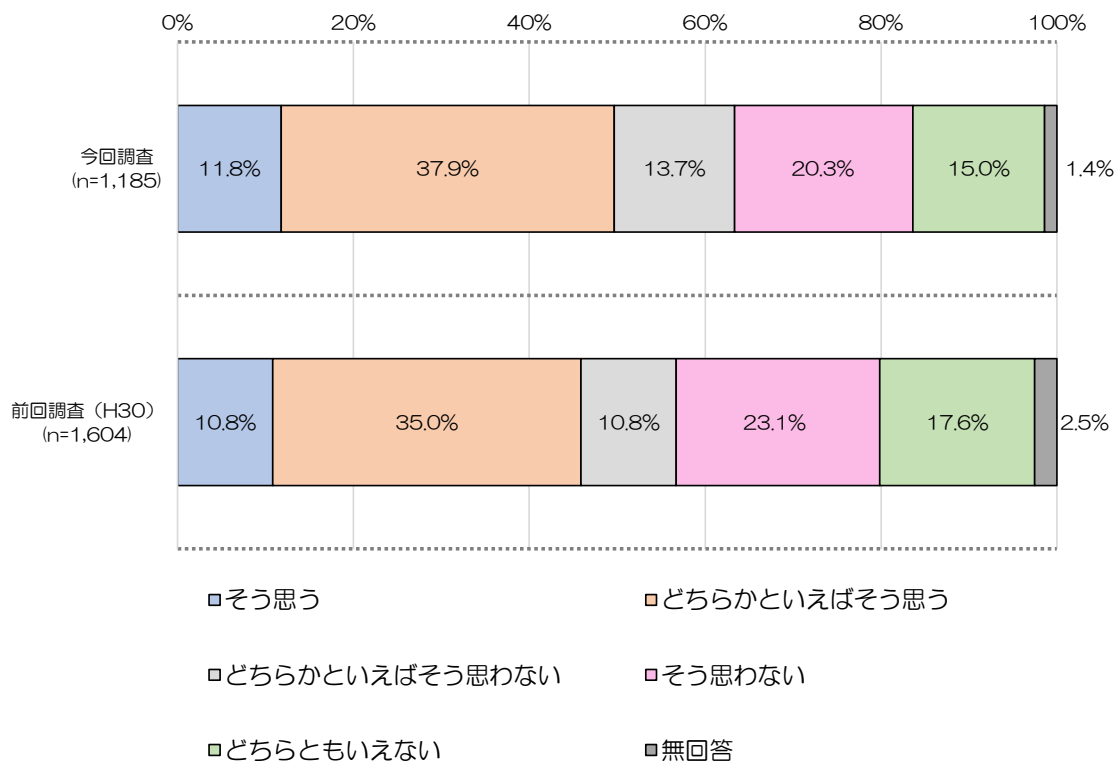
日田市は、安心して医療が受けられる体制が整っているまちだと思うかについては、整っているまちだと思う人※¹が49.7%、整っているまちだと思わない人※²が34.0%となっています。

年代別にみると、「未成年」「70歳以上」では整っているまちだと思う人の割合が6割を超えていますが、それ以外の年代では4～5割程度となっており、特に「40歳代」では、整っているまちだと思わない人の割合が整っているまちだと思う人の割合よりも高くなっています。

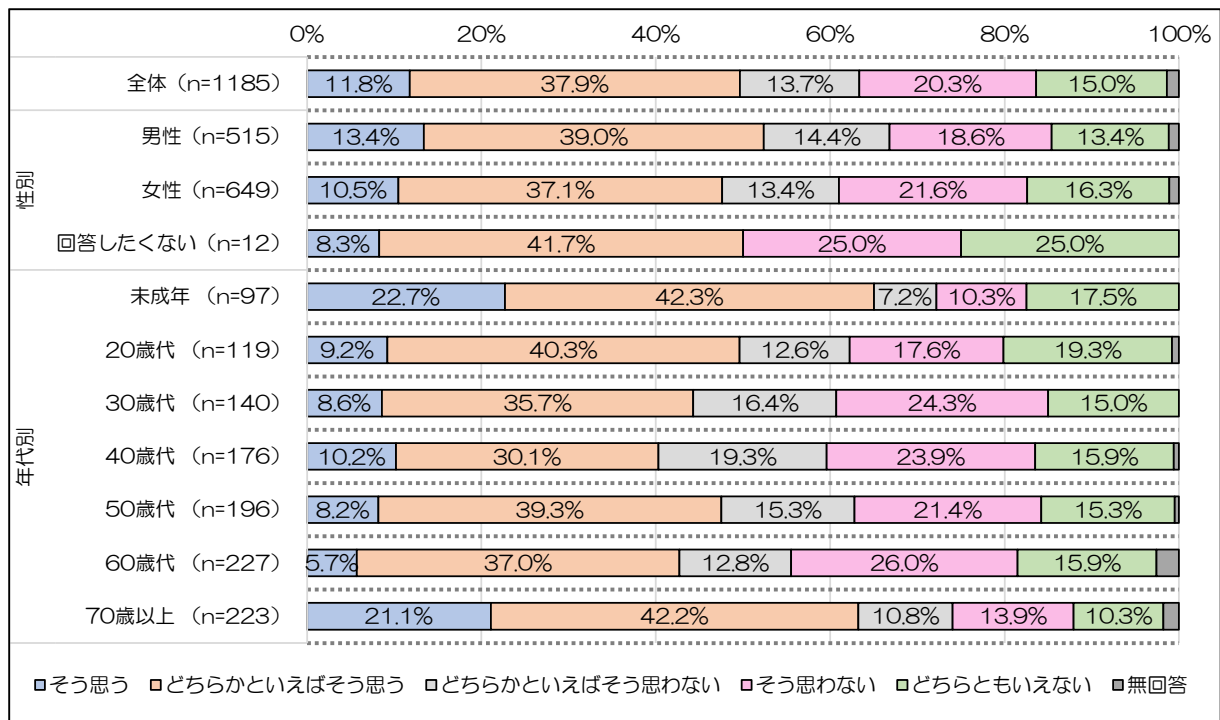
前回調査と比較すると、整っているまちだと思う人の割合が3.9ポイント増加しています。

※¹「そう思う」若しくは「どちらかといえばそう思う」と回答した人

※²「そう思わない」若しくは「どちらかといえばそう思わない」と回答した人



第2章 調査結果「福祉」



【問 18】日田市は、安心して出産し、子育てのしやすいまちだと思いますか。（○は1つだけ）

日田市は、安心して出産し、子育てのしやすいまちだと思うかについては、子育てのしやすいまちだと思う人※1が53.6%、子育てのしやすいまちだと思わない人※2が19.0%となっています。

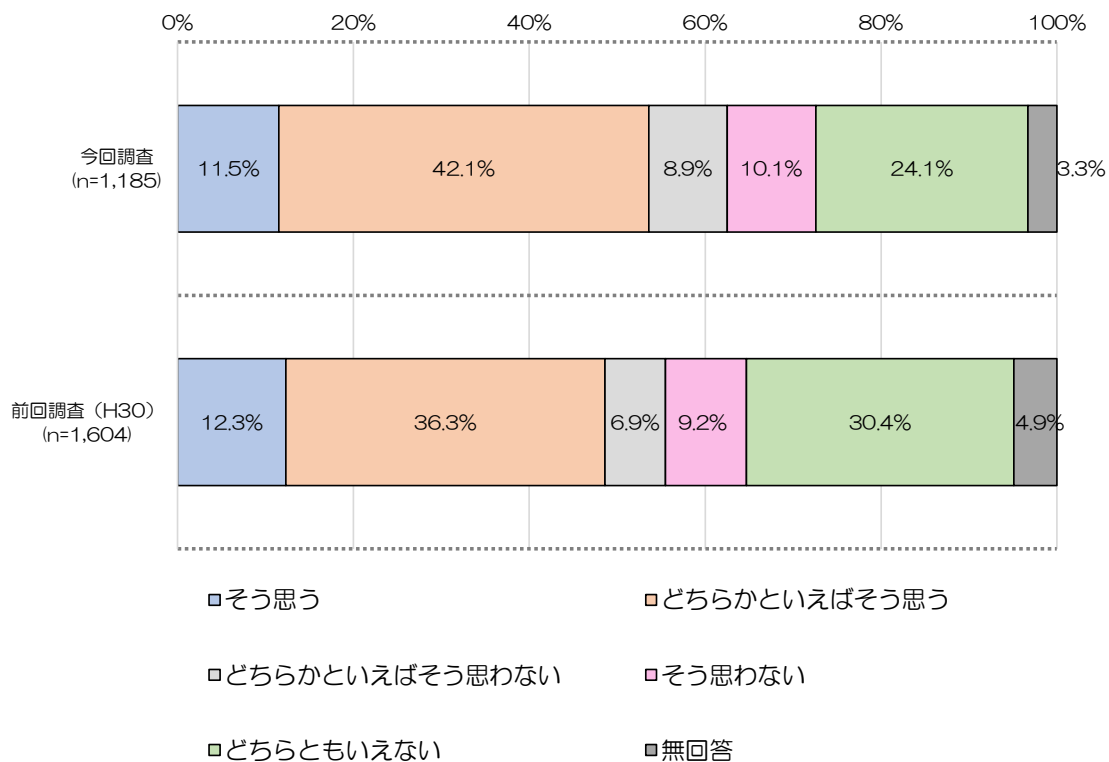
性別にみると、子育てのしやすいまちだと思う人は、「女性」が56.6%で「男性」の50.5%と比較して6.1ポイント高くなっています。

年代別にみると、「20歳代」「60歳代」では子育てのしやすいまちだと思う人の割合が4割台と、他の年代より低くなっています。

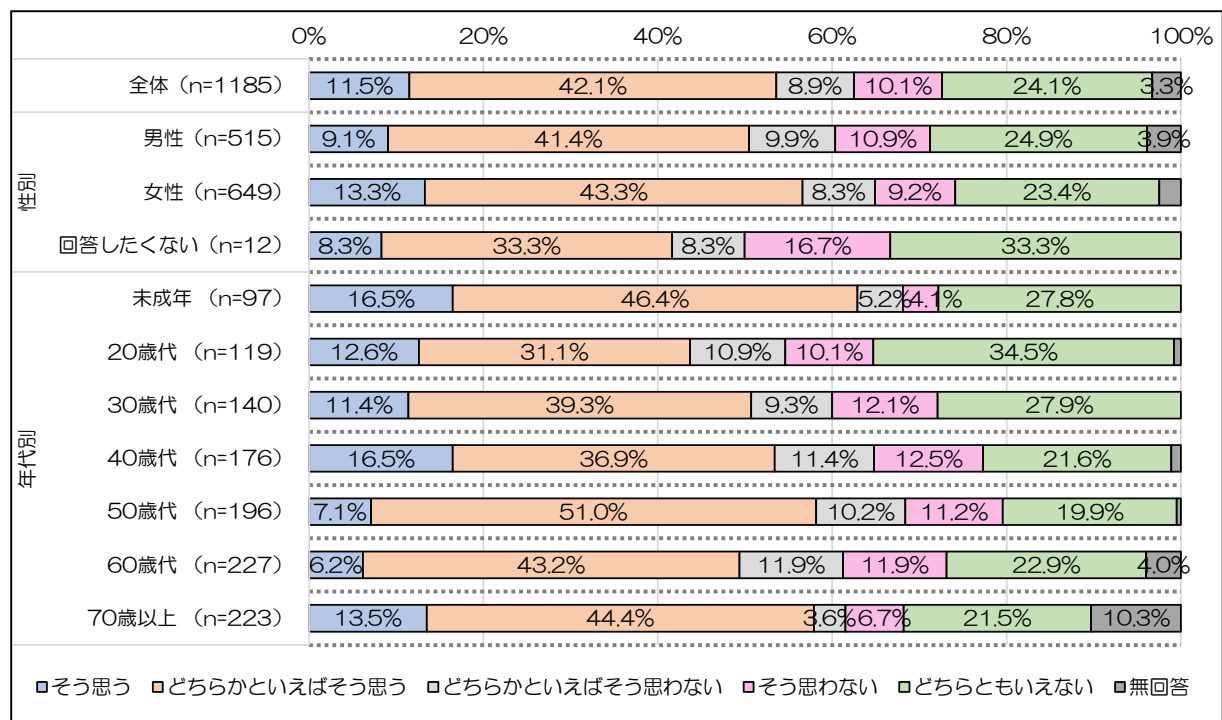
前回調査と比較すると、子育てのしやすいまちだと思う人の割合が5.0ポイント増加しています。

※1「そう思う」若しくは「どちらかといえばそう思う」と回答した人

※2「そう思わない」若しくは「どちらかといえばそう思わない」と回答した人



第2章 調査結果「福祉」



【問 19】日田市は、障がいのある人にとって暮らしやすいまちだと思いますか。

(○は1つだけ)

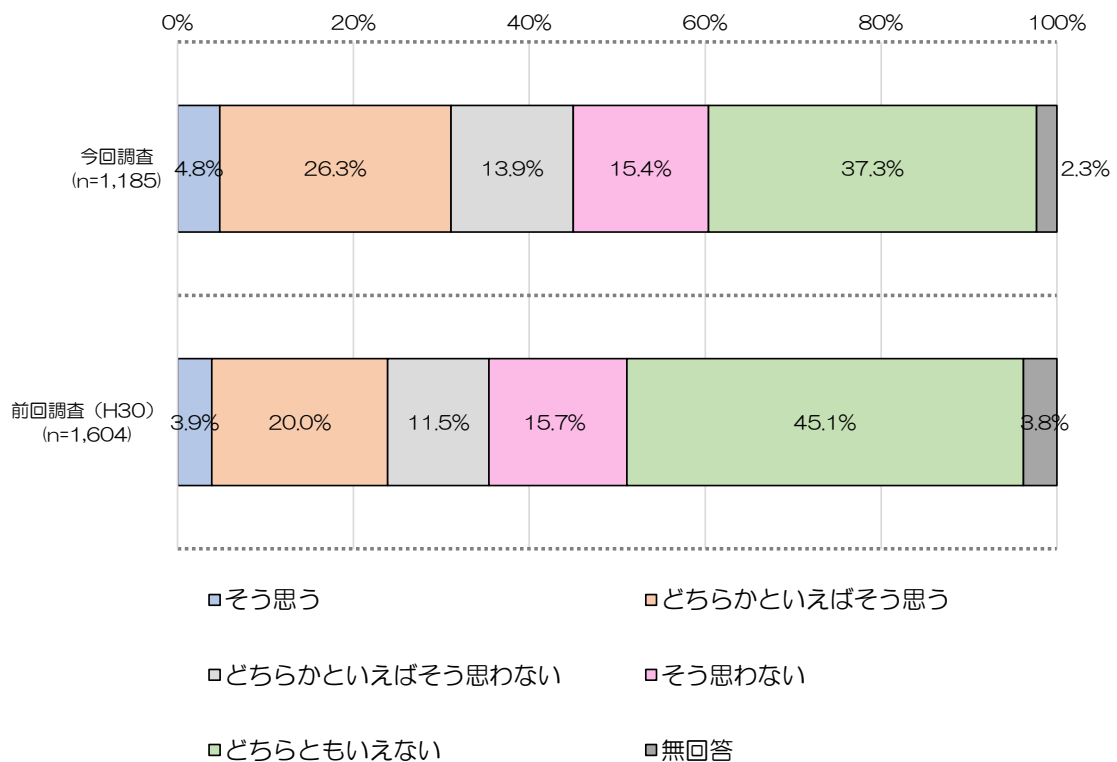
日田市は、障がいのある人にとって暮らしやすいまちだと思うかについては、暮らしやすいまちだと思う人※¹が31.1%、暮らしやすいまちだと思わない人※²が29.3%となっています。

年代別にみると、「30歳代」から「60歳代」では、暮らしやすいまちだと思わない人の割合が高くなっており、「未成年」「20歳代」「70歳以上」では暮らしやすいまちだと思う人の割合が高くなっています。

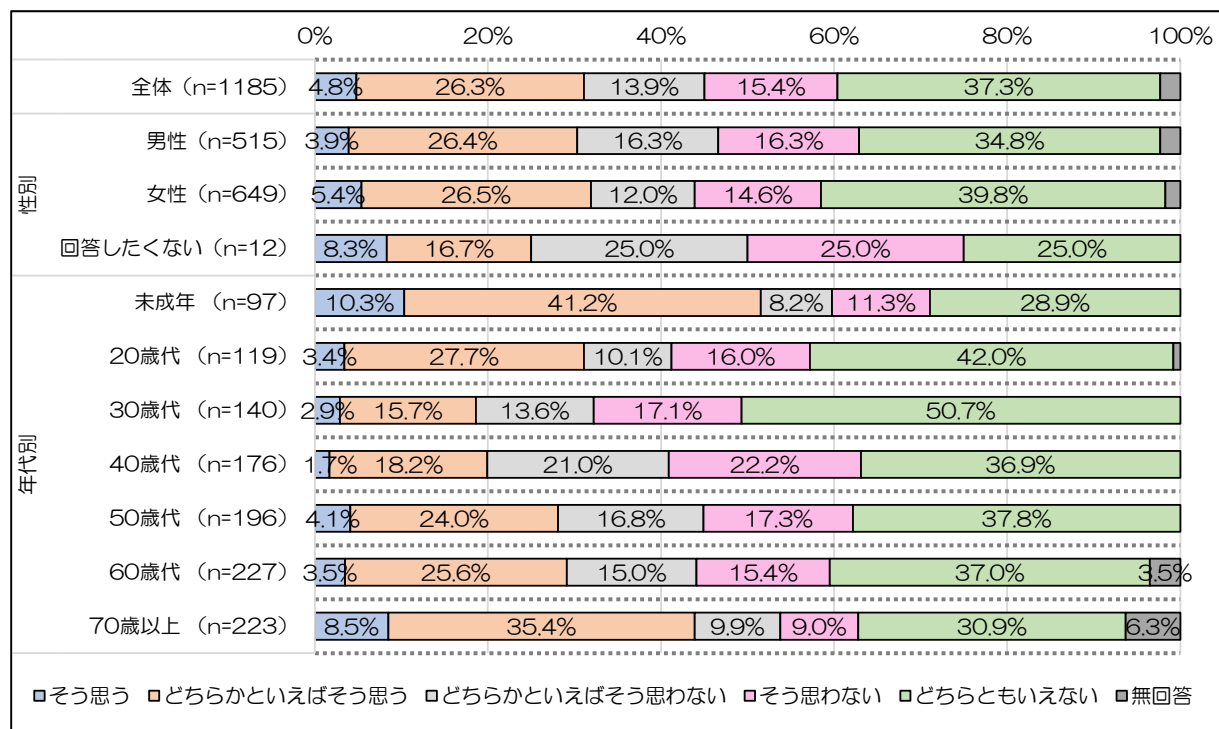
前回調査と比較すると、暮らしやすいまちだと思う人の割合が7.2ポイント増加しています。

※¹「そう思う」若しくは「どちらかといえばそう思う」と回答した人

※²「そう思わない」若しくは「どちらかといえばそう思わない」と回答した人



第2章 調査結果「福祉」



【問 20】日田市は、高齢者が生きがいをもって暮らせるまちだと思いますか。

(○は1つだけ)

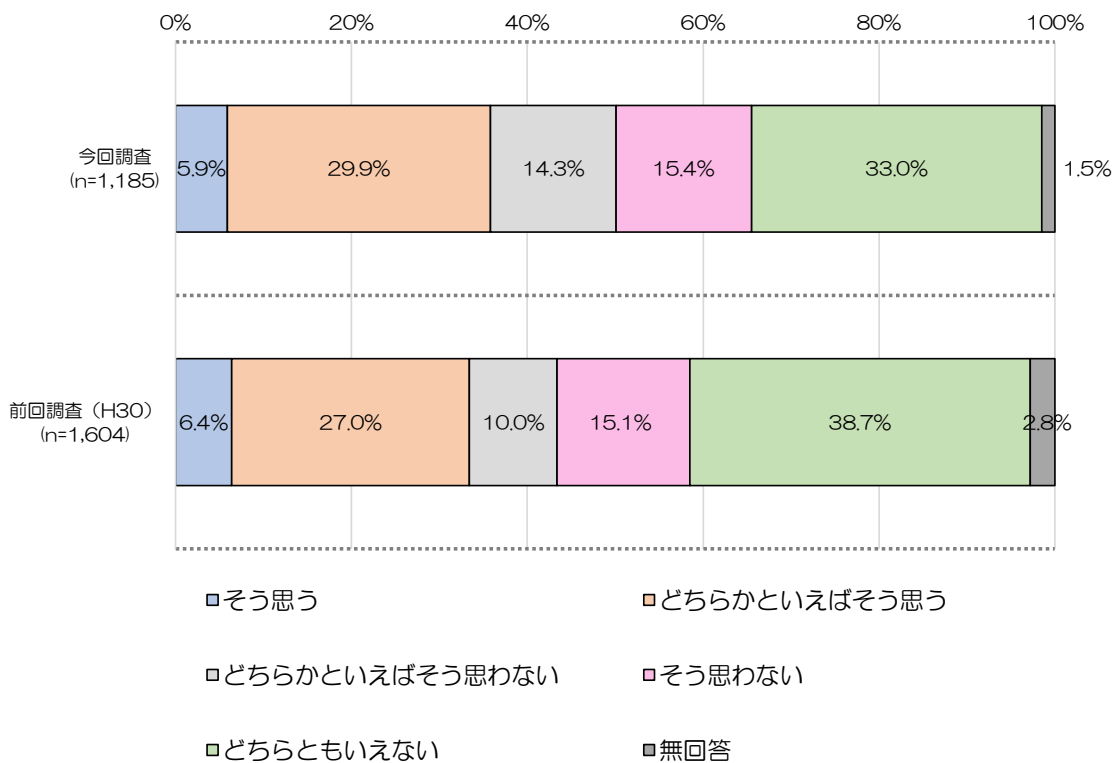
日田市は、高齢者が生きがいをもって暮らせるまちだと思うかについては、生きがいをもって暮らせるまちだと思う人※1が35.8%、生きがいをもって暮らせるまちだと思わない人※2が29.7%となっています。

年代別にみると、「未成年」「20歳代」「70歳以上」で、生きがいをもって暮らせるまちだと思う人の割合が4割を上回っており、他の年代より高くなっています。一方、「50歳代」「60歳代」では、生きがいをもって暮らせるまちだと思わない人が、生きがいをもって暮らせるまちだと思う人を上回っています。

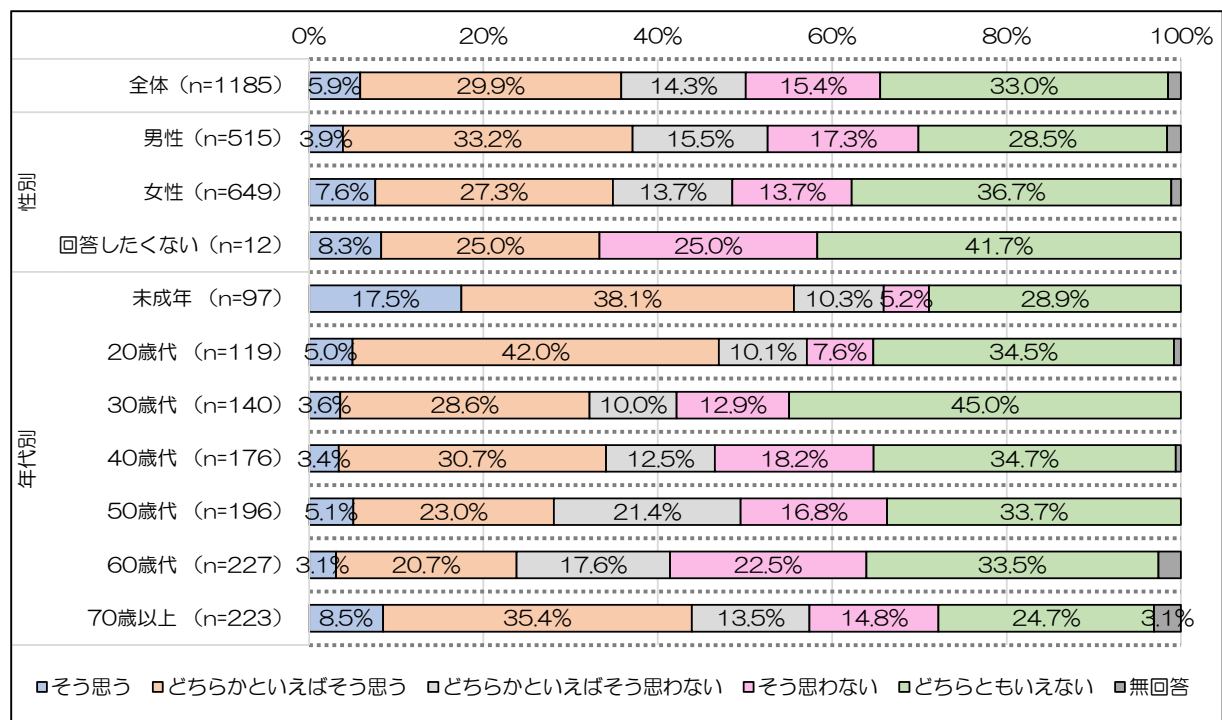
前回調査と比較すると、生きがいをもって暮らせるまちだと思う人の割合が2.4ポイント増加しています。

※1「そう思う」若しくは「どちらかといえばそう思う」と回答した人

※2「そう思わない」若しくは「どちらかといえばそう思わない」と回答した人



第2章 調査結果「福祉」



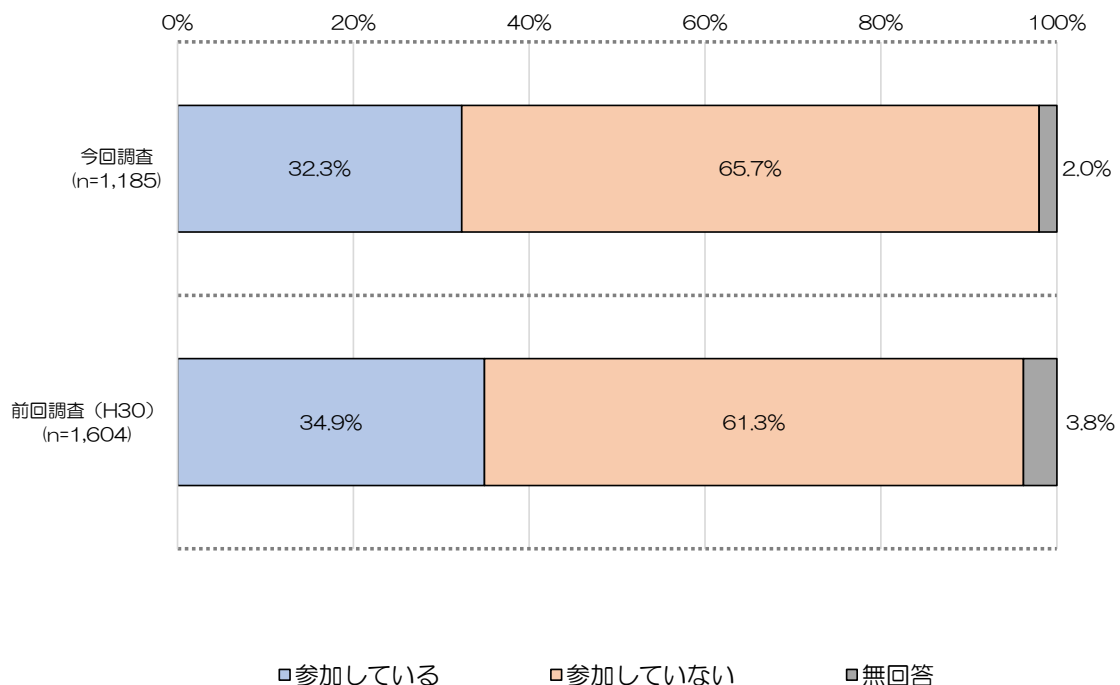
【問 21】あなたは、地域の自主防災組織の取組（防災訓練や防災講座など）に参加していますか。（○は1つだけ）

地域の自主防災組織の取組（防災訓練や防災講座など）に参加しているかについては、「参加している」が32.3%、「参加していない」が65.7%となっています。

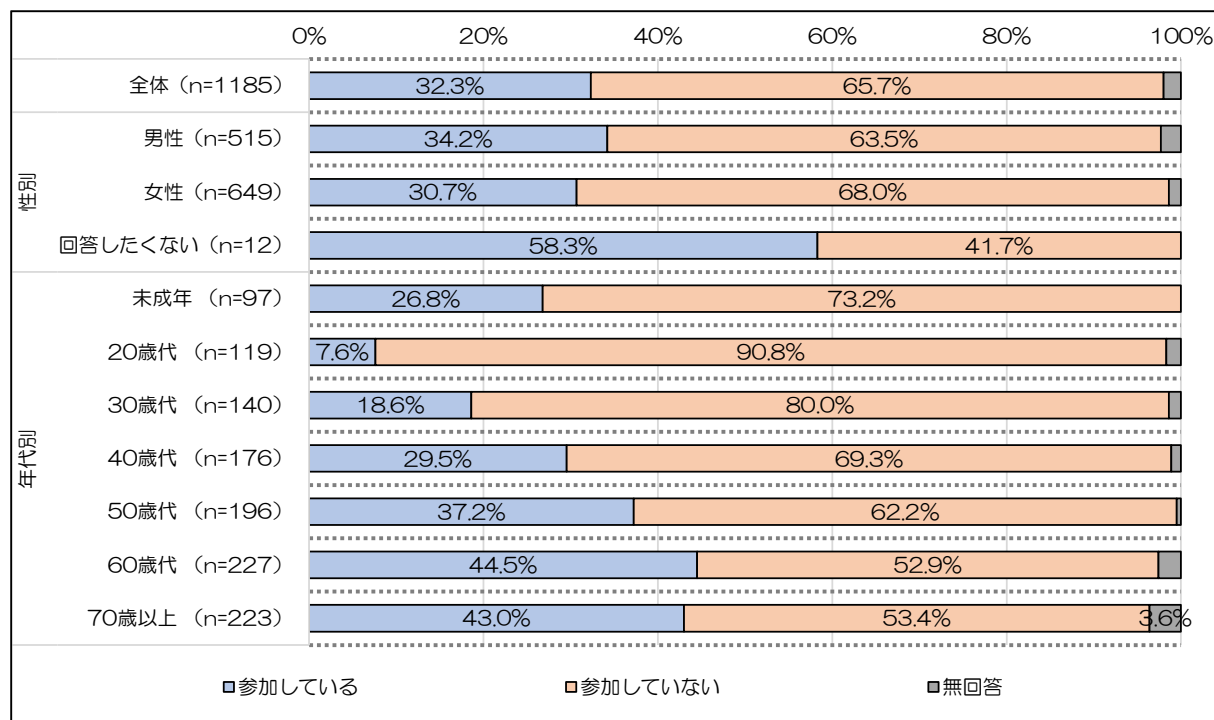
性別にみると、「参加している」と回答した割合は「男性」が34.2%で「女性」の30.7%と比較して3.5ポイント高くなっています。

年代別にみると、「20歳代」「30歳代」で「参加している」と回答した割合が1割台、「未成年」「40歳代」では2割程度と、若い年代の方の参加割合が低くなっています。

前回調査と比較すると、「参加している」割合が2.6ポイント減少し、「参加していない」割合が4.4ポイント増加しています。



第2章 調査結果「福祉」



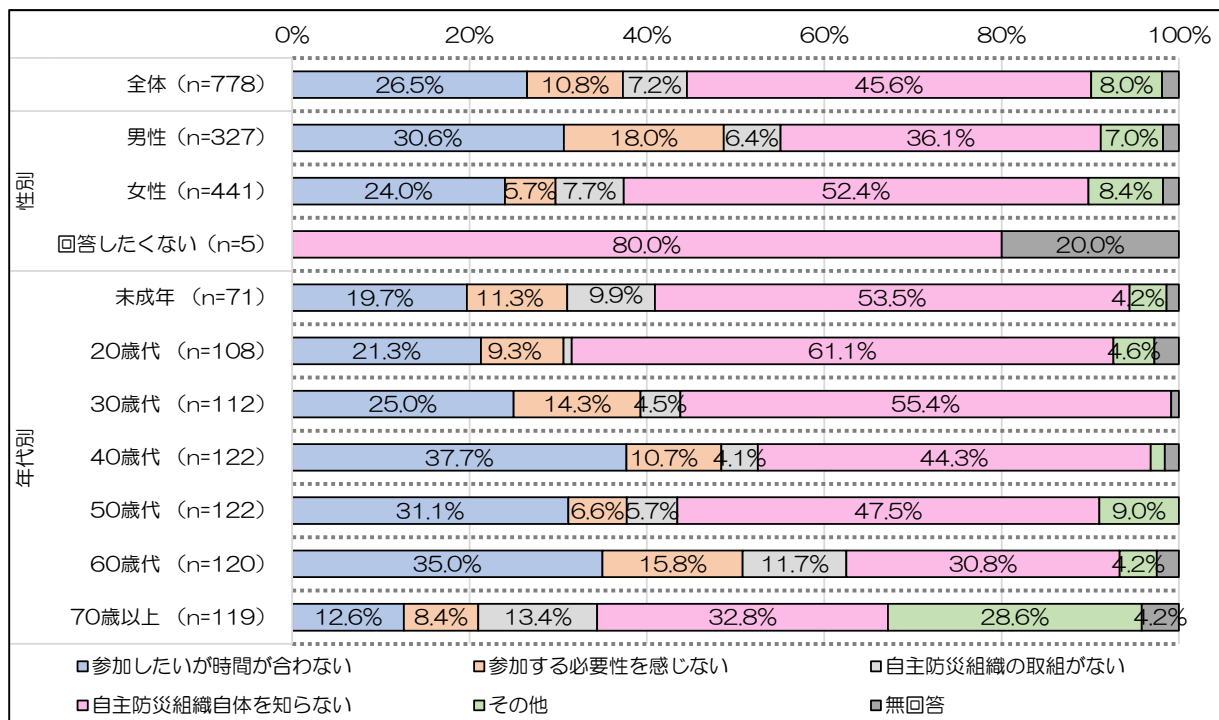
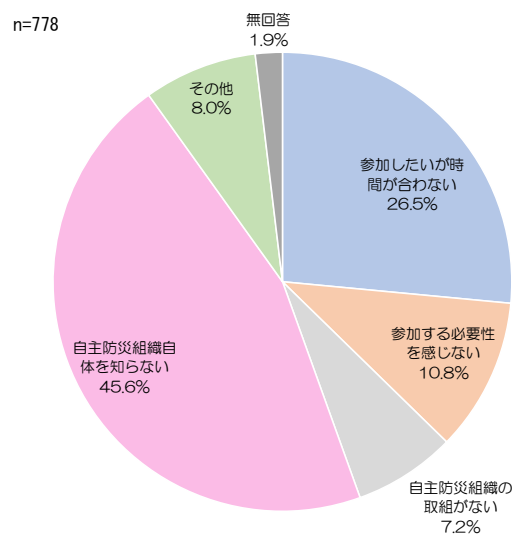
【問 21－1】地域の自主防災組織の取組に参加していない人にお伺いします。

参加していない理由はなんですか。(○は1つだけ)

参加していない理由については、「自主防災組織自体を知らない」が45.6%と最も高く、次いで「参加したいが時間が合わない」が26.5%、「参加する必要性を感じない」が10.8%の順となっています。

性別にみると、「自主防災組織自体を知らない」と回答した割合は「女性」が52.4%で「男性」の36.1%と比較して16.3ポイント高くなっています。

年代別にみると、「60歳代」では「参加したいが時間が合わない」が最も高く、残りすべての年代で「自主防災組織自体を知らない」と回答した割合が最も高くなっています。

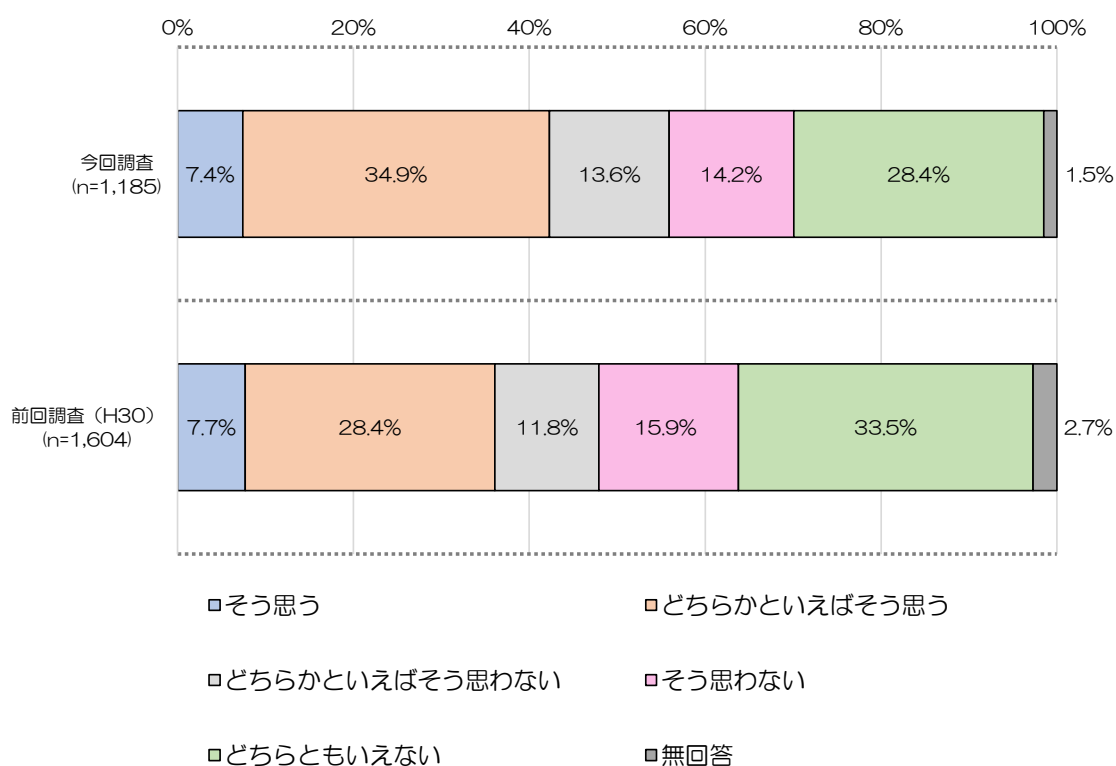


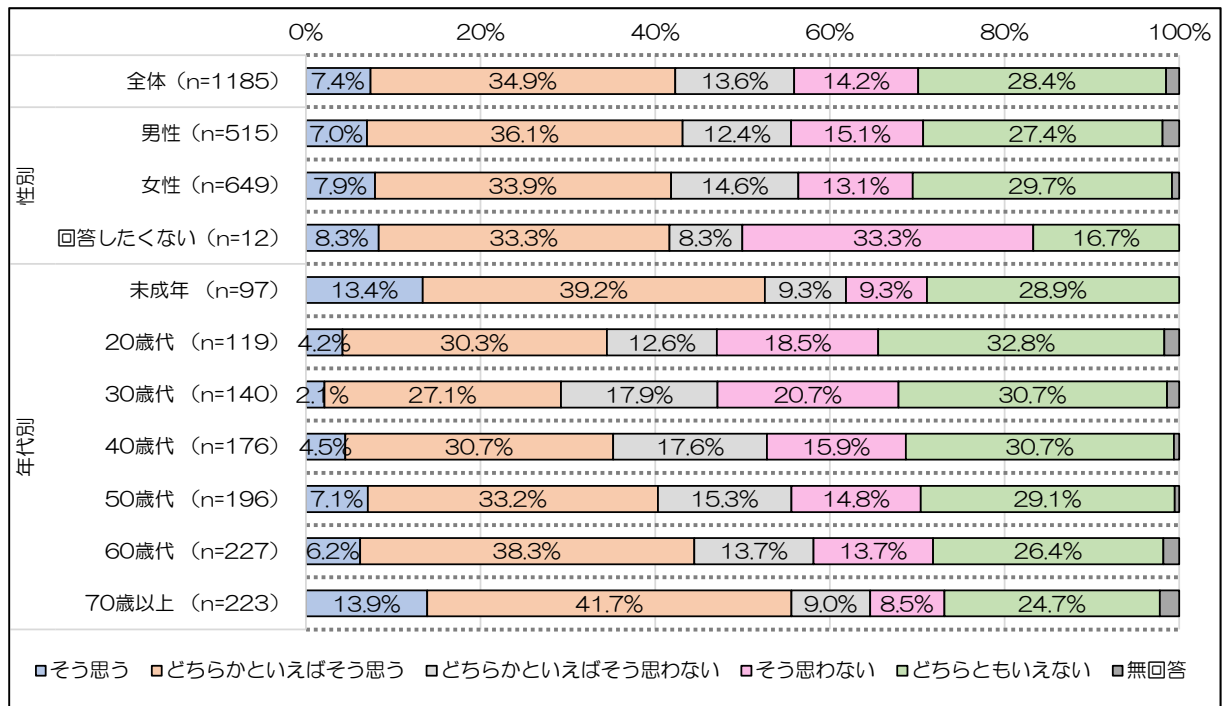
年代別にみると、「未成年」「70歳以上」で、防犯意識が高いまちだと思ふ人の割合が5割を上回った一方、「30歳代」で、防犯意識が高いまちだと思わない人の割合が、防犯意識が高いまちだと思ふ人よりも高くなっています。

前回調査と比較すると、防犯意識が高いまちだと思う人の割合が6.2ポイント増加しています。

※I「そう思う」若しくは「どちらかといえばそう思う」と回答した人

※2「そう思わない」若しくは「どちらかといえばそう思わない」と回答した人



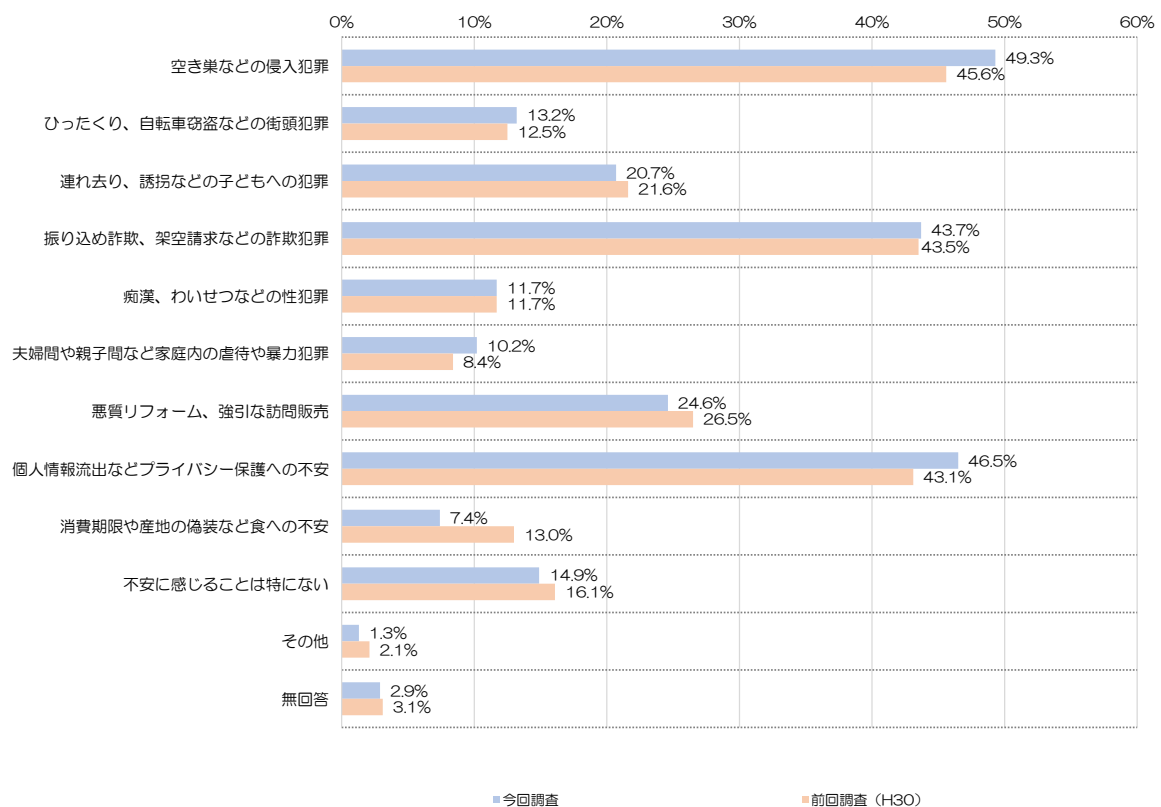


【問 23】あなたは、自分の身の回りの犯罪などに関して、何か不安を感じることはありますか。（○はいいくつでも）

自分の身の回りの犯罪などに関して、何か不安を感じることはあるかについては、「空き巣などの侵入犯罪」が49.3%と最も高く、次いで「個人情報の流出などプライバシー保護への不安」が46.5%、「振り込め詐欺、架空請求などの詐欺犯罪」が43.7%の順となっています。

年代別にみると、「未成年」「20歳代」「30歳代」では「個人情報の流出などプライバシー保護への不安」、「40歳代」「50歳代」では「空き巣などの侵入犯罪」、「60歳代」「70歳以上」では「振り込め詐欺、架空請求などの詐欺犯罪」と回答した割合がそれぞれ最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「空き巣などの侵入犯罪」と「個人情報の流出などプライバシー保護への不安」が3ポイント以上増加している一方、「消費期限や産地の偽装など食への不安」は5ポイント以上減少しています。



第2章 調査結果「福祉」

(上段：人 下段：%)

		標本数 (人)	空き巣などの侵入犯罪	街頭犯罪 ひったくり、自転車窃盗などの	連れ去り、誘拐などの子どもへの犯罪	詐欺犯罪 振り込め詐欺、架空請求などの	痴漢、わいせつなどの性犯罪	夫婦間や親子間など家庭内の虐待や暴力犯罪	売悪質リフォーム、強引な訪問販売	個人情報保護への流出などプライバシー	消費期限や産地の偽装など食への不安	不安に感じることは特にない	その他	無回答
全体 (単純集計)		1,185	584 49.3%	156 13.2%	245 20.7%	518 43.7%	139 11.7%	121 10.2%	291 24.6%	551 46.5%	88 7.4%	176 14.9%	15 1.3%	34 2.9%
性別	男性	515	250 48.5%	60 11.7%	84 16.3%	219 42.5%	46 8.9%	51 9.9%	107 20.8%	216 41.9%	32 6.2%	83 16.1%	6 1.2%	18 3.5%
	女性	649	326 50.2%	95 14.6%	160 24.7%	288 44.4%	91 14.0%	67 10.3%	179 27.6%	326 50.2%	53 8.2%	89 13.7%	8 1.2%	13 2.0%
	回答したくない	12	5 41.7%	1 8.3%	1 8.3%	7 58.3%	2 16.7%	3 25.0%	5 41.7%	7 58.3%	3 25.0%	2 16.7%	1 8.3%	0 0.0%
年代別	未成年	97	30 30.9%	19 19.6%	25 25.8%	25 25.8%	13 13.4%	18 18.6%	10 10.3%	42 43.3%	4 4.1%	22 22.7%	2 2.1%	2 2.1%
	20歳代	119	56 47.1%	26 21.8%	31 26.1%	47 39.5%	22 18.5%	18 15.1%	18 15.1%	63 52.9%	11 9.2%	16 13.4%	0 0.0%	2 1.7%
	30歳代	140	74 52.9%	22 15.7%	56 40.0%	45 32.1%	23 16.4%	23 16.4%	41 29.3%	83 59.3%	9 6.4%	15 10.7%	2 1.4%	0 0.0%
	40歳代	176	113 64.2%	27 15.3%	75 42.6%	88 50.0%	37 21.0%	23 13.1%	62 35.2%	91 51.7%	17 9.7%	12 6.8%	2 1.1%	3 1.7%
	50歳代	196	106 54.1%	23 11.7%	25 12.8%	97 49.5%	23 11.7%	20 10.2%	54 27.6%	100 51.0%	10 5.1%	26 13.3%	1 0.5%	3 1.5%
	60歳代	227	110 48.5%	22 9.7%	22 9.7%	117 51.5%	8 3.5%	11 4.8%	52 22.9%	116 51.1%	19 8.4%	34 15.0%	6 2.6%	5 2.2%
	70歳以上	223	93 41.7%	17 7.6%	11 4.9%	96 43.0%	13 5.8%	8 3.6%	54 24.2%	54 24.2%	18 8.1%	50 22.4%	2 0.9%	16 7.2%

【問 24】あなたは、意識して日田産品（野菜、くだもの、川魚、家具、工芸品など）を購入されていますか。（○は1つだけ）

意識して日田産品（野菜、くだもの、川魚、家具、工芸品など）を購入しているかについては、意識して日田産品を購入している人※1が52.7%、意識して日田産品を購入していない人※2が34.9%となっています。

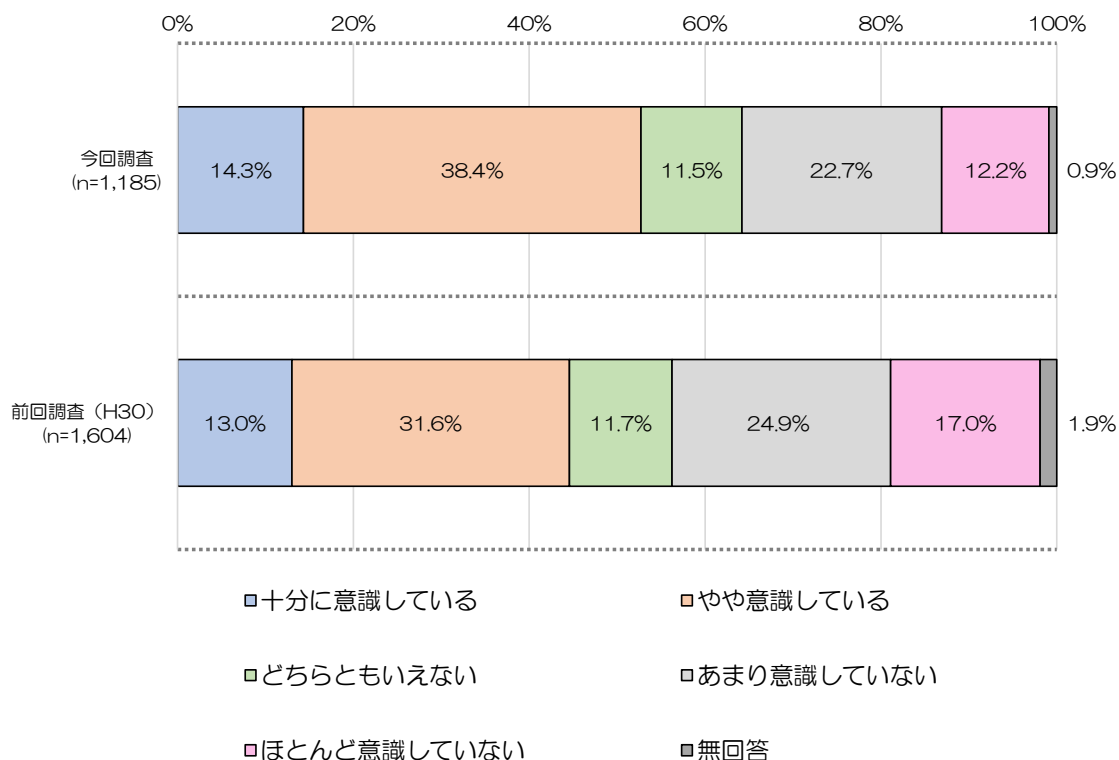
性別にみると、意識して日田産品を購入している人は、「女性」が55.8%で「男性」の48.8%と比較して7.0ポイント高くなっています。

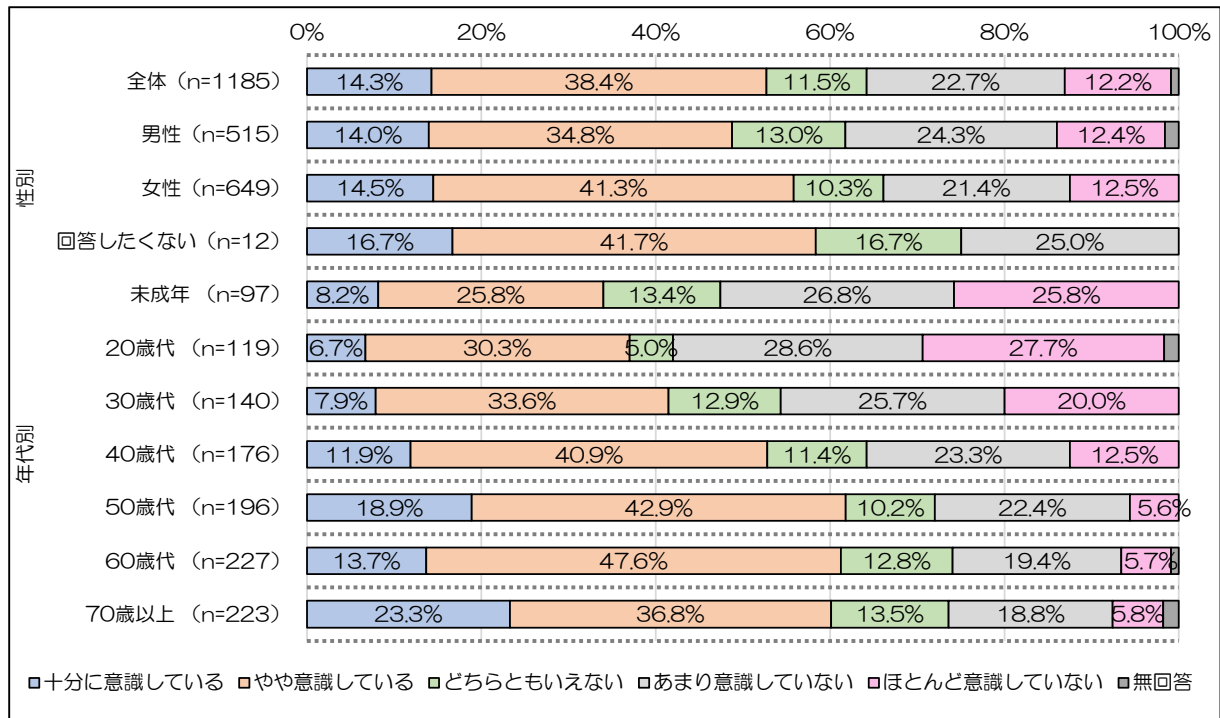
年代別にみると、「未成年」から「30歳代」では、意識して日田産品を購入していない人の割合の方が高くなっています。「40歳代」以上では、意識して日田産品を購入している人の割合の方が高く、「50歳代」以上では6割以上となっています。

前回調査と比較すると、意識して日田産品を購入している人の割合が8.1ポイント増加しています。

※1「十分に意識している」若しくは「やや意識している」と回答した人

※2「ほとんど意識していない」若しくは「あまり意識していない」と回答した人





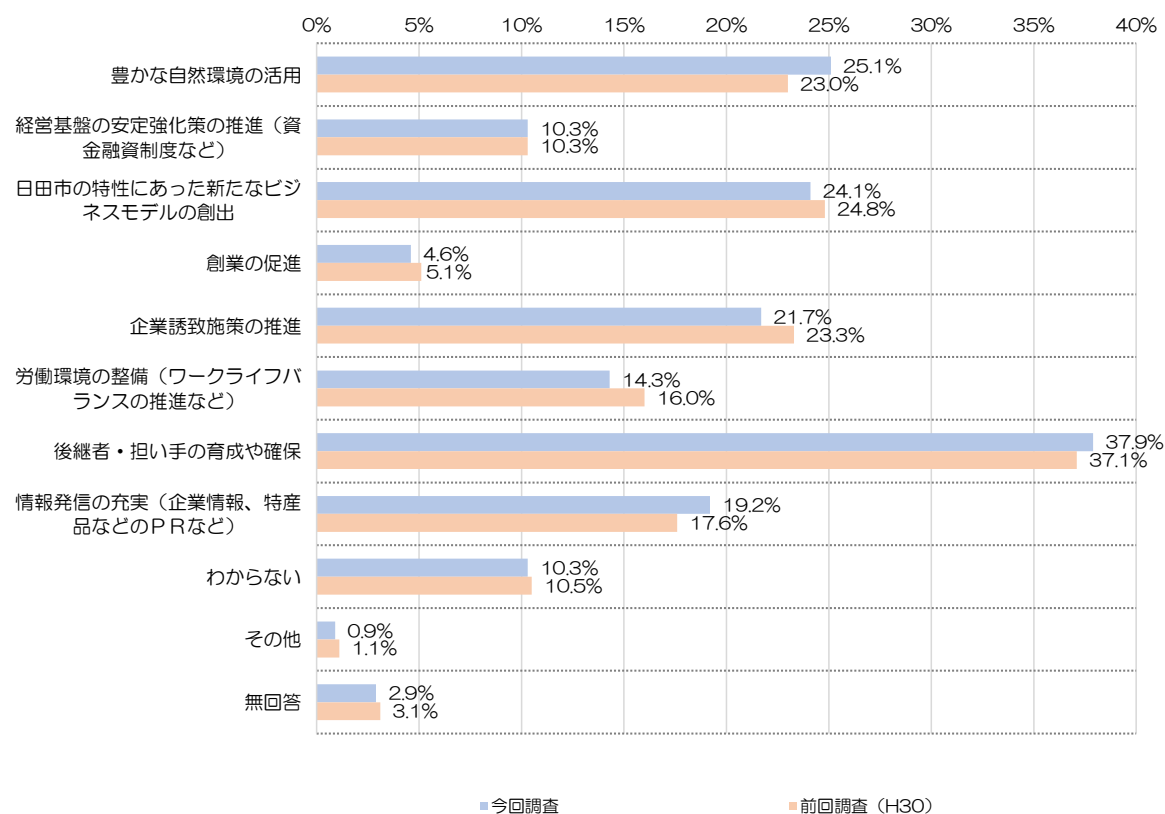
【問 25】日田市の産業振興のために、どのようなことが特に重要だと思いますか。（〇は2つまで）

日田市の産業振興のために、どのようなことが特に重要だと思うかについては、「後継者・担い手の育成や確保」が37.9%と最も高く、次いで「豊かな自然環境の活用」が25.1%、「日田市の特性にあった新たなビジネスモデルの創出」が24.1%、「企業誘致施策の推進」が21.7%の順となっています。

性別にみると、「企業誘致施策の推進」と回答した割合は、「男性」が26.2%で「女性」の18.5%と比較して7.7ポイント高くなっています。

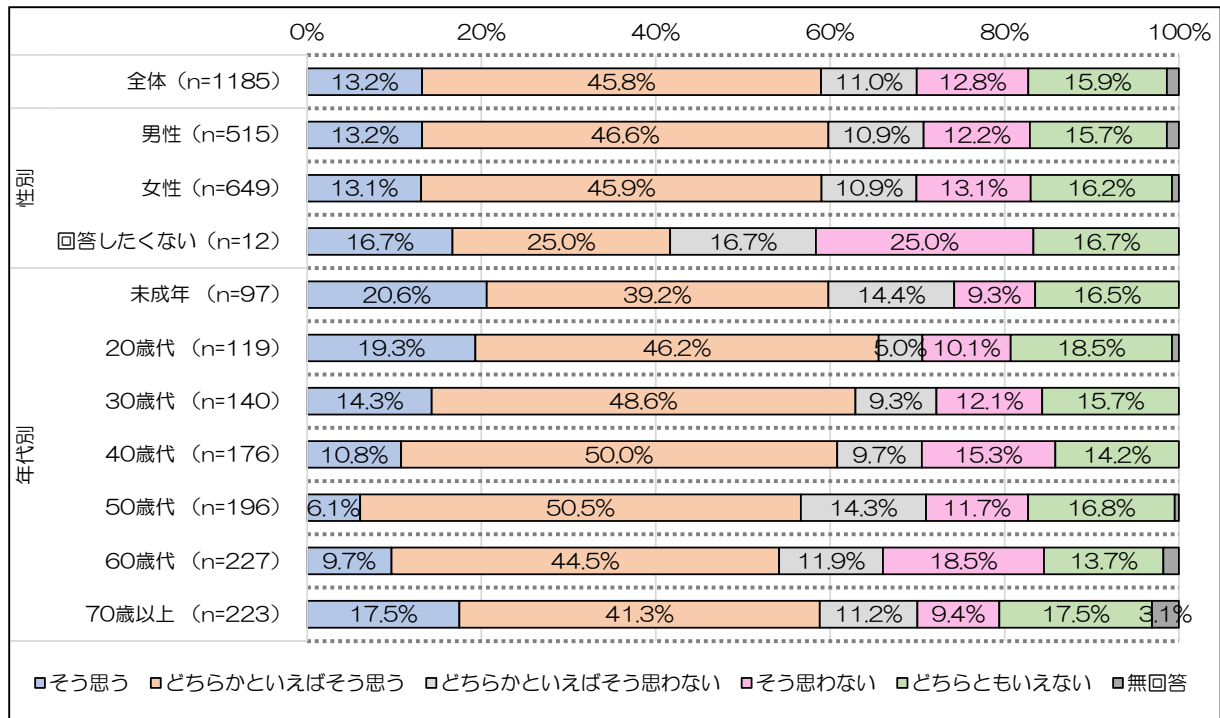
年代別にみると、すべての年代で、「後継者・担い手の育成や確保」と回答した割合が最も高くなっています。また、「50歳代」以上で、「日田市の特性にあった新たなビジネスモデルの創出」と回答した割合が他の年代より高く3割を上回っています。

前回調査と比較すると、「豊かな自然環境の活用」が2ポイント以上増加しています。



(上段：人 下段：%)

		標 本 数 (人)	豊かな自然環境の活用	経営基盤の安定強化策の推進 (資金融資制度など)	日田市の特性にあった新たなビジネスモデルの創出	創業の促進	企業誘致施策の推進	労働環境の整備(ワークライフバランスの推進など)	後継者・担い手の育成や確保	情報発信の充実(企業情報、特産品などのPRなど)	わからない	その他	無回答
全体 (単純集計)		1,185	297 25.1%	122 10.3%	286 24.1%	54 4.6%	257 21.7%	170 14.3%	449 37.9%	227 19.2%	122 10.3%	11 0.9%	34 2.9%
性別	男性	515	129 25.0%	50 9.7%	139 27.0%	32 6.2%	135 26.2%	82 15.9%	193 37.5%	91 17.7%	33 6.4%	8 1.6%	14 2.7%
	女性	649	162 25.0%	70 10.8%	140 21.6%	21 3.2%	120 18.5%	84 12.9%	251 38.7%	136 21.0%	87 13.4%	3 0.5%	16 2.5%
	回答したくない	12	3 25.0%	1 8.3%	5 41.7%	1 8.3%	1 8.3%	4 33.3%	4 33.3%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	1 8.3%
年代別	未成年	97	25 25.8%	9 9.3%	20 20.6%	5 5.2%	9 9.3%	13 13.4%	33 34.0%	18 18.6%	21 21.6%	0 0.0%	1 1.0%
	20歳代	119	29 24.4%	12 10.1%	28 23.5%	6 5.0%	14 11.8%	27 22.7%	38 31.9%	23 19.3%	15 12.6%	3 2.5%	3 2.5%
	30歳代	140	33 23.6%	15 10.7%	30 21.4%	6 4.3%	30 21.4%	26 18.6%	53 37.9%	32 22.9%	12 8.6%	1 0.7%	5 3.6%
	40歳代	176	35 19.9%	23 13.1%	41 23.3%	7 4.0%	47 26.7%	30 17.0%	66 37.5%	31 17.6%	18 10.2%	3 1.7%	3 1.7%
	50歳代	196	56 28.6%	19 9.7%	64 32.7%	10 5.1%	42 21.4%	30 15.3%	84 42.9%	45 23.0%	9 4.6%	1 0.5%	0 0.0%
	60歳代	227	55 24.2%	26 11.5%	56 24.7%	9 4.0%	60 26.4%	29 12.8%	88 38.8%	45 19.8%	17 7.5%	3 1.3%	8 3.5%
	70歳以上	223	62 27.8%	17 7.6%	46 20.6%	11 4.9%	54 24.2%	15 6.7%	86 38.6%	33 14.8%	30 13.5%	0 0.0%	11 4.9%

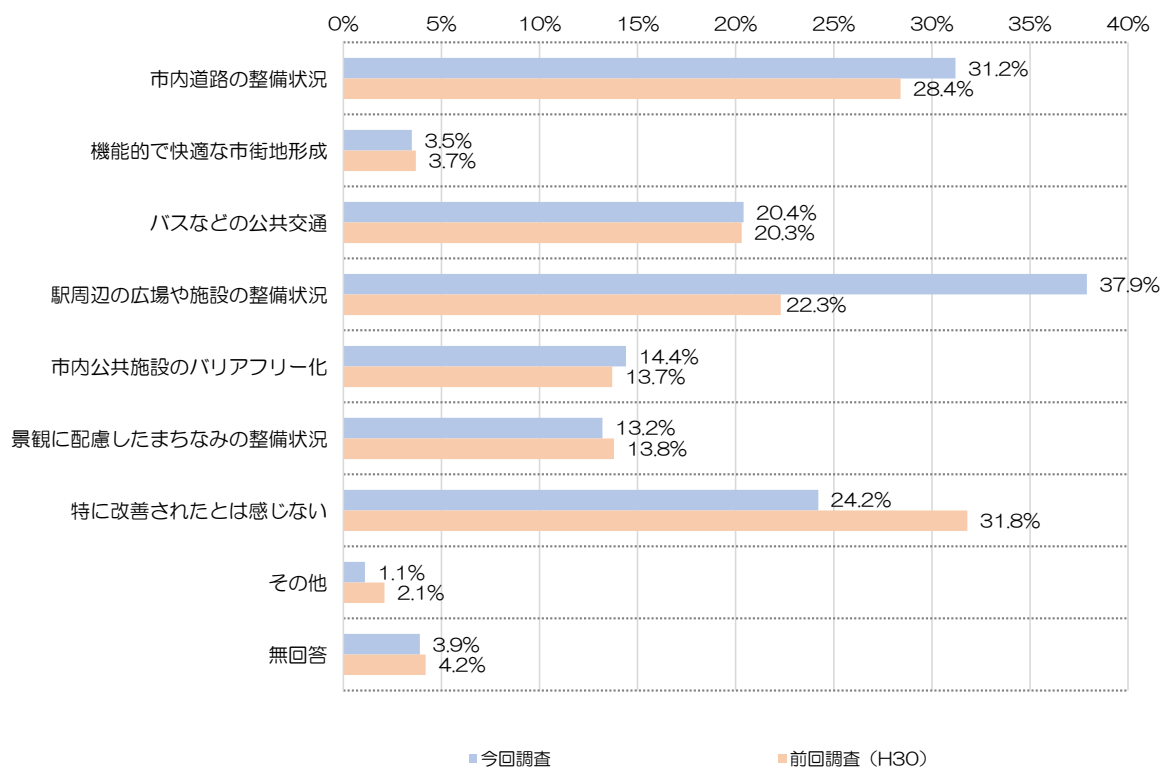


【問 27】あなたが日田市内における生活基盤について、以前と比べて改善されていると感じているものはどれですか。（○はいくつでも）

日田市内における生活基盤で、以前と比べて改善されていると感じているものについては、「駅周辺の広場や施設の整備状況」が37.9%と最も高く、次いで「市内道路の整備状況」が31.2%、「特に改善されたとは感じない」が24.2%、「バスなどの公共交通」が20.4%の順となっています。

年代別にみると、すべての年代で「駅周辺の広場や施設の整備状況」と回答した割合が最も高くなっています。「特に改善されたとは感じない」は、「30歳代」で他の年代よりも高く、3割を上回っています。

前回調査と比較すると、「駅周辺の広場や施設の整備状況」が15ポイント以上増加し、「特に改善されたとは感じない」は7ポイント以上減少しています。



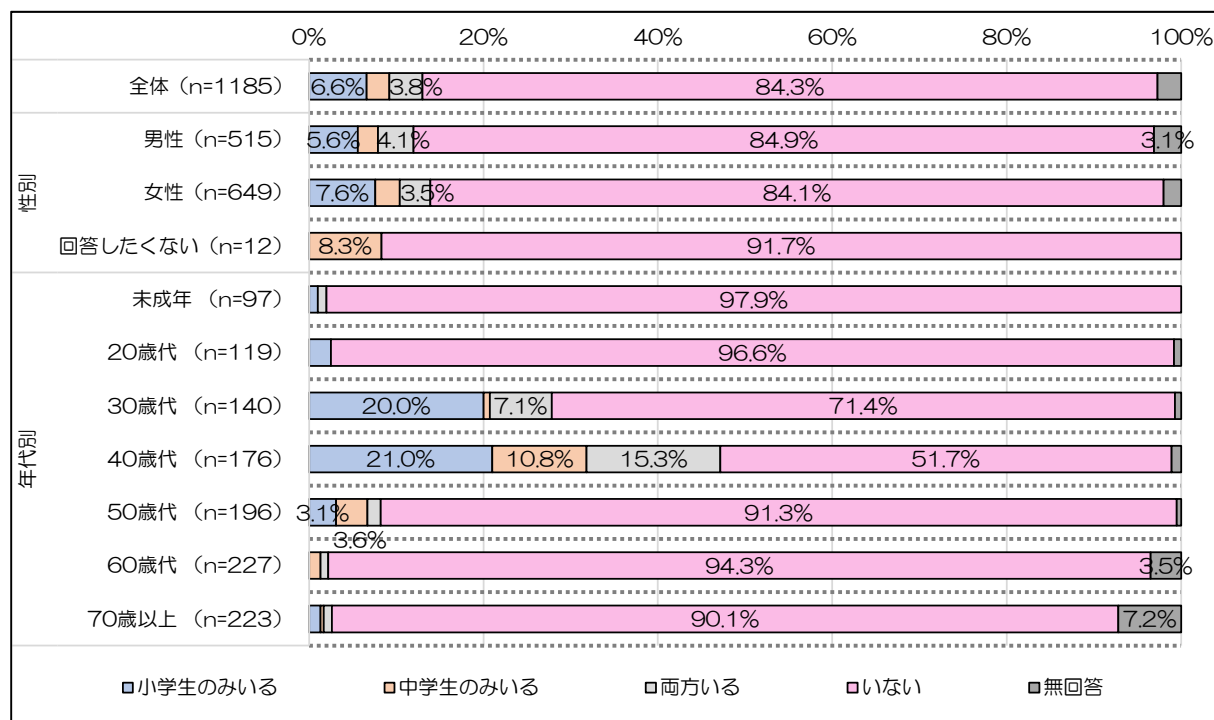
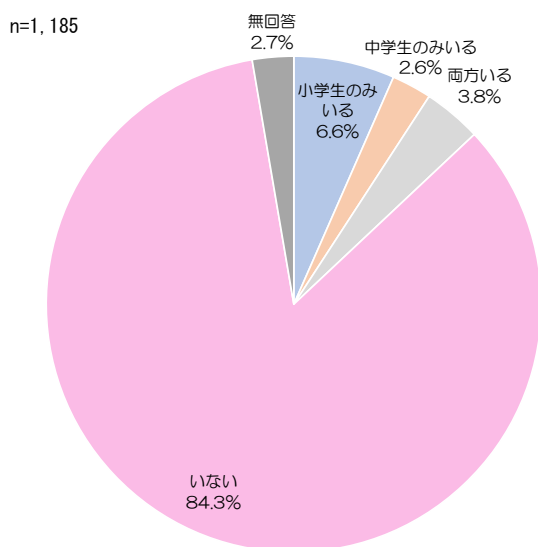
(上段：人 下段：%)

		標本数 (人)	市内道路の整備状況	機能的で快適な市街地形成	バスなどの公共交通	駅周辺の広場や施設の整備状況	市内公共施設のバリアフリー化	景観に配慮したまちなみの整備状況	特に改善されたとは感じない	その他	無回答
全体 (単純集計)		1,185	370 31.2%	41 3.5%	242 20.4%	449 37.9%	171 14.4%	157 13.2%	287 24.2%	13 1.1%	46 3.9%
性別	男性	515	171 33.2%	19 3.7%	107 20.8%	186 36.1%	68 13.2%	65 12.6%	140 27.2%	3 0.6%	16 3.1%
	女性	649	193 29.7%	22 3.4%	131 20.2%	255 39.3%	103 15.9%	89 13.7%	141 21.7%	10 1.5%	27 4.2%
	回答したくない	12	3 25.0%	0 0.0%	2 16.7%	5 41.7%	0 0.0%	2 16.7%	4 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
年代別	未成年	97	31 32.0%	5 5.2%	25 25.8%	38 39.2%	14 14.4%	9 9.3%	26 26.8%	1 1.0%	0 0.0%
	20歳代	119	29 24.4%	6 5.0%	31 26.1%	48 40.3%	6 5.0%	11 9.2%	30 25.2%	0 0.0%	6 5.0%
	30歳代	140	39 27.9%	4 2.9%	22 15.7%	52 37.1%	15 10.7%	16 11.4%	43 30.7%	3 2.1%	2 1.4%
	40歳代	176	50 28.4%	5 2.8%	34 19.3%	54 30.7%	31 17.6%	28 15.9%	49 27.8%	0 0.0%	5 2.8%
	50歳代	196	53 27.0%	5 2.6%	33 16.8%	76 38.8%	39 19.9%	29 14.8%	37 18.9%	5 2.6%	0 0.0%
	60歳代	227	77 33.9%	5 2.2%	39 17.2%	88 38.8%	33 14.5%	31 13.7%	60 26.4%	1 0.4%	11 4.8%
	70歳以上	223	89 39.9%	11 4.9%	57 25.6%	90 40.4%	33 14.8%	32 14.3%	41 18.4%	3 1.3%	19 8.5%

【問 28】 あなたには、小学生もしくは中学生の子どもがいますか。（○は1つだけ）

※次の問 28-1 で小・中学生の子どもがいる方を対象とした質問を行うための設問

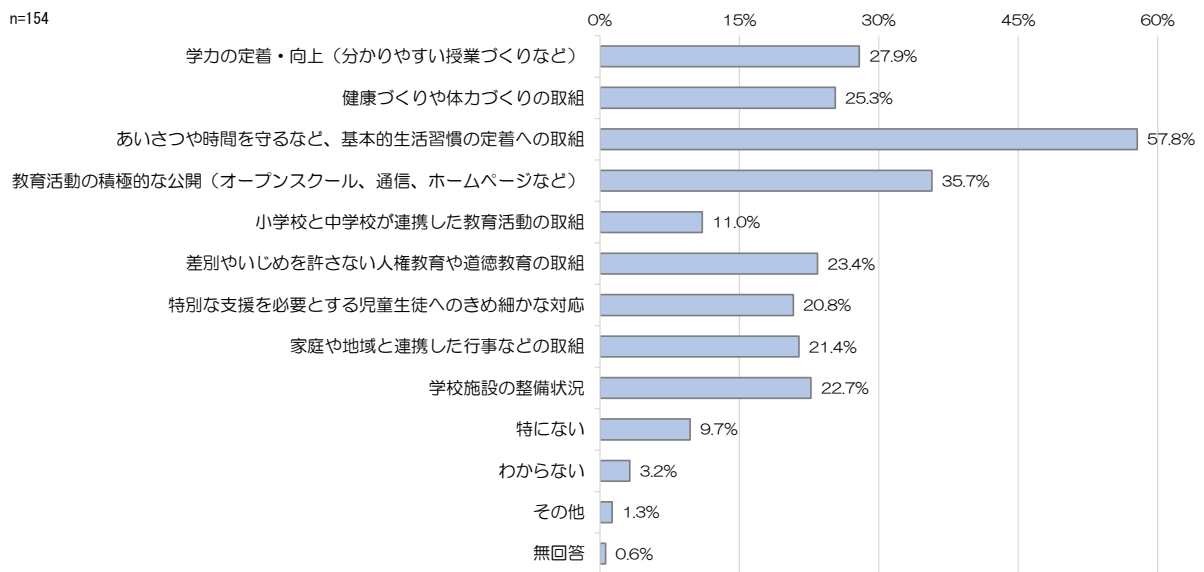
小学生もしくは中学生の子どもがいるかについては、「小学生のみいる」が6.6%、「中学生のみいる」が2.6%、「両方いる」が3.8%、「いない」が84.3%となっています。



【問 28－1】小学生もしくは中学生の子どもがいる方にお伺いします。日田市内の小・中学校で、どのような点が特に評価できると思いますか。（○はいくつでも）

日田市内の小・中学校で、特に評価できる点については、「あいさつや時間を守るなど、基本的生活習慣の定着への取組」が57.8%と最も高く、次いで「教育活動の積極的な公開（オープンスクール、通信、ホームページなど）」が35.7%、「学力の定着・向上（分かりやすい授業づくりなど）」が27.9%の順となっています。

性別にみると、「女性」で、「学力の定着・向上（分かりやすい授業づくりなど）」「教育活動の積極的な公開（オープンスクール、通信、ホームページなど）」「差別やいじめを許さない人権教育や道徳教育の取組」と回答した割合が「男性」に比べ10ポイント以上高くなっています。



（上段：人 下段：％）

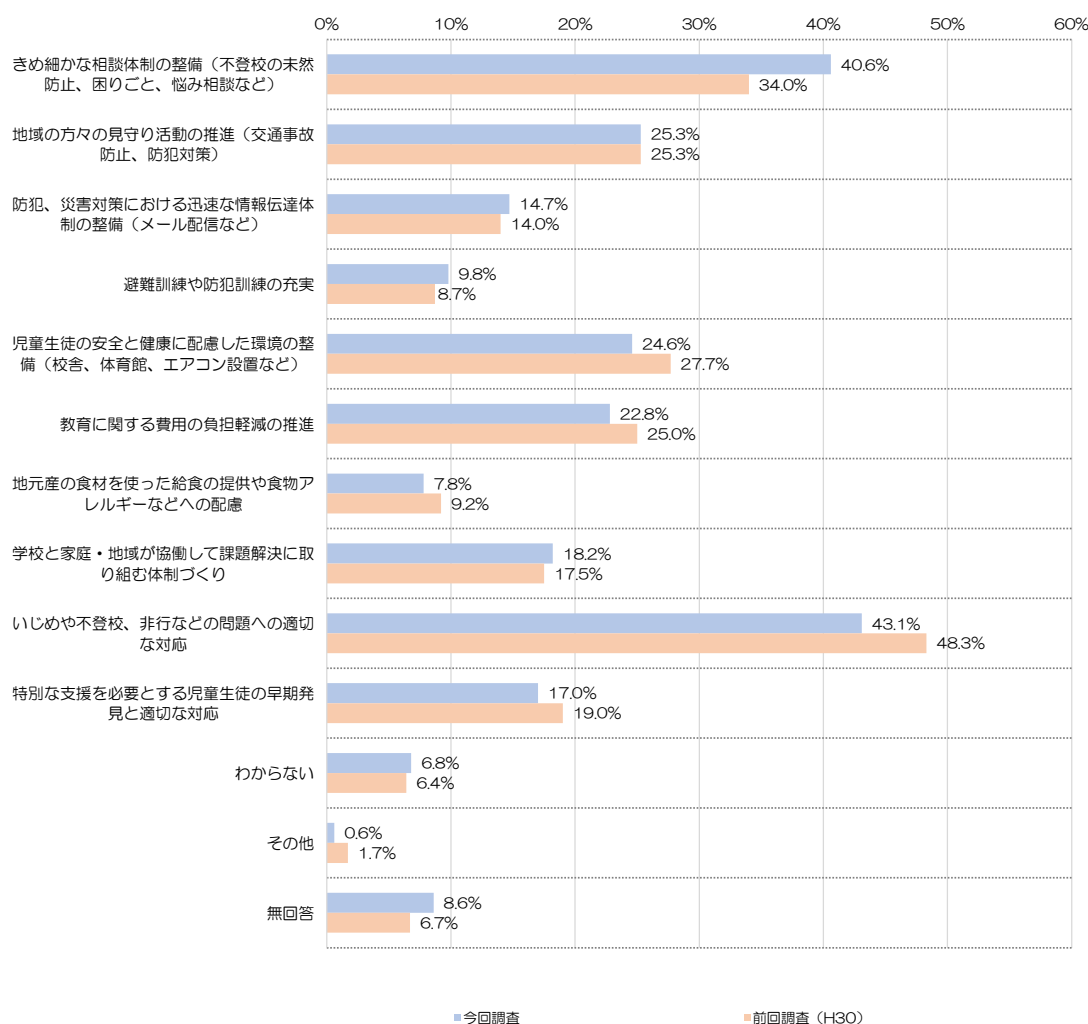
	標本数（人）	学力の定着・向上（分かりやすい授業づくりなど）	健康づくりや体力づくりの取組	あいさつや時間を守るなど、基本的生活習慣の定着への取組	教育活動の積極的な公開（オープンスクール、通信、ホームページなど）	小学校と中学校が連携した教育活動の取組	差別やいじめを許さない人権教育や道徳教育の取組	特別な支援を必要とする児童生徒へのきめ細かな対応	家庭や地域と連携した行事などの取組	学校施設の整備状況	特にない	わからない	その他	無回答
全体（単純集計）	154	43 27.9%	39 25.3%	89 57.8%	55 35.7%	17 11.0%	36 23.4%	32 20.8%	33 21.4%	35 22.7%	15 9.7%	5 3.2%	2 1.3%	1 0.6%
性別	男性	12 19.4%	8 12.9%	34 54.8%	15 24.2%	7 11.3%	9 14.5%	11 17.7%	14 22.6%	10 16.1%	5 8.1%	4 6.5%	1 1.6%	0 0.0%
	女性	31 34.4%	31 34.4%	54 60.0%	40 44.4%	9 10.0%	27 30.0%	20 22.2%	19 21.1%	24 26.7%	9 10.0%	1 1.1%	1 1.1%	1 1.1%
	回答したくない	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年代別	未成年	1 50.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳代	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30歳代	7 17.9%	8 20.5%	26 66.7%	11 28.2%	1 2.6%	6 15.4%	3 7.7%	8 20.5%	9 23.1%	2 5.1%	1 2.6%	1 2.6%	1 2.6%
	40歳代	25 30.1%	20 24.1%	48 57.8%	33 39.8%	10 12.0%	21 25.3%	22 26.5%	15 18.1%	17 20.5%	9 10.8%	3 3.6%	1 1.2%	0 0.0%
	50歳代	4 25.0%	3 18.8%	9 56.3%	5 31.3%	1 6.3%	3 18.8%	5 31.3%	6 37.5%	2 12.5%	3 18.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	60歳代	2 40.0%	2 40.0%	3 60.0%	2 40.0%	2 40.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	70歳以上	3 50.0%	3 50.0%	2 33.3%	1 16.7%	3 50.0%	2 33.3%	0 0.0%	2 33.3%	3 50.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%

【問 29】小・中学校の安全・安心に学べる環境づくりにおいて、どのようなことに力を注いでいく必要があると思いますか。（○は3つまで）

小・中学校の安全・安心に学べる環境づくりで、どのようなことに力を注いでいく必要があると思うかについては、「いじめや不登校、非行などの問題への適切な対応」が43.1%と最も高く、次いで「きめ細かな相談体制の整備（不登校の未然防止、困りごと、悩み相談など）」が40.6%、「地域の方々の見守り活動の推進（交通事故防止、防犯対策）」が25.3%の順となっています。

年代別にみると、「未成年」から「40歳代」では、「いじめや不登校、非行などの問題への適切な対応」と回答した割合が最も高く、「50歳代」「60歳代」では、「きめ細かな相談体制の整備（不登校の未然防止、困りごと、悩み相談など）」、「70歳以上」では、「地域の方々の見守り活動の推進（交通事故防止、防犯対策）」と回答した割合が最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「きめ細かな相談体制の整備（不登校の未然防止、困りごと、悩み相談など）」が5ポイント以上増加し、「いじめや不登校、非行などの問題への適切な対応」は5ポイント以上減少しています。



第2章 調査結果「教育・文化」

(上段：人 下段：%)

		標本数 (人)	登校の未然防止、困りごと、悩 み相談など)	きめ細かな相談体制の整備 (交通安全事故防止、防犯対策)	地域の方々の見守り活動の推進	情報伝達体制の整備(メール配 信など)	防犯、災害対策における迅速な 情報伝達	避難訓練や防犯訓練の充実	児童生徒の安全と健康に配慮し た環境の整備(校舎、体育館、 エアカン設置など)	教育に関する費用の負担軽減の 推進	地元産の食材を使った給食の配 慮	学校と家庭・地域が協働して課 題解決に取り組む体制づくり	いじめや不登校、非行などの問 題への適切な対応	特別な支援を必要とする児童生 徒の早期発見と適切な対応	わからない	その他	無回 答
全体 (単純集計)		1,185	481 40.6%	300 25.3%	174 14.7%	116 9.8%	291 24.6%	270 22.8%	92 7.8%	216 18.2%	511 43.1%	202 17.0%	81 6.8%	7 0.6%	102 8.6%		
性別	男性	515	185 35.9%	127 24.7%	75 14.6%	59 11.5%	122 23.7%	125 24.3%	33 6.4%	101 19.6%	226 43.9%	79 15.3%	35 6.8%	7 1.4%	42 8.2%		
	女性	649	286 44.1%	171 26.3%	95 14.6%	56 8.6%	164 25.3%	140 21.6%	57 8.8%	112 17.3%	278 42.8%	119 18.3%	45 6.9%	0 0.0%	55 8.5%		
	回答したくない	12	7 58.3%	1 8.3%	3 25.0%	1 8.3%	5 41.7%	3 25.0%	1 8.3%	3 25.0%	3 25.0%	4 33.3%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%		
年代別	未成年	97	45 46.4%	17 17.5%	10 10.3%	16 16.5%	34 35.1%	28 28.9%	9 9.3%	14 14.4%	51 52.6%	11 11.3%	5 5.2%	0 0.0%	4 4.1%		
	20歳代	119	49 41.2%	29 24.4%	19 16.0%	10 8.4%	39 32.8%	38 31.9%	6 5.0%	12 10.1%	56 47.1%	26 21.8%	9 7.6%	2 1.7%	1 0.8%		
	30歳代	140	56 40.0%	41 29.3%	34 24.3%	15 10.7%	44 31.4%	37 26.4%	10 7.1%	20 14.3%	73 52.1%	27 19.3%	7 5.0%	0 0.0%	4 2.9%		
	40歳代	176	74 42.0%	36 20.5%	27 15.3%	11 6.3%	43 24.4%	47 26.7%	18 10.2%	32 18.2%	80 45.5%	38 21.6%	11 6.3%	0 0.0%	9 5.1%		
	50歳代	196	102 52.0%	45 23.0%	33 16.8%	15 7.7%	49 25.0%	34 17.3%	9 4.6%	46 23.5%	92 46.9%	36 18.4%	6 3.1%	2 1.0%	10 5.1%		
	60歳代	227	91 40.1%	61 26.9%	33 14.5%	24 10.6%	49 21.6%	48 21.1%	21 9.3%	52 22.9%	88 38.8%	39 17.2%	20 8.8%	1 0.4%	24 10.6%		
	70歳以上	223	61 27.4%	71 31.8%	17 7.6%	25 11.2%	33 14.8%	37 16.6%	18 8.1%	40 17.9%	68 30.5%	25 11.2%	23 10.3%	2 0.9%	46 20.6%		

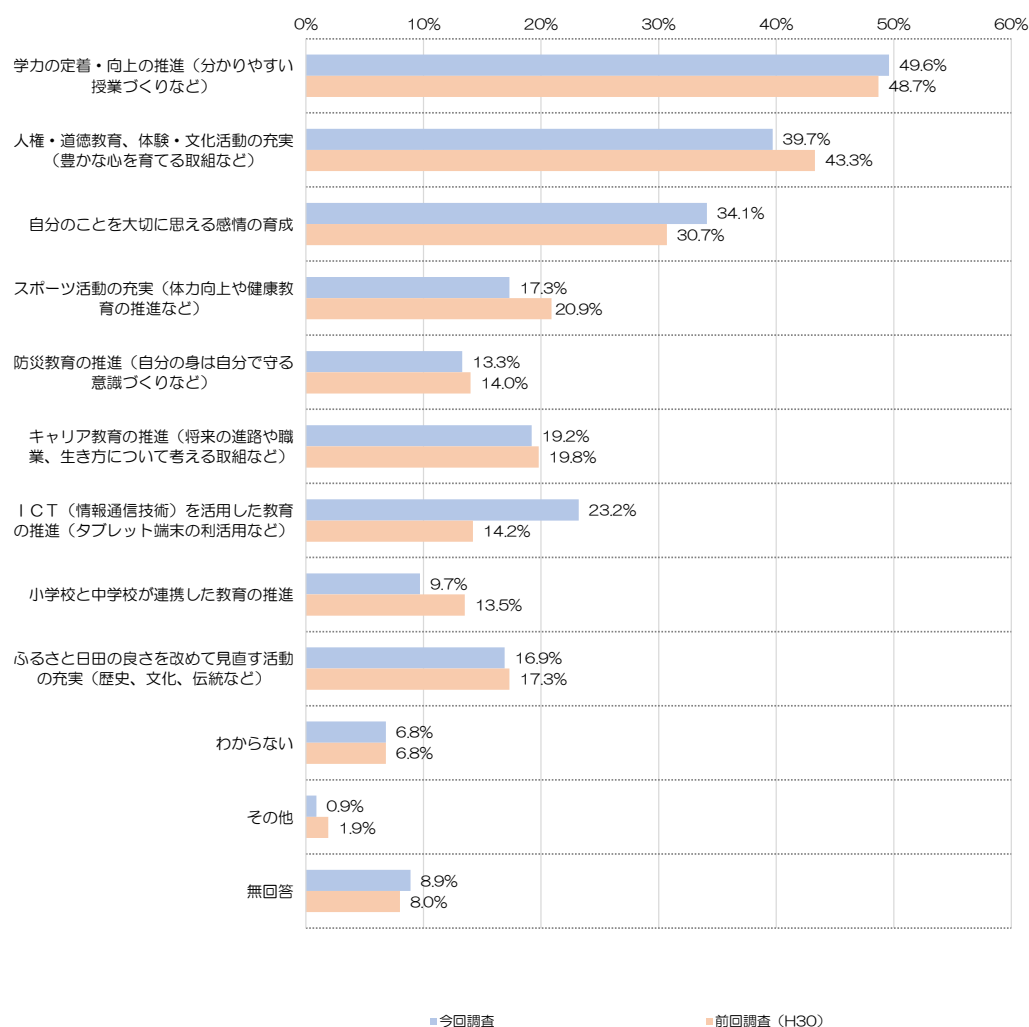
【問 30】小・中学校の教育において、どのようなことに力を注いでいく必要があると思いますか。（○は3つまで）

小・中学校の教育で、どのようなことに力を注いでいく必要があると思うかについては、「学力の定着・向上の推進（分かりやすい授業づくりなど）」が49.6%と最も高く、次いで「人権・道徳教育、体験・文化活動の充実（豊かな心を育てる取組など）」が39.7%、「自分のことを大切に思える感情の育成」が34.1%の順となっています。

性別にみると、「自分のことを大切に思える感情の育成」と回答した割合は、「女性」が39.3%で「男性」の28.5%と比較して10.8ポイント高くなっています。

年代別にみると、「未成年」「50歳代」で、「ICT（情報通信技術）を活用した教育の推進（タブレット端末の利活用など）」と回答した割合が約3割と他の年代より高くなっています。「50歳代」以下では、「キャリア教育の推進（将来の進路や職業、生き方について考える取組など）」と回答した割合が2割を上回り、他の年代より高く、「70歳以上」では、「ふるさと日田の良さを改めて見直す活動の充実（歴史、文化、伝統など）」と回答した割合が2割を上回り、他の年代より高くなっています。

前回調査と比較すると、「ICT（情報通信技術）を活用した教育の推進（タブレット端末の利活用など）」9ポイント増加しています。



第2章 調査結果「教育・文化」

(上段：人 下段：%)

		標本数 (人)	学力の定着・向上の推進 (分かりやすい授業づくりなど)	人権・道徳教育、体験育 育(豊かな心を育てる文化取 組など)	自分のことを大切に思える感 情の育成	スポーツ活動の充実(体力向上 や健康教育の推進など)	防災教育の推進(自分の身は自 分で守る意識づくりなど)	キャリア教育の推進(将来の進 路や職業、生き方について考え る取組など)	ICT(情報通信技術)を活用 した教育の推進(タブレット端 末の活用など)	小学校と中学校が連携した教育 の推進	伝統活動の充実(歴史、文化、見 直すと田の良さを改めて見 ふると)	わからない	その他	無回答
全体 (単純集計)			588 49.6%	471 39.7%	404 34.1%	205 17.3%	158 13.3%	228 19.2%	275 23.2%	115 9.7%	200 16.9%	80 6.8%	11 0.9%	105 8.9%
性別	男性	515	249 48.3%	203 39.4%	147 28.5%	107 20.8%	67 13.0%	90 17.5%	126 24.5%	54 10.5%	102 19.8%	36 7.0%	6 1.2%	40 7.8%
	女性	649	333 51.3%	261 40.2%	255 39.3%	97 14.9%	86 13.3%	131 20.2%	145 22.3%	55 8.5%	94 14.5%	43 6.6%	5 0.8%	60 9.2%
	回答したくない	12	3 25.0%	6 50.0%	1 8.3%	0 0.0%	4 33.3%	6 50.0%	4 33.3%	4 33.3%	2 16.7%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%
年代別	未成年	97	56 57.7%	46 47.4%	32 33.0%	19 19.6%	9 9.3%	21 21.6%	29 29.9%	2 2.1%	18 18.6%	6 6.2%	0 0.0%	4 4.1%
	20歳代	119	67 56.3%	46 38.7%	40 33.6%	33 27.7%	15 12.6%	29 24.4%	29 24.4%	9 7.6%	16 13.4%	8 6.7%	1 0.8%	0 0.0%
	30歳代	140	77 55.0%	61 43.6%	67 47.9%	29 20.7%	25 17.9%	34 24.3%	38 27.1%	10 7.1%	13 9.3%	8 5.7%	1 0.7%	3 2.1%
	40歳代	176	88 50.0%	74 42.0%	63 35.8%	31 17.6%	21 11.9%	45 25.6%	42 23.9%	18 10.2%	27 15.3%	13 7.4%	2 1.1%	9 5.1%
	50歳代	196	106 54.1%	83 42.3%	73 37.2%	23 11.7%	20 10.2%	47 24.0%	61 31.1%	17 8.7%	34 17.3%	7 3.6%	3 1.5%	12 6.1%
	60歳代	227	108 47.6%	95 41.9%	79 34.8%	29 12.8%	26 11.5%	30 13.2%	47 20.7%	32 14.1%	44 19.4%	20 8.8%	2 0.9%	23 10.1%
	70歳以上	223	84 37.7%	65 29.1%	50 22.4%	40 17.9%	41 18.4%	21 9.4%	29 13.0%	26 11.7%	46 20.6%	18 8.1%	2 0.9%	50 22.4%

【問 31】あなたは、咸宜園や豆田町などの地域文化に誇りを感じますか。（○は1つだけ）

咸宜園や豆田町などの地域文化に誇りを感じるかについては、地域文化に誇りを感じている人※1が66.8%、地域文化に誇りを感じていない人※2が13.5%となっています。

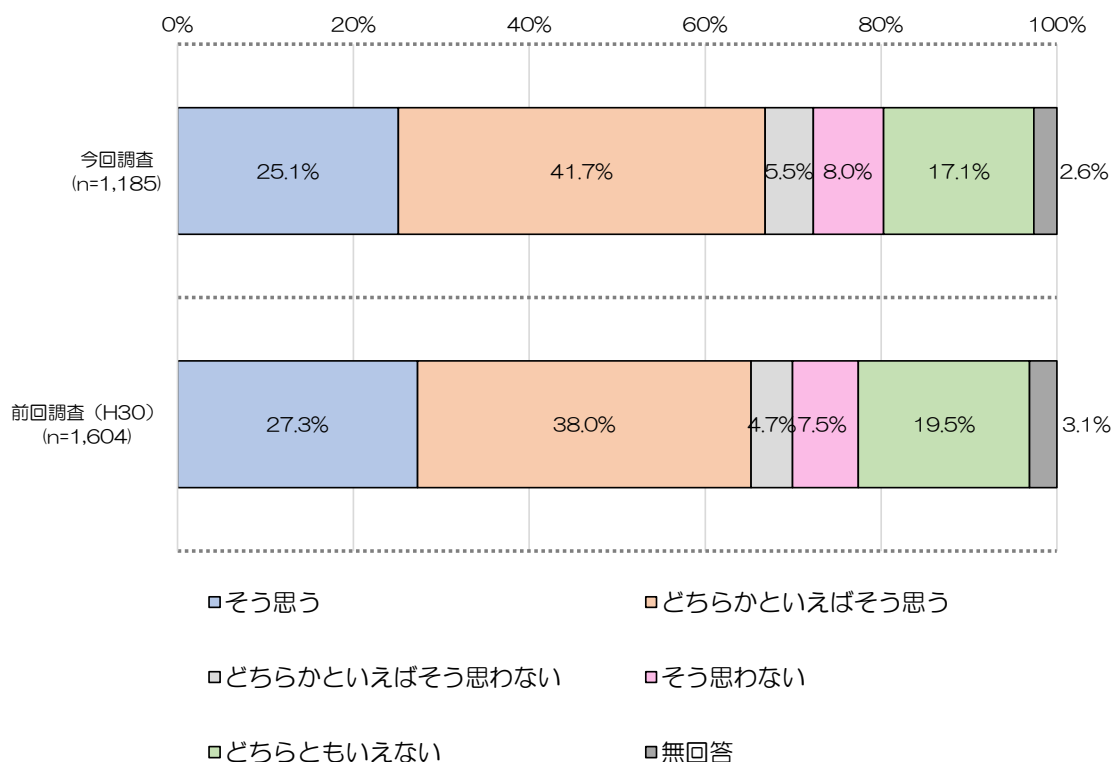
性別にみると、地域文化に誇りを感じている人は、「女性」が69.9%で「男性」の62.9%と比較して7.0ポイント高くなっています。

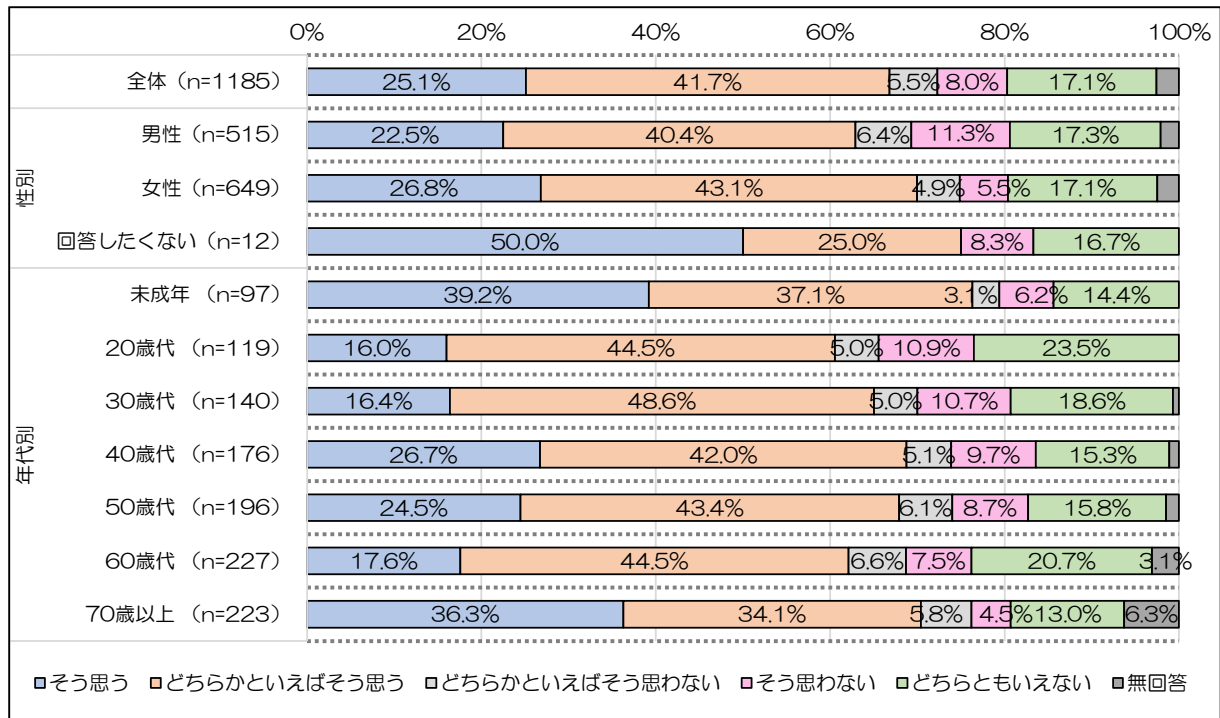
年代別にみると、「未成年」「70歳以上」で、「そう思う」と回答した割合が3割超と他の年代より高くなっています。一方、「20歳代」「30歳代」「60歳代」では2割を下回っています。

前回調査と比較すると、地域文化に誇りを感じている人の割合が1.5ポイント増加しています。

※1「そう思う」若しくは「どちらかといえばそう思う」と回答した人

※2「そう思わない」若しくは「どちらかといえばそう思わない」と回答した人



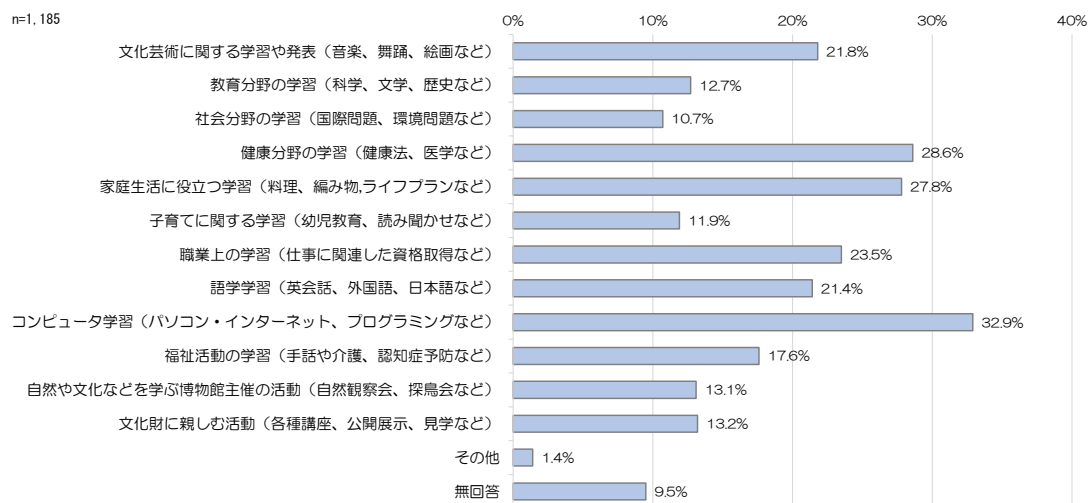


第2章 調査結果「教育・文化」

【問 32】あなたが ^{おこな}行ってみたい生涯学習はどのようなものですか。（○はいくつでも）

行ってみたい生涯学習については、「コンピュータ学習（パソコン、インターネット、プログラミングなど）」が32.9%と最も高く、次いで「健康分野の学習（健康法、医学など）」が28.6%、「家庭生活に役立つ学習（料理、編み物、ライフプランなど）」が27.8%、「職業上の学習（仕事に関連した資格取得など）」が23.5%の順となっています。

年代別にみると、「20歳代」「30歳代」では、「子育てに関する学習」と回答した割合が3割を上回り、他の年代より高くなっており、「40歳代」以下では、「職業上の学習（仕事に関連した資格取得など）」、「50歳代」から「70歳以上」では、「健康分野の学習（健康法、医学など）」と回答した割合が3割を上回り、他の年代より高くなっていきます。



（上段：人 下段：％）

	標本数 (人)	文化芸術に関する学習や発表 (音楽、舞踊、絵画など)	教育分野の学習 (科学、文学、歴史など)	社会分野の学習 (国際問題、環境問題など)	健康分野の学習 (健康法、医学など)	家庭生活に役立つ学習 (料理、編み物、ライフプランなど)	子育てに関する学習 (幼児教育、読み聞かせなど)	職業上の学習 (仕事に関連した資格取得など)	語学学習 (英会話、外国語、日本語など)	コンピュータ学習 (パソコン・インターネット、プログラミングなど)	福祉活動の学習 (手話や介護、認知症予防など)	自然や文化などを学ぶ博物館主催の活動 (自然観察会、探鳥会など)	文化財に親しむ活動 (各種講座、公開展示、見学など)	その他	無回答
全体 (単純集計)	1,185	258 21.8%	150 12.7%	127 10.7%	339 28.6%	329 27.8%	141 11.9%	279 23.5%	253 21.4%	390 32.9%	208 17.6%	155 13.1%	156 13.2%	16 1.4%	113 9.5%
性別															
男性	515	92 17.9%	79 15.3%	60 11.7%	127 24.7%	71 13.8%	34 6.6%	140 27.2%	89 17.3%	192 37.3%	59 11.5%	75 14.6%	71 13.8%	7 1.4%	42 8.2%
女性	649	162 25.0%	67 10.3%	61 9.4%	204 31.4%	250 38.5%	103 15.9%	134 20.6%	157 24.2%	189 29.1%	141 21.7%	73 11.2%	81 12.5%	9 1.4%	67 10.3%
回答したくない	12	4 33.3%	4 33.3%	5 41.7%	7 58.3%	6 50.0%	4 33.3%	5 41.7%	5 41.7%	7 58.3%	6 50.0%	7 58.3%	4 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
年代別															
未成年	97	27 27.8%	14 14.4%	18 18.6%	18 18.6%	28 28.9%	14 14.4%	31 32.0%	33 34.0%	37 38.1%	13 13.4%	12 12.4%	5 5.2%	1 1.0%	3 3.1%
20歳代	119	33 27.7%	13 10.9%	17 14.3%	25 21.0%	41 34.5%	37 31.1%	49 41.2%	31 26.1%	50 42.0%	19 16.0%	12 10.1%	10 8.4%	3 2.5%	2 1.7%
30歳代	140	26 18.6%	16 11.4%	13 9.3%	29 20.7%	53 37.9%	43 30.7%	57 40.7%	49 35.0%	51 36.4%	23 16.4%	18 12.9%	15 10.7%	1 0.7%	6 4.3%
40歳代	176	41 23.3%	26 14.8%	19 10.8%	37 21.0%	49 27.8%	18 10.2%	56 31.8%	46 26.1%	62 35.2%	29 16.5%	19 10.8%	23 13.1%	0 0.0%	8 4.5%
50歳代	196	54 27.6%	29 14.8%	23 11.7%	63 32.1%	60 30.6%	6 3.1%	43 21.9%	39 19.9%	83 42.3%	42 21.4%	26 13.3%	33 16.8%	3 1.5%	9 4.6%
60歳代	227	48 21.1%	29 12.8%	22 9.7%	79 34.8%	59 26.0%	13 5.7%	24 10.6%	29 12.8%	61 26.9%	41 18.1%	37 16.3%	39 17.2%	4 1.8%	30 13.2%
70歳以上	223	29 13.0%	23 10.3%	14 6.3%	88 39.5%	37 16.6%	10 4.5%	19 8.5%	25 11.2%	45 20.2%	40 17.9%	31 13.9%	31 13.9%	4 1.8%	51 22.9%

【問 33】日田市は、人権に対する意識の高いまちだと思いますか。（○は1つだけ）

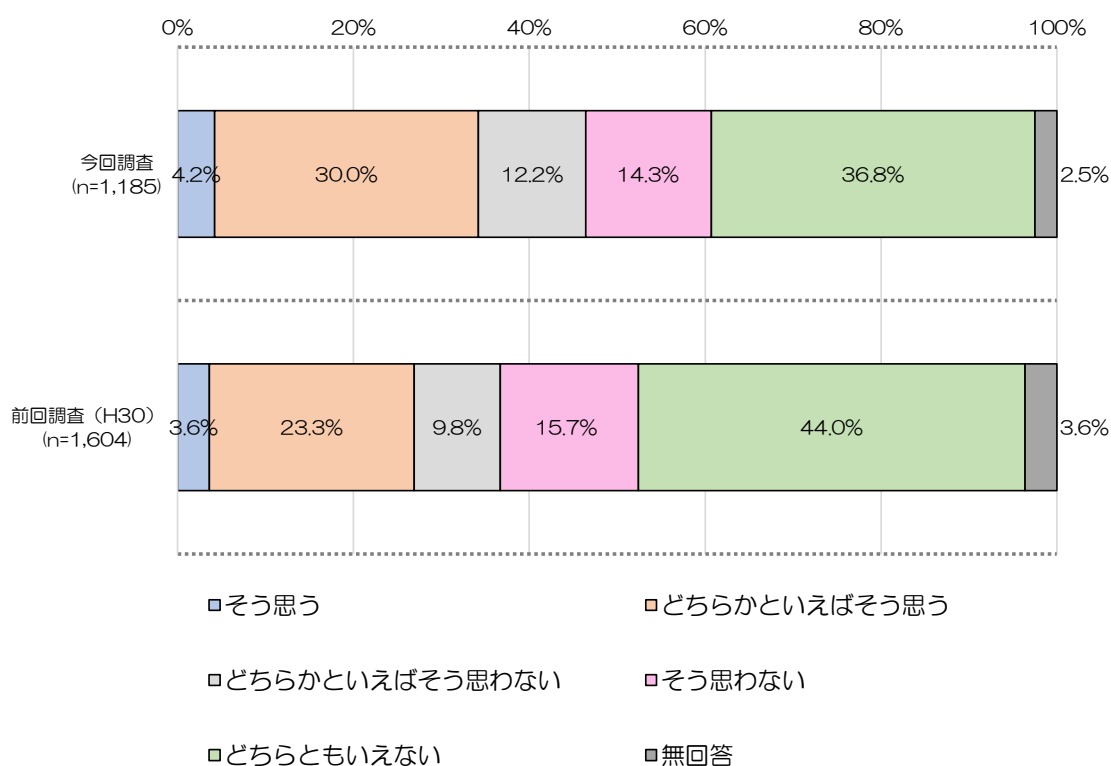
日田市は、人権に対する意識の高いまちだと思うかについては、意識の高いまちだと思う人※¹が34.2%、意識の高いまちだと思わない人※²が26.5%となっています。

年代別にみると、「30 歳代」「40 歳代」「60 歳代」で、意識の高いまちだと思わない人の割合が意識の高いまちだと思う人より高くなっています。それ以外の年代では、意識の高いまちだと思う人の割合の方が高くなっています。

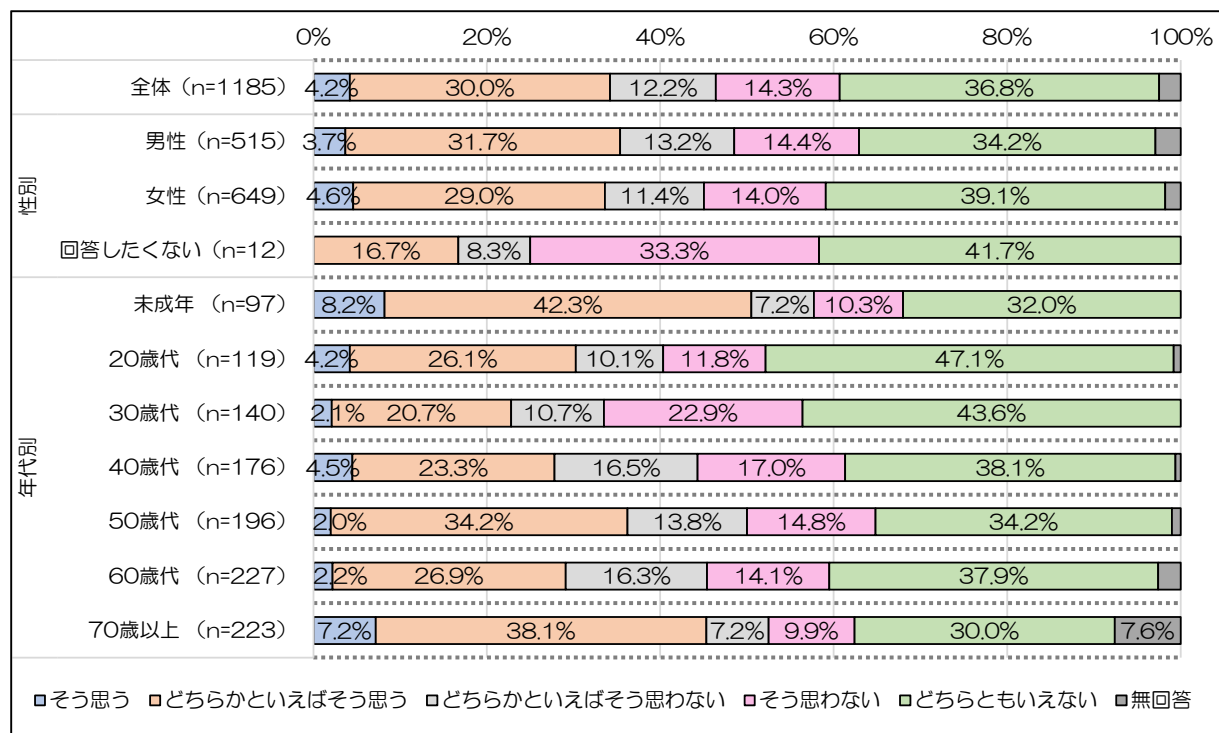
前回調査と比較すると、意識の高いまちだと思ふ人の割合が7.3ポイント増加しています。

※I「そう思う」若しくは「どちらかといえばそう思う」と回答した人

※2「そう思わない」若しくは「どちらかといえばそう思わない」と回答した人



第2章 調査結果「教育・文化」

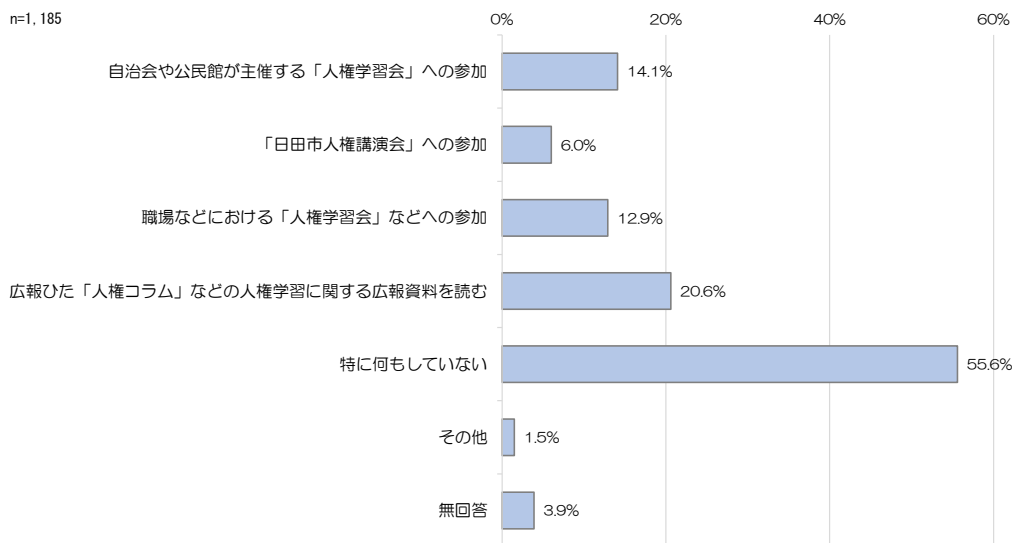


【問 34】あなたが、参加や学習している人権学習活動はどのようなものですか。

(○はいくつでも)

参加や学習している人権学習活動については、「特に何もしていない」が55.6%と最も高く、次いで「広報ひた「人権コラム」などの人権学習に関する広報資料を読む」が20.6%、「自治会や公民館が主催する「人権学習会」への参加」が14.1%、「職場などにおける「人権学習会」などへの参加」が12.9%の順となっています。

年代別にみると、「未成年」から「50歳代」で、「特に何もしていない」と回答した割合が5割を上回り、「60歳代」以上よりも高くなっています。「未成年」から「40歳代」では、「自治会や公民館が主催する「人権学習会」への参加」と回答した割合が1割を下回り、他の年代より特に低くなっています。「50歳代」では、「職場などにおける「人権学習会」などへの参加」とする回答が2割を上回っており、他の年代より高くなっています。



(上段：人 下段：%)

		標本数 (人)	自治会や公民館が主催する「人権学習会」への参加	「日田市人権講演会」への参加	職場などにおける「人権学習会」などへの参加	むろと市人権学習に関する広報資料を読む	広報ひた「人権コラム」などの人権学習に関する広報資料を読む	特に何もしていない	その他	無回答
全体 (単純集計)		1,185	167 14.1%	71 6.0%	153 12.9%	244 20.6%	659 55.6%	18 1.5%	46 3.9%	
性別	男性	515	71 13.8%	34 6.6%	61 11.8%	91 17.7%	296 57.5%	8 1.6%	19 3.7%	
	女性	649	92 14.2%	35 5.4%	90 13.9%	148 22.8%	353 54.4%	9 1.4%	24 3.7%	
	回答したくない	12	1 8.3%	2 16.7%	2 16.7%	3 25.0%	7 58.3%	1 8.3%	0 0.0%	
年代別	未成年	97	4 4.1%	3 3.1%	11 11.3%	7 7.2%	62 63.9%	11 11.3%	1 1.0%	
	20歳代	119	0 0.0%	6 5.0%	15 12.6%	9 7.6%	91 76.5%	1 0.8%	1 0.8%	
	30歳代	140	3 2.1%	5 3.6%	17 12.1%	21 15.0%	100 71.4%	1 0.7%	1 0.7%	
	40歳代	176	16 9.1%	15 8.5%	33 18.8%	25 14.2%	111 63.1%	2 1.1%	3 1.7%	
	50歳代	196	26 13.3%	16 8.2%	43 21.9%	49 25.0%	100 51.0%	1 0.5%	2 1.0%	
	60歳代	227	49 21.6%	16 7.0%	29 12.8%	62 27.3%	107 47.1%	1 0.4%	11 4.8%	
	70歳以上	223	67 30.0%	10 4.5%	5 2.2%	70 31.4%	86 38.6%	1 0.4%	24 10.8%	

【問 35】あなたは、この1年間、どのくらい運動やスポーツを^{おこな}行いましたか。

(○は1つだけ)

この1年間、どのくらい運動やスポーツを行ったかについては、運動を行っている人^{※1}が53.0%、運動を行っていない人^{※2}が44.3%となっています。

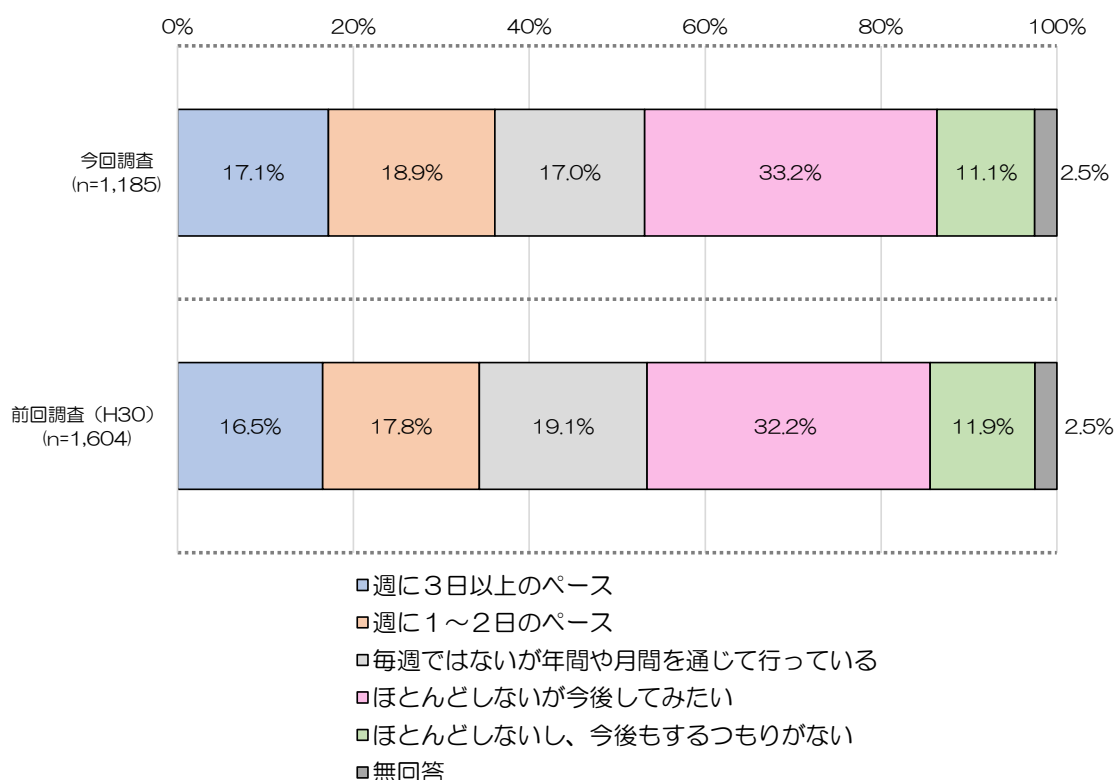
性別にみると、運動を行っている人は、「男性」が55.0%で「女性」の51.4%と比較して3.6ポイント高くなっていますが、「ほとんどしないが今後してみたい」と回答した割合は、「女性」が34.7%で「男性」の31.8%と比較して2.9ポイント高くなっています。

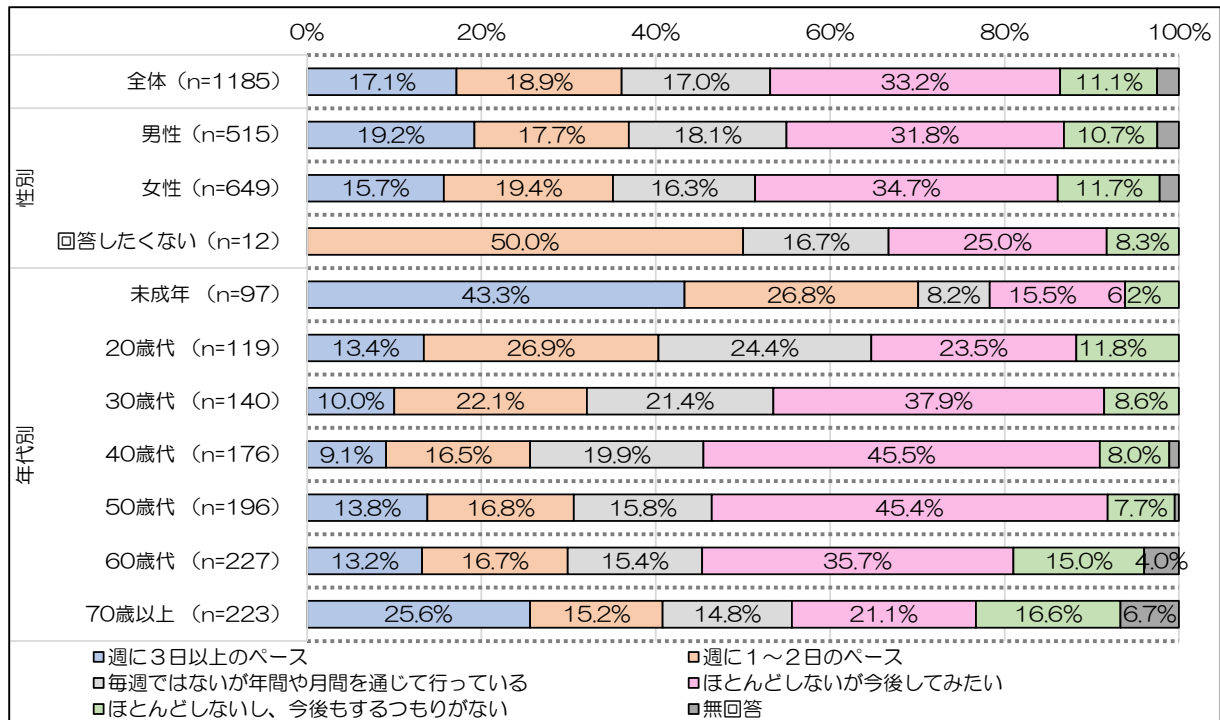
年代別にみると、「未成年」では運動を行っている人の割合が7割を上回っています。「40歳代」「50歳代」では、「ほとんどしないが今後してみたい」と回答した割合が4割を上回り、他の年代より高くなっています。

前回調査と比較すると、運動を行っている人の割合が0.4ポイント減少しましたが、大きな差は見られませんでした。

※1 「週に3日以上ペース」若しくは「週に1～2日のペース」若しくは「毎週ではないが年間や月間を通じて行っている」と回答した人

※2 「ほとんどしないが今後してみたい」若しくは「ほとんどしないし、今後もするつもりがない」と回答した人





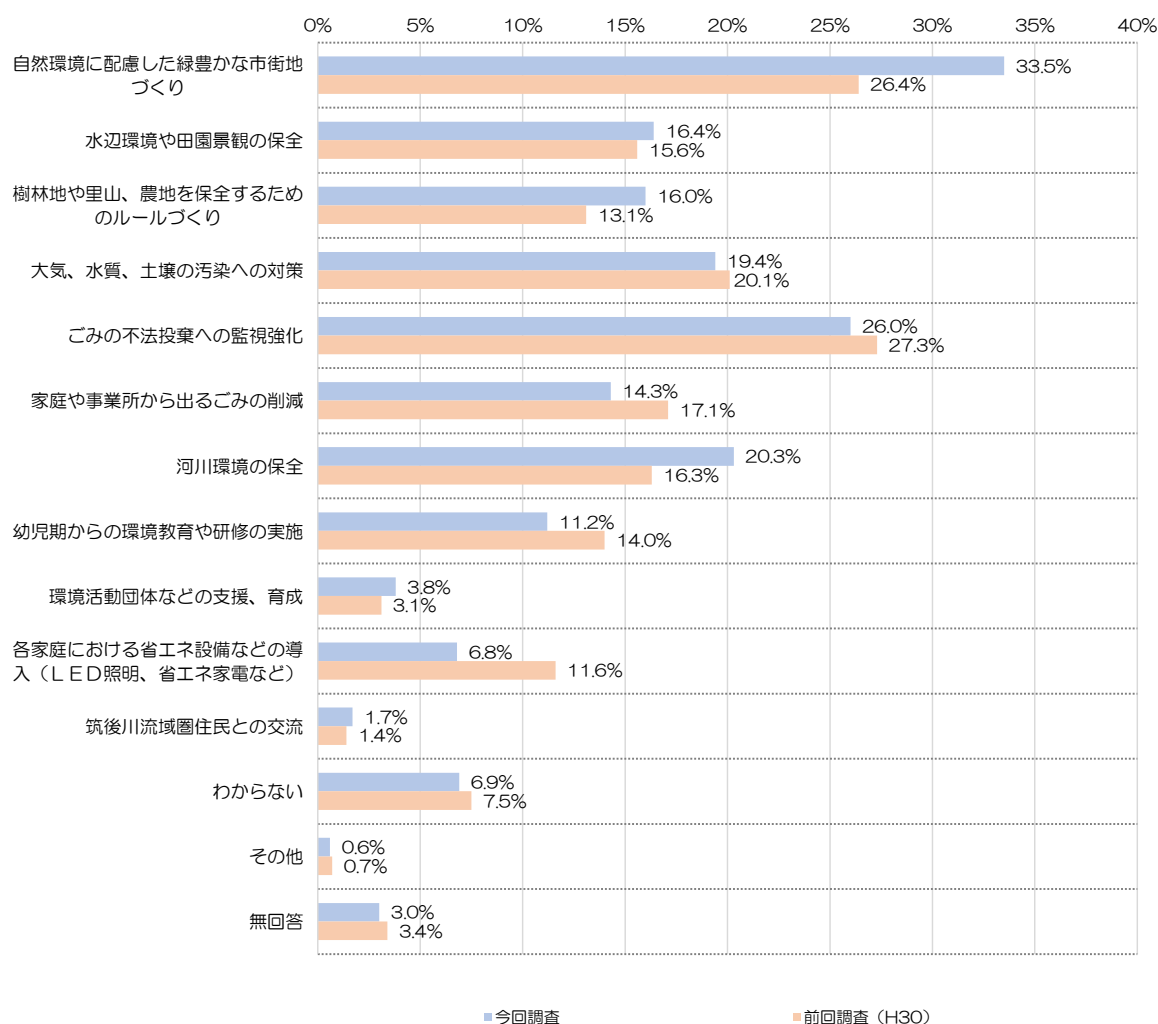
【問 36】自然環境を保護し、緑豊かなまちをつくるために、どのようなことが特に重要だと思いますか。（○は2つまで）

自然環境を保護し、緑豊かなまちをつくるために、どのようなことが特に重要だと思うかについては、「自然環境に配慮した緑豊かな市街地づくり」が33.5%と最も高く、次いで「ごみの不法投棄への監視強化」が26.0%、「河川環境の保全」が20.3%の順となっています。

性別にみると、「河川環境の保全」と回答した割合は、「男性」が25.2%で「女性」の16.6%と比較して8.6ポイント高くなっています。「家庭や事業所から出るごみの削減」と回答した割合は、「女性」が19.1%で「男性」の8.3%と比較して10.8ポイント高くなっています。

年代別にみると、「20歳代」を除いたすべての年代で「自然環境に配慮した緑豊かな市街地づくり」と回答した割合が最も高くなっています。「20歳代」では、「ごみの不法投棄への監視強化」と回答した割合が最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「自然環境に配慮した緑豊かな市街地づくり」が7ポイント以上増加しています。



第2章 調査結果「環境」

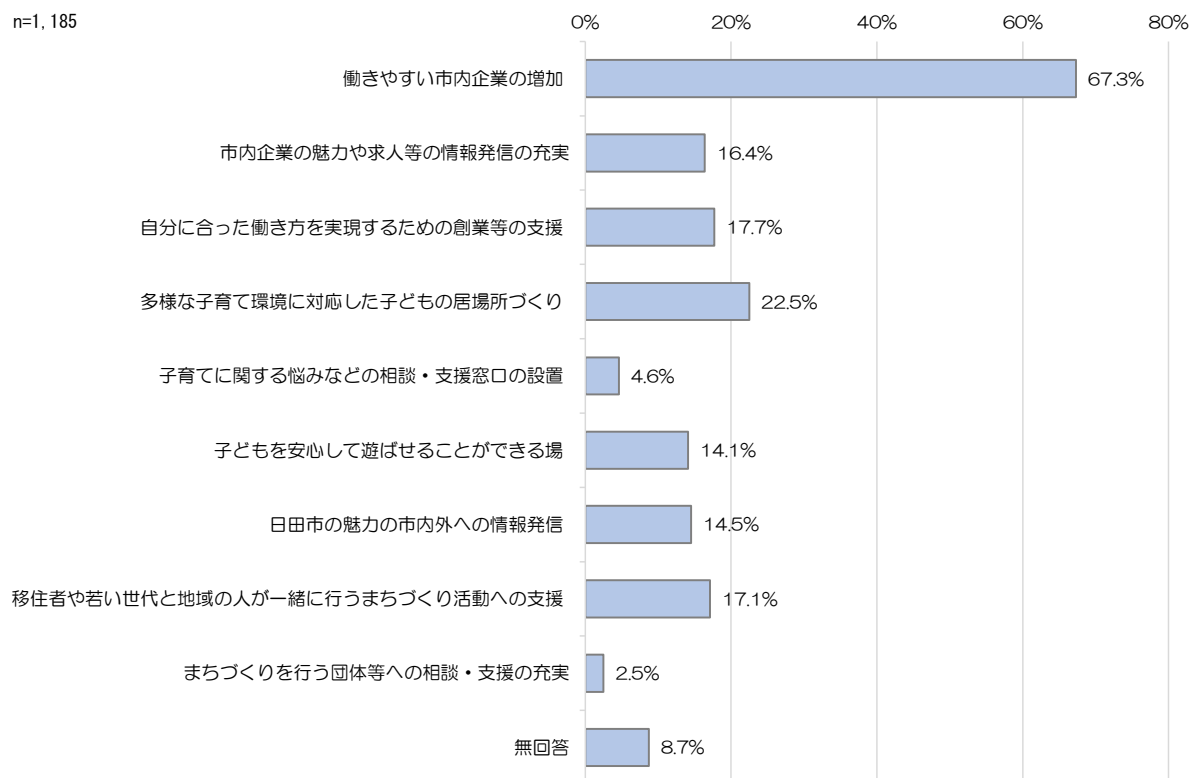
(上段：人 下段：%)

		標 本 数 (人)	街自然 地環境 に配慮 した緑 豊かな 市	水辺環 境や田 園景観 の保全	樹林地 や里山 、農地 を保全 する	策大気 、水質 、土壌 の汚染 への対 策	ごみの 不法投 棄への 監視強 化	減家庭 や事業 所から 出るご みの削 減	河川環 境の保 全	実施幼 児期か らの環 境教育 や研修 の	環境活 動団体 などの 支援、 育成	電の各 導家庭 入にお ける省 エネ設 備など 備、省 エネ家 など	筑後川 流域圏 住民と の交流	わから ない	その他	無回 答
全体 (単純集計)		1,185	397 33.5%	194 16.4%	190 16.0%	230 19.4%	308 26.0%	169 14.3%	240 20.3%	133 11.2%	45 3.8%	81 6.8%	20 1.7%	82 6.9%	7 0.6%	35 3.0%
性別	男性	515	164 31.8%	91 17.7%	104 20.2%	101 19.6%	137 26.6%	43 8.3%	130 25.2%	53 10.3%	25 4.9%	34 6.6%	13 2.5%	26 5.0%	4 0.8%	16 3.1%
	女性	649	224 34.5%	100 15.4%	86 13.3%	127 19.6%	165 25.4%	124 19.1%	108 16.6%	80 12.3%	18 2.8%	47 7.2%	6 0.9%	54 8.3%	3 0.5%	14 2.2%
	回答したくない	12	6 50.0%	1 8.3%	0 0.0%	2 16.7%	4 33.3%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	1 8.3%	2 16.7%	0 0.0%	2 16.7%
年代別	未成年	97	39 40.2%	12 12.4%	12 12.4%	22 22.7%	35 36.1%	11 11.3%	18 18.6%	5 5.2%	3 3.1%	10 10.3%	0 0.0%	7 7.2%	1 1.0%	2 2.1%
	20歳代	119	29 24.4%	19 16.0%	16 13.4%	18 15.1%	30 25.2%	15 12.6%	19 16.0%	15 12.6%	5 4.2%	13 10.9%	0 0.0%	19 16.0%	0 0.0%	2 1.7%
	30歳代	140	41 29.3%	24 17.1%	16 11.4%	35 25.0%	33 23.6%	11 7.9%	32 22.9%	26 18.6%	5 3.6%	8 5.7%	1 0.7%	12 8.6%	1 0.7%	3 2.1%
	40歳代	176	69 39.2%	32 18.2%	29 16.5%	35 19.9%	49 27.8%	24 13.6%	31 17.6%	22 12.5%	7 4.0%	11 6.3%	8 4.5%	8 4.5%	3 1.7%	1 0.6%
	50歳代	196	72 36.7%	39 19.9%	32 16.3%	47 24.0%	45 23.0%	24 12.2%	52 26.5%	24 12.2%	10 5.1%	12 6.1%	2 1.0%	5 2.6%	0 0.0%	2 1.0%
	60歳代	227	68 30.0%	34 15.0%	47 20.7%	35 15.4%	58 25.6%	43 18.9%	49 21.6%	27 11.9%	6 2.6%	12 5.3%	3 1.3%	11 4.8%	2 0.9%	9 4.0%
	70歳以上	223	78 35.0%	32 14.3%	38 17.0%	38 17.0%	56 25.1%	41 18.4%	38 17.0%	14 6.3%	8 3.6%	15 6.7%	6 2.7%	20 9.0%	0 0.0%	13 5.8%

【問 37】日田市は令和2年3月に「第2期日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、令和2年度から令和5年度にかけて、加速化する人口減少を抑制するために「若い世代が住み続けたいと思うふるさと日田を創る」を基本目標に取り組んでいます。今後、若い世代（特に25～44歳）が日田市に住み続けたいと思うために、重要な取組だと思うものを下記から2項目選択してください。

今後、若い世代が日田市に住み続けたいと思うために、重要な取組だと思うものについては、「働きやすい市内企業の増加」が67.3%と最も高く、次いで「多様な子育て環境に対応した子どもの居場所づくり」が22.5%、「自分に合った働き方を実現するための創業等の支援」が17.7%の順となっています。

年代別にみると、「40歳代」「50歳代」で、「働きやすい市内企業の増加」と回答した割合が7割を上回り、他の年代よりも高くなっています。「未成年」では「日田市の魅力の市内外への情報発信」、「20歳代」から「40歳代」では、「多様な子育て環境に対応した子どもの居場所づくり」、「50歳代」では、「自分に合った働き方を実現するための創業等の支援」、「60歳代」「70歳以上」では、「移住者や若い世代と地域の人と一緒にいるまちづくり活動への支援」と回答した割合が他の年代よりも高くなっています。



(上段：人 下段：%)

		標本数 (人)	働きやすい 市内企業の増加	市内企業の 魅力や求人等の 情報	自分の合った 働き方を実現する ための創業等 の支援	多様な子育て 環境に対応した 子ども居場所の づくり	子育てに関する 悩みなどの相談・ 支援窓口の設置	子どもを安心して 遊ばせることが できる場所	発信の市の魅力の 市内外への情報	支援者や若い世代 の地域活動への 参加	まちづくりを行う 団体等への相談・ 支援の充実	無回答
全体 (単純集計)		1,185	798 67.3%	194 16.4%	210 17.7%	267 22.5%	54 4.6%	167 14.1%	172 14.5%	203 17.1%	30 2.5%	103 8.7%
性別	男性	515	345 67.0%	101 19.6%	83 16.1%	92 17.9%	23 4.5%	67 13.0%	92 17.9%	101 19.6%	15 2.9%	37 7.2%
	女性	649	443 68.3%	91 14.0%	125 19.3%	171 26.3%	29 4.5%	100 15.4%	77 11.9%	99 15.3%	12 1.8%	60 9.2%
	回答したくない	12	6 50.0%	2 16.7%	1 8.3%	2 16.7%	2 16.7%	0 0.0%	2 16.7%	3 25.0%	3 25.0%	1 8.3%
年代別	未成年	97	66 68.0%	23 23.7%	19 19.6%	19 19.6%	6 6.2%	17 17.5%	23 23.7%	12 12.4%	1 1.0%	2 2.1%
	20歳代	119	81 68.1%	17 14.3%	24 20.2%	42 35.3%	11 9.2%	20 16.8%	8 6.7%	15 12.6%	4 3.4%	4 3.4%
	30歳代	140	96 68.6%	20 14.3%	29 20.7%	41 29.3%	10 7.1%	30 21.4%	13 9.3%	20 14.3%	2 1.4%	6 4.3%
	40歳代	176	130 73.9%	22 12.5%	32 18.2%	50 28.4%	6 3.4%	25 14.2%	26 14.8%	24 13.6%	4 2.3%	13 7.4%
	50歳代	196	146 74.5%	37 18.9%	46 23.5%	42 21.4%	5 2.6%	22 11.2%	25 12.8%	36 18.4%	7 3.6%	6 3.1%
	60歳代	227	150 66.1%	37 16.3%	25 11.0%	50 22.0%	12 5.3%	32 14.1%	37 16.3%	49 21.6%	6 2.6%	21 9.3%
	70歳以上	223	127 57.0%	38 17.0%	34 15.2%	22 9.9%	4 1.8%	21 9.4%	40 17.9%	47 21.1%	6 2.7%	46 20.6%

令和 2 年度 日田市市民意識調査

令和 3 年 3 月

企 画 ・ 発 行：日田市 企画振興部 地方創生推進課

〒 877-8601 大分県日田市田島 2 丁目 6 番 1 号

TEL 0973-22-8223

FAX 0973-22-8250

<https://www.city.hita.oita.jp/>

E-mail kikaku@city.hita.oita.jp

調 査 委 託：株式会社 東京商工リサーチ
